

令和7年度  
自転車等の安全利用（保険加入等）に関する調査報告書

令和8年3月  
東京都都民安全総合対策本部  
総合推進部総合推進課



# 目次

<b>I 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1.調査の目的.....	2
2.調査実施方法.....	2
3.調査結果の見方.....	2
<b>II 調査結果</b> .....	<b>3</b>
1.対象者の特性.....	4
2.自転車等の安全利用（保険加入、ヘルメット着用など）について.....	6
3.自転車等の点検整備について.....	12
4.自転車の保険について.....	15
5.ヘルメット着用(自転車乗車中)の努力義務について.....	26
6.自転車ルール全般について.....	38
7.自転車の交通安全教育について.....	67
8.スマートフォン・タブレット向けアプリ「輪トレ」について.....	74
9.特定原付（電動キックボード等）について.....	78

## I 調査概要

## 1.調査の目的

東京都では、東京都内における自転車の安全利用を一層推進するため、平成 25 年 3 月、東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例（以下「東京都自転車条例」という。）を制定した。その後条例を改正し、令和 2 年 4 月 1 日から自転車利用者などに対して自転車損害賠償保険等への加入を義務付けた。

そこで、改正東京都自転車条例施行以降の東京都内の自転車利用者の自転車損害賠償保険等への加入率等を含め、東京都内の自転車利用者の自転車安全利用に関する状況を把握するため、調査を実施する。

## 2.調査実施方法

調査は以下の方法にて実施。

1.調査手法	インターネット調査
2.調査対象者	18～79 歳の都内在住の自転車利用者
3.有効回答数	区部 699 サンプル 市部 301 サンプル 計 1,000 サンプル
4.調査期間	令和 8 年 2 月 4 日(水)～2 月 9 日(月)
5.割付	東京都(住民基本台帳による東京都の世帯と人口 令和 7 年 1 月より)の区部と市町村部の居住人口構成から割付を実施

## 3.調査結果の見方

1) 結果（グラフおよび数表）は、パーセントで示しています。表示している「n」は、「number」の略であり、パーセントを計算するときの母数（回答者数）を示しています。

2) 算出されたパーセントは、小数第二位を四捨五入して、小数第一位までの表示としているため、その合計が必ずしも 100.0%にならない場合があります。また、複数回答で質問している調査項目においては、その合計は 100.0%を超えます。

3) 回答された回答者や該当者がいない場合（0.0%）、数表では「-」と表記し、グラフでは数字表記を割愛しています。

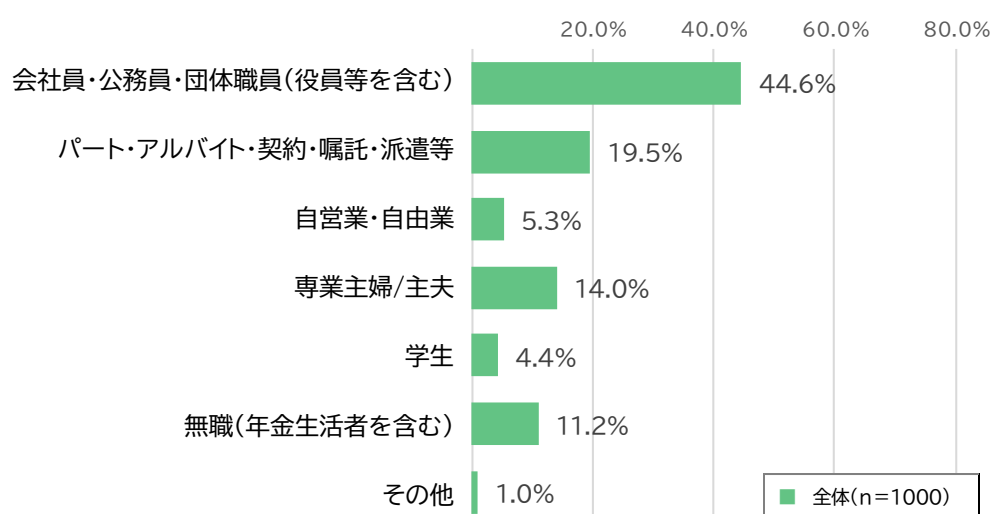
## II 調査結果

## 1.対象者の特性

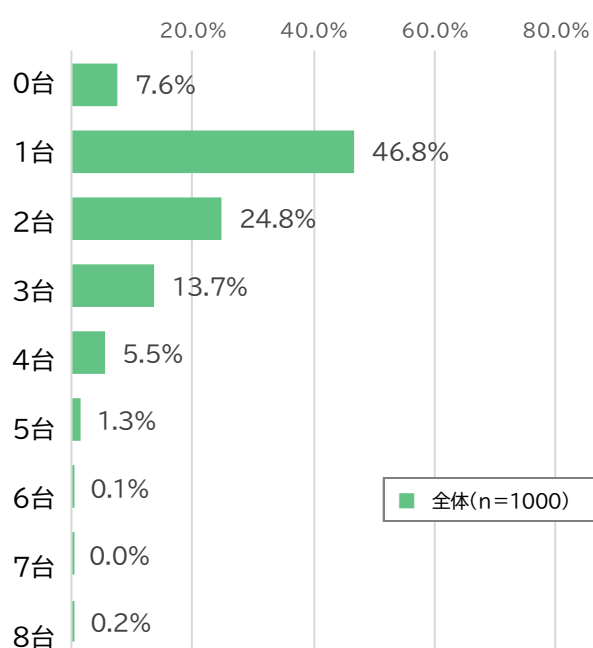
### 1. 性別・年代

上段:n数 下段:構成比(横%)		(n)	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
全体		1000	20	157	166	188	204	136	129
		100.0%	2.0%	15.7%	16.6%	18.8%	20.4%	13.6%	12.9%
性別	男性	502	11	78	84	96	104	69	60
		100.0%	2.2%	15.5%	16.7%	19.1%	20.7%	13.7%	12.0%
女性	女性	498	9	79	82	92	100	67	69
		100.0%	1.8%	15.9%	16.5%	18.5%	20.1%	13.5%	13.9%

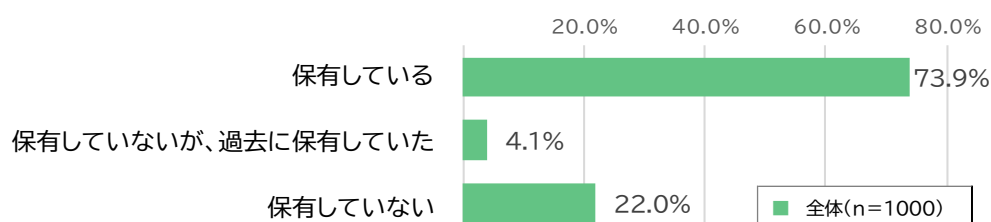
### 2. 職業



### 3. 自転車の保有台数



#### 4. 自動車(原動付自転車含む)免許の保有状況



#### 5. 居住地域

23区	(n)	構成比
千代田区	21	2.1%
中央区	10	1.0%
港区	19	1.9%
新宿区	30	3.0%
文京区	11	1.1%
台東区	14	1.4%
墨田区	25	2.5%
江東区	32	3.2%
品川区	34	3.4%
目黒区	22	2.2%
大田区	38	3.8%
世田谷区	43	4.3%
渋谷区	27	2.7%
中野区	23	2.3%
杉並区	36	3.6%
豊島区	24	2.4%
北区	33	3.3%
荒川区	21	2.1%
板橋区	48	4.8%
練馬区	54	5.4%
足立区	51	5.1%
葛飾区	32	3.2%
江戸川区	51	5.1%
23区計	699	69.9%

市町村	(n)	構成比
八王子市	34	3.4%
立川市	15	1.5%
武蔵野市	15	1.5%
三鷹市	18	1.8%
青梅市	8	0.8%
府中市	22	2.2%
昭島市	6	0.6%
調布市	21	2.1%
町田市	29	2.9%
小金井市	12	1.2%
小平市	14	1.4%
日野市	8	0.8%
東村山市	11	1.1%
国分寺市	11	1.1%
国立市	7	0.7%
福生市	5	0.5%
狛江市	8	0.8%
東大和市	6	0.6%
清瀬市	2	0.2%
東久留米市	10	1.0%
武蔵村山市	1	0.1%
多摩市	10	1.0%
稲城市	7	0.7%
羽村市	0	0.0%
あきる野市	3	0.3%
西東京市	14	1.4%
瑞穂町	4	0.4%
日の出町	0	0.0%
市町村計	301	30.1%

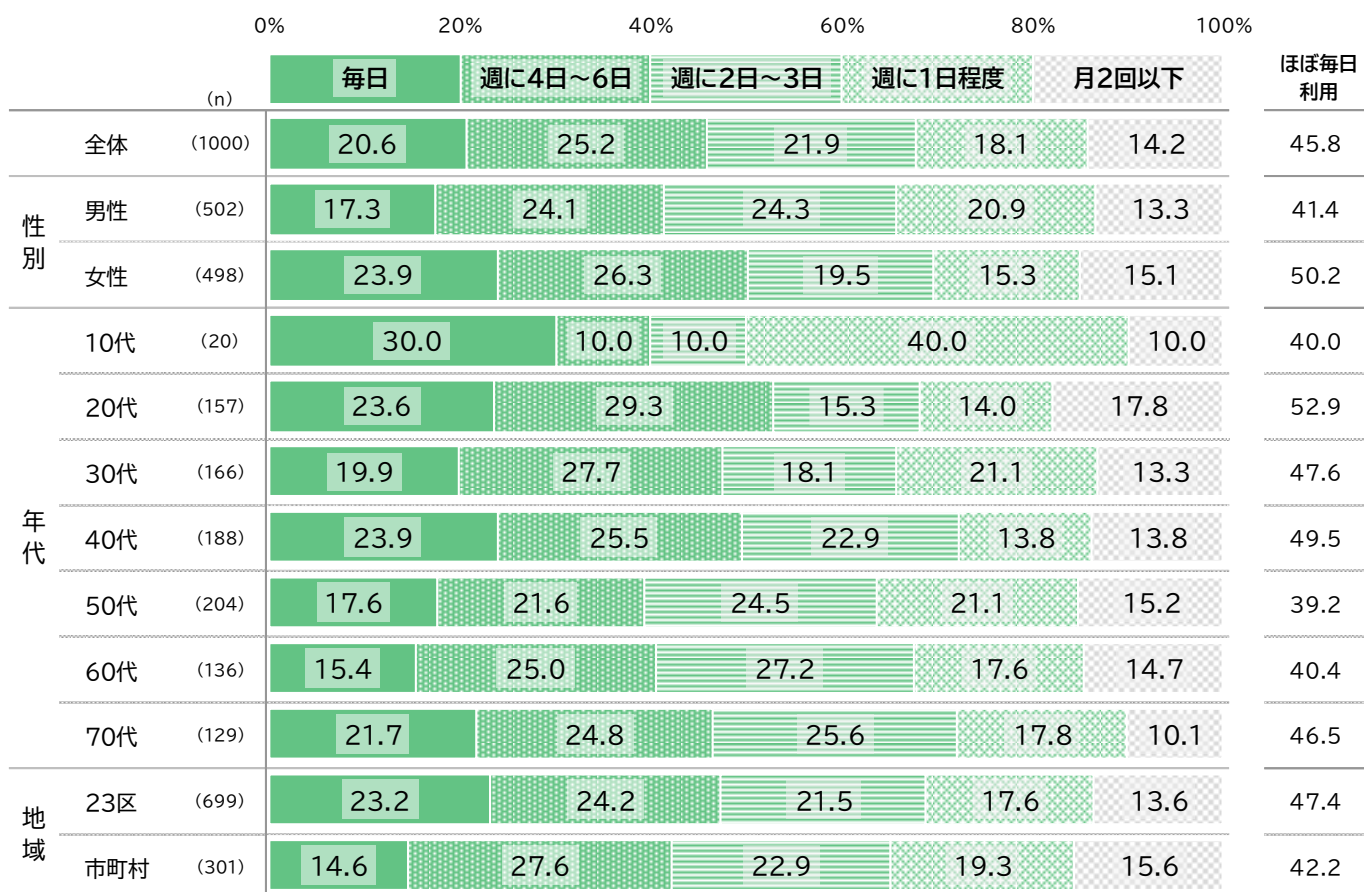
## 2. 自転車等の安全利用（保険加入、ヘルメット着用など）について

Q1. あなたはどのくらいの頻度で自転車を利用しますか。(単一回答)

自転車利用の頻度について、「毎日」「週に4日～6日」を合わせた『ほぼ毎日自転車を利用している人』は45.8%となっています。

性別にみると『ほぼ毎日自転車を利用している人』は男性が41.4%、女性が50.2%となり、女性のほうが8.8ポイント高くなっています。

年代別ではどの年代においても『ほぼ毎日自転車を利用している人』が約4割以上となっています。

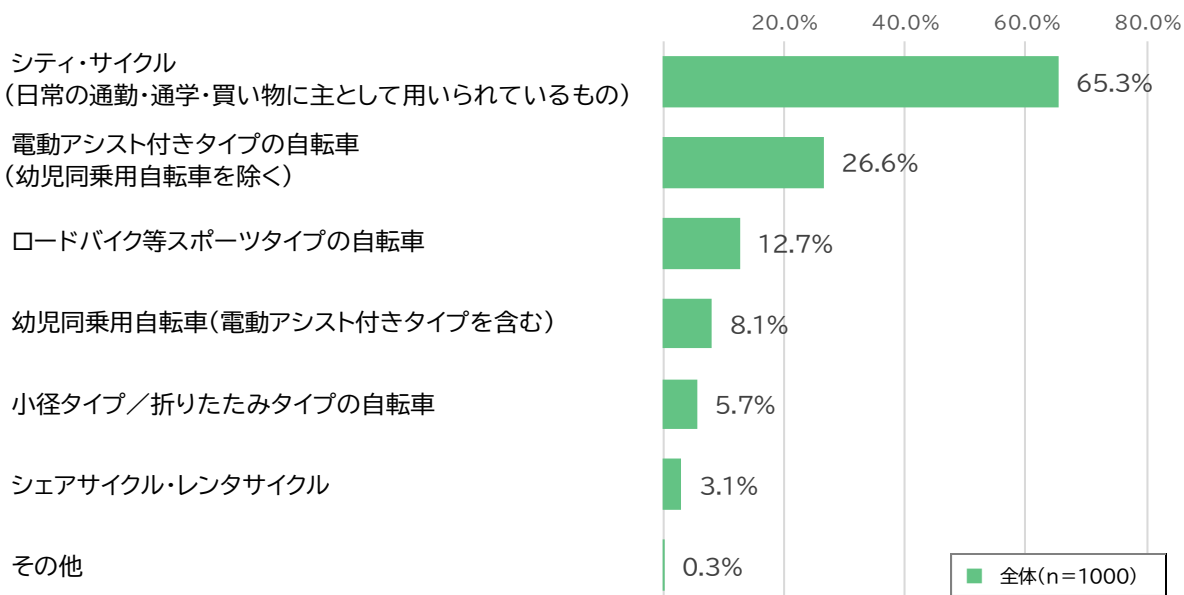


※ ほぼ毎日自転車を利用している人＝「毎日」＋「週に4日～6日」

Q2. あなたが普段利用している自転車をすべて教えてください。(複数回答)

(1)全体

普段利用している自転車について、「シティ・サイクル」が65.3%と最も高く、次いで「電動アシスト付きタイプの自転車」が26.6%、「ロードバイク等スポーツタイプの自転車」が12.7%となっています。



Q2. あなたが普段利用している自転車をすべて教えてください。(複数回答)

(2)属性別

普段利用している自転車について、性別にみると「シティ・サイクル」は男性が64.5%、女性が66.1%となり、男女間で大きな差は見られません。

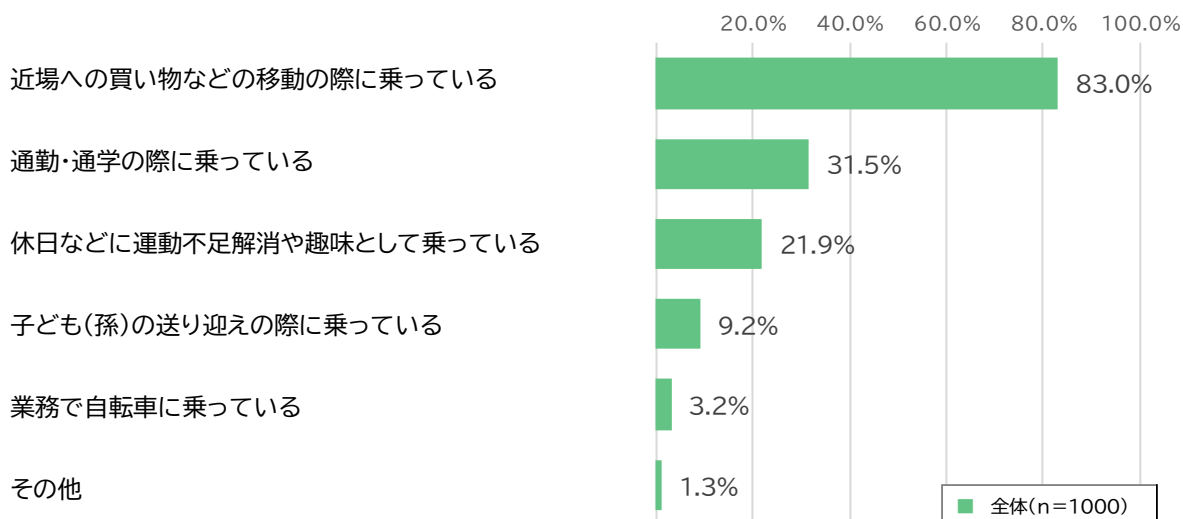
年代別にみると「シティ・サイクル」は20代が70.1%と最も高く、次いで10代が70.0%となっています。「電動アシスト付きタイプの自転車」は10代が35.0%と最も高く、次いで70代が34.9%となっています。「幼児同乗用自転車」では30代が15.1%で最も高く、他の年代よりも高いことが特徴です。

横%			主(シ と日 し常 用通 用勤 ら・ れ通 て学 い・ 買 い 物 に )	(電 動 ア シ ス ト 付 き 自 転 車 を 除 く )	ス ロ ー ド ツ バ イ ク 等 の 自 転 車	(幼 児 同 乗 用 自 転 車 を 含 む )	折 小 径 り た た み タ イ プ の 自 転 車	シ エ ア サ イ ク ル ・ レ ン タ サ イ ク ル	そ の 他
	(n)								
全体	(1000)	65.3	26.6	12.7	8.1	5.7	3.1	0.3	
性別	男性 (502)	64.5	26.7	19.7	5.8	7.6	3.8	0.4	
	女性 (498)	66.1	26.5	5.6	10.4	3.8	2.4	0.2	
年代	10代 (20)	70.0	35.0	15.0	10.0	10.0	10.0	-	
	20代 (157)	70.1	24.2	17.2	11.5	9.6	4.5	-	
	30代 (166)	63.3	24.1	15.1	15.1	5.4	5.4	-	
	40代 (188)	56.9	25.5	16.5	14.4	6.9	2.1	-	
	50代 (204)	68.1	25.0	9.3	3.9	3.9	2.9	1.0	
	60代 (136)	69.1	27.2	9.6	0.7	5.1	1.5	-	
	70代 (129)	65.1	34.9	7.0	-	2.3	0.8	0.8	
地域	23区 (699)	64.4	27.5	13.4	9.6	6.7	3.1	0.3	
	市町村 (301)	67.4	24.6	11.0	4.7	3.3	3.0	0.3	

Q3. あなたは主にどのような目的で自転車を利用していますか。(複数回答)

(1)全体

自転車利用の主な目的について、「近場への買い物などの移動の際に乗っている」が83.0%と最も高く、次いで「通勤・通学の際に乗っている」が31.5%、「休日などに運動不足解消や趣味として乗っている」が21.9%となっています。



●その他の内容

- ・テニスコート(3件)、通院(2件)、習い事(1件)など

Q3. あなたは主にどのような目的で自転車を利用していますか。(複数回答)

(2)属性別

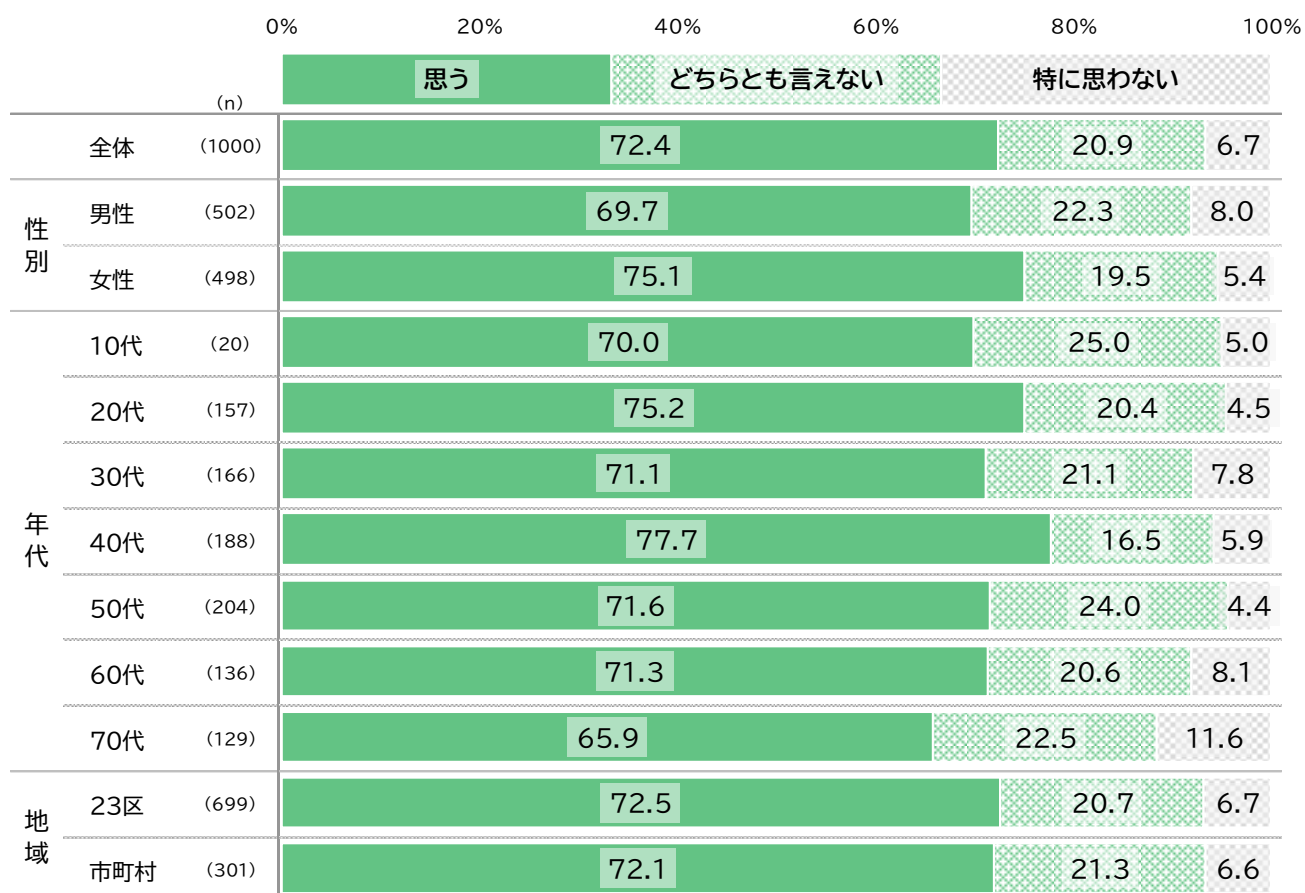
自転車利用の主な目的について、性別にみると「近場への買い物などの移動の際に乗っている」は男性が80.3%、女性が85.7%となり、女性のほうが5.4ポイント高くなっています。

年代別にみると「近場への買い物などの移動の際に乗っている」は50代が92.6%と最も高く、次いで70代の91.5%となっており、50代以上で高い傾向が見られます。「休日などに運動不足解消や趣味として乗っている」は10代が45.0%となり、突出して高い結果となっています。「子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている」は30代が21.1%となり、他の年代よりも高いことが特徴です。

横%		に近場への買い物などの移動の際	通勤・通学の際に乗っている	休日などに運動不足解消や趣味として乗っている	子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている	業務で自転車に乗っている	その他
	(n)						
全体	(1000)	83.0	31.5	21.9	9.2	3.2	1.3
性別	男性 (502)	80.3	33.1	29.9	7.8	3.0	1.0
	女性 (498)	85.7	29.9	13.9	10.6	3.4	1.6
年代	10代 (20)	75.0	35.0	45.0	5.0	5.0	-
	20代 (157)	70.7	43.3	22.3	15.3	7.0	0.6
	30代 (166)	77.7	39.2	27.1	21.1	3.6	-
	40代 (188)	78.7	38.3	25.5	12.8	4.3	1.1
	50代 (204)	92.6	29.9	16.2	2.5	2.0	1.0
	60代 (136)	88.2	23.5	22.8	0.7	0.7	0.7
	70代 (129)	91.5	7.8	14.0	1.6	0.8	5.4
地域	23区 (699)	82.3	31.5	22.9	11.3	3.1	1.4
	市町村 (301)	84.7	31.6	19.6	4.3	3.3	1.0

Q4. 自転車を運転することには危険が伴うと思いますか。(単一回答)

自転車を運転することには危険が伴うかについて、「思う」とした回答は72.4%となっています。  
 性別にみると「思う」は男性が69.7%、女性が75.1%となり、女性のほうが5.4ポイント高くなっています。  
 年代別にみると、「思う」と回答したのは40代が77.7%と最も高く、次いで20代の75.2%となっている。

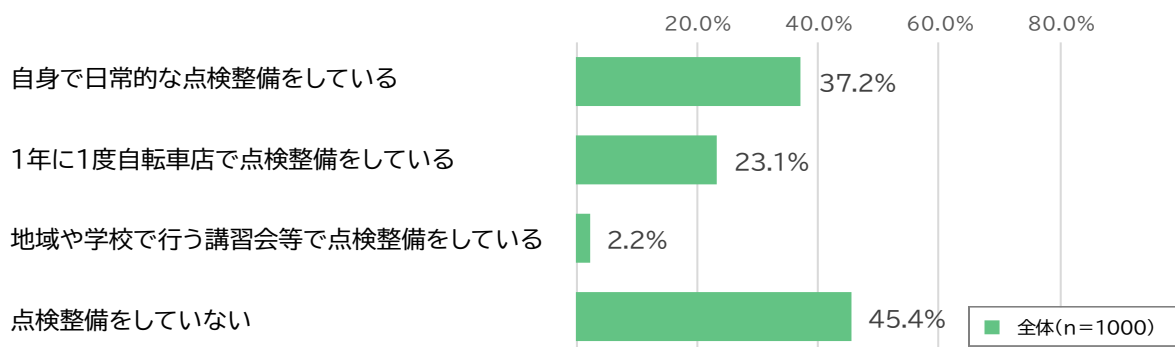


### 3. 自転車等の点検整備について

Q5. あなたは自転車の点検整備をしていますか。(複数回答)

(1) 全体

自転車の点検整備について、「自身で日常的な点検整備をしている」が37.2%と最も高く、次いで「1年に1度自転車店で点検整備をしている」が23.1%となっています。一方で「点検整備をしていない」とした回答は45.4%という結果となっています。

















































Q5. あなたは自転車の点検整備をしていますか。(複数回答)

(2)属性別

自転車の点検整備について、性別にみると「自身で日常的な点検整備をしている」は男性が45.0%、女性が29.3%となり、男性のほうが15.7ポイント高くなっています。

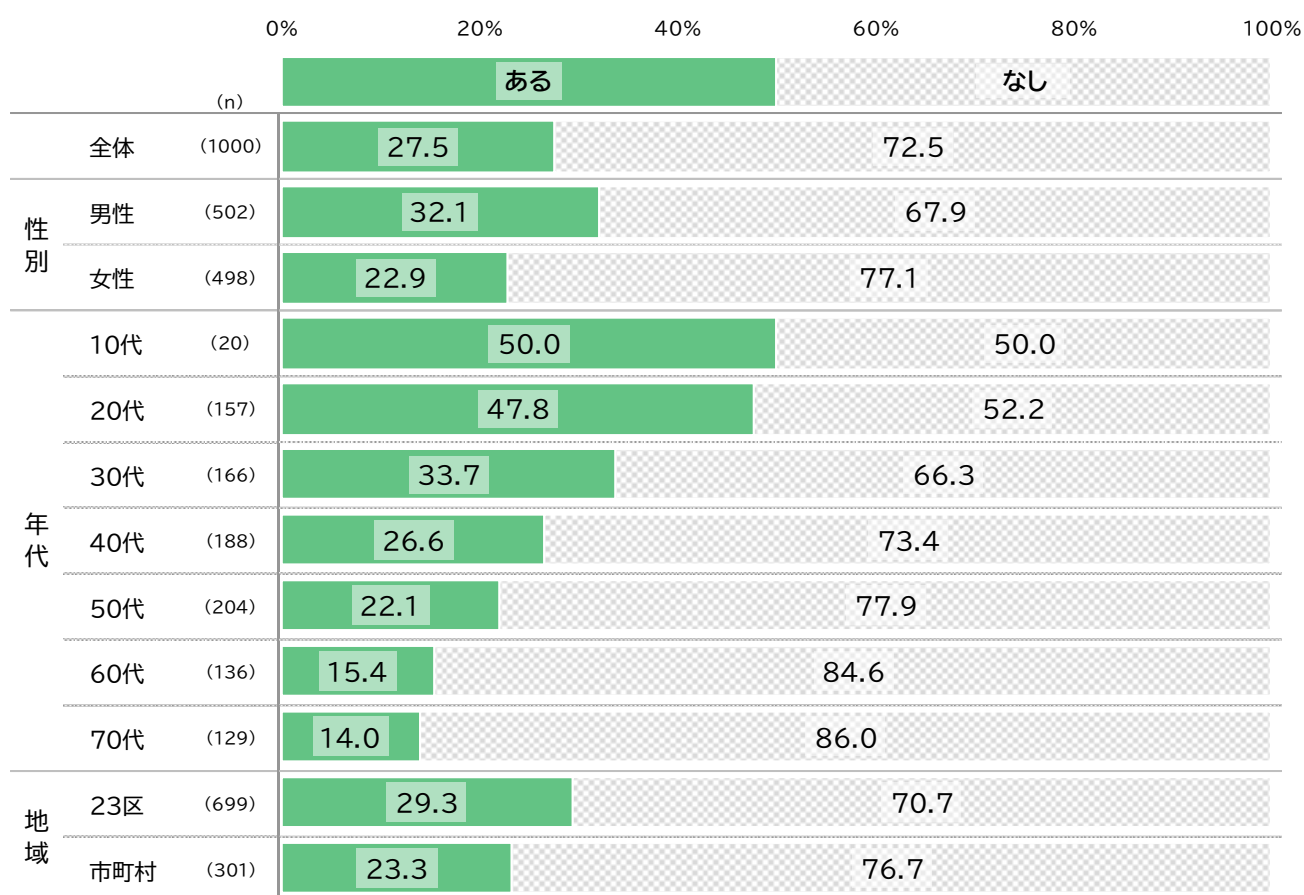
年代別にみると「自身で日常的な点検整備をしている」は20代が44.6%と最も高く、次いで70代が43.4%となっています。

横%			点 自 検 身 整 備 を 日 し 常 て 的 な い る	点 1 検 年 整 に 備 1 を 度 し 自 て 転 い 車 る 店 で	点 講 地 検 習 域 整 会 や 備 等 学 を で 校 し て 行 て い う る	点 検 整 備 を し て い な い				
	(n)									
全体	(1000)		37.2		23.1		2.2		45.4	
性別	男性	(502)		45.0		21.7		2.2		40.0
	女性	(498)		29.3		24.5		2.2		50.8
年代	10代	(20)		40.0		20.0		5.0		45.0
	20代	(157)		44.6		28.7		5.1		34.4
	30代	(166)		41.6		28.3		3.6		41.6
	40代	(188)		29.8		26.1		2.7		50.0
	50代	(204)		32.4		17.6		0.5		53.9
	60代	(136)		34.6		14.7	-	-		52.9
	70代	(129)		43.4		23.3		0.8		35.7
地域	23区	(699)		36.2		23.7		2.9		46.1
	市町村	(301)		39.5		21.6		0.7		43.9

Q6. 自転車の乗車中にブレーキの利きが悪かったり、ライトが点灯しなかった等、故障・不具合が原因と思われる事故に遭った、または、事故に遭いそうになった経験はありますか。(単一回答)

故障・不具合が原因と思われる事故に遭った、または、事故に遭いそうになった経験について、「ある」とした回答は27.5%となっています。

性別にみると「ある」は男性が32.1%、女性が22.9%となり、男性のほうが9.2ポイント高く、年代別にみると10代が50.0%と最も高く、次いで20代が47.8%となっています。最も低いのは70代の14.0%となっており、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。

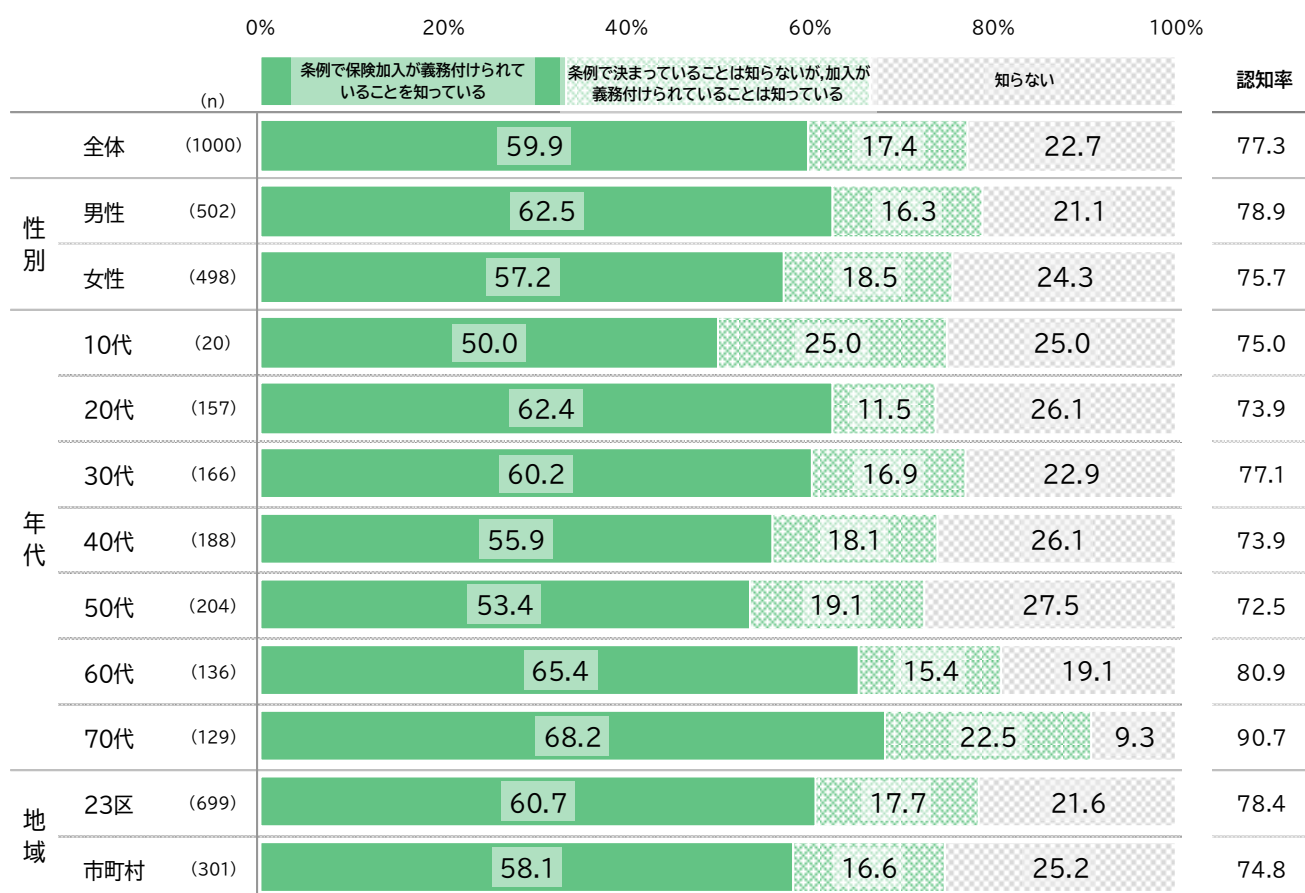


## 4. 自転車の保険について

Q7. あなたは条例において、自転車利用中の事故により、他人にケガをさせてしまった場合などの損害を賠償できる保険等への加入が義務付けられていることを知っていますか。(単一回答)

自転車損害賠償保険等への加入義務の認知について、「条例で保険加入が義務付けられていることを知っている」が59.9%、「条例で決まっていることは知らないが、加入が義務付けられていることは知っている」が17.4%となり、『認知率』は77.3%となっています。

性別にみると『認知率』は男性が78.9%、女性が75.7%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると70代が90.7%と最も高く、次いで60代が80.9%となっています。一方で「知らない」は50代が27.5%で最も高く、次いで20代・40代の26.1%となっています。

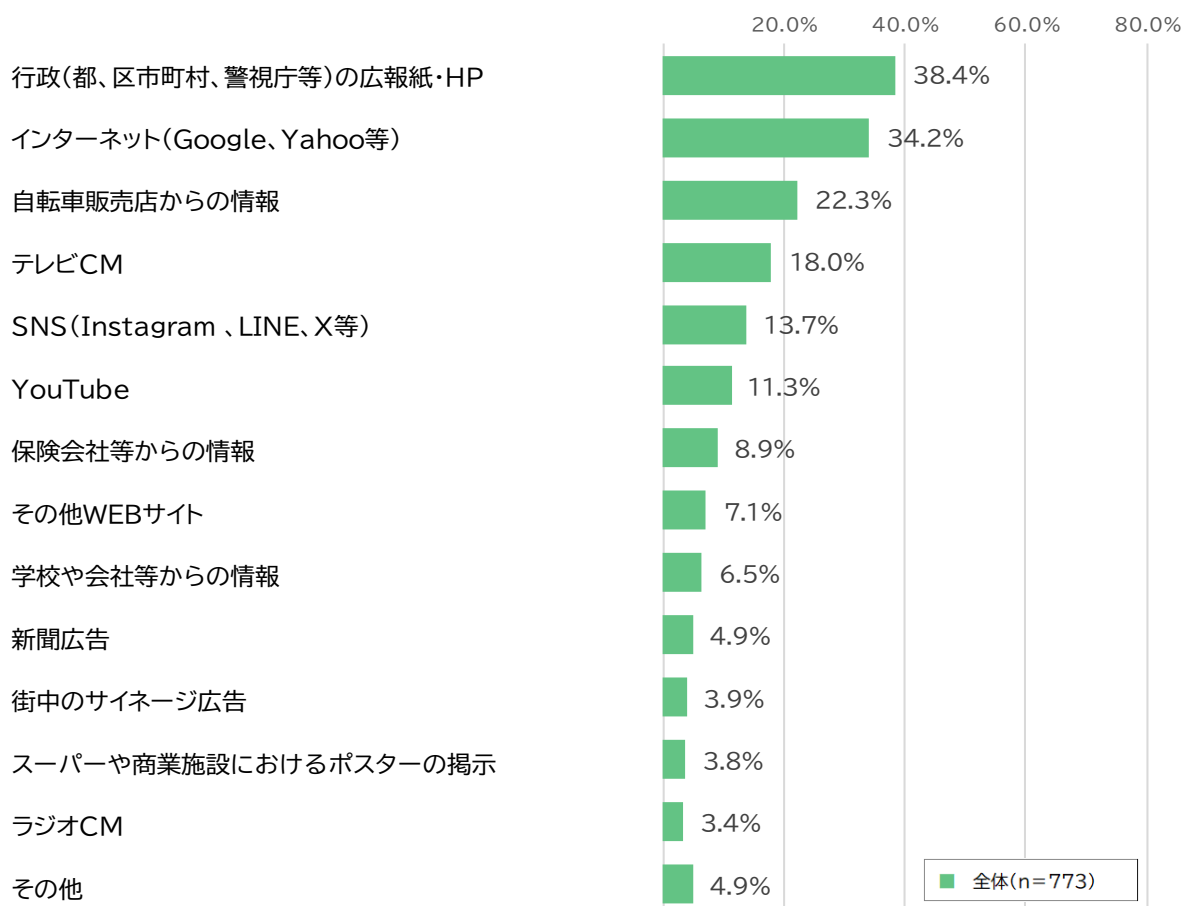


※ 認知率＝「条例で保険加入が義務付けられていることを知っている」＋「条例で決まっていることは知らないが、加入が義務付けられていることは知っている」

Q8. あなたは条例において、自転車保険への加入が義務化されていることをどこで知りましたか。(複数回答)  
 <Q7で、「加入が義務付けられていることを知っている」とした回答者が対象=773人>

(1)全体

自転車保険への加入が義務化されていることを知った情報源について、「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」が38.4%と最も高く、次いで「インターネット（Google、Yahoo等）」が34.2%、「自転車販売店からの情報」が22.3%となっています。



●その他の内容

- ・テレビ番組・ニュース(10件)、家族(5件)など

Q8. あなたは条例において、自転車保険への加入が義務化されていることをどこで知りましたか。(複数回答)  
 <Q7で、「加入が義務付けられていることを知っている」とした回答者が対象=773人>

(2)属性別

自転車保険への加入が義務化されていることを認知した情報源について、性別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」は男性が37.1%、女性が39.8%となり、男女間で大きな差は見られません。

年代別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」は50代が43.9%と最も高く、次いで70代が41.9%となり、50代以上で高い傾向が見られます。一方「インターネット（Google、Yahoo等）」は10代が46.7%と最も高く、次いで30代が41.4%となり、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。また、30代以下では「SNS（Instagram、LINE、X等）」を情報源とするが他の年代よりも高いことが特徴です。

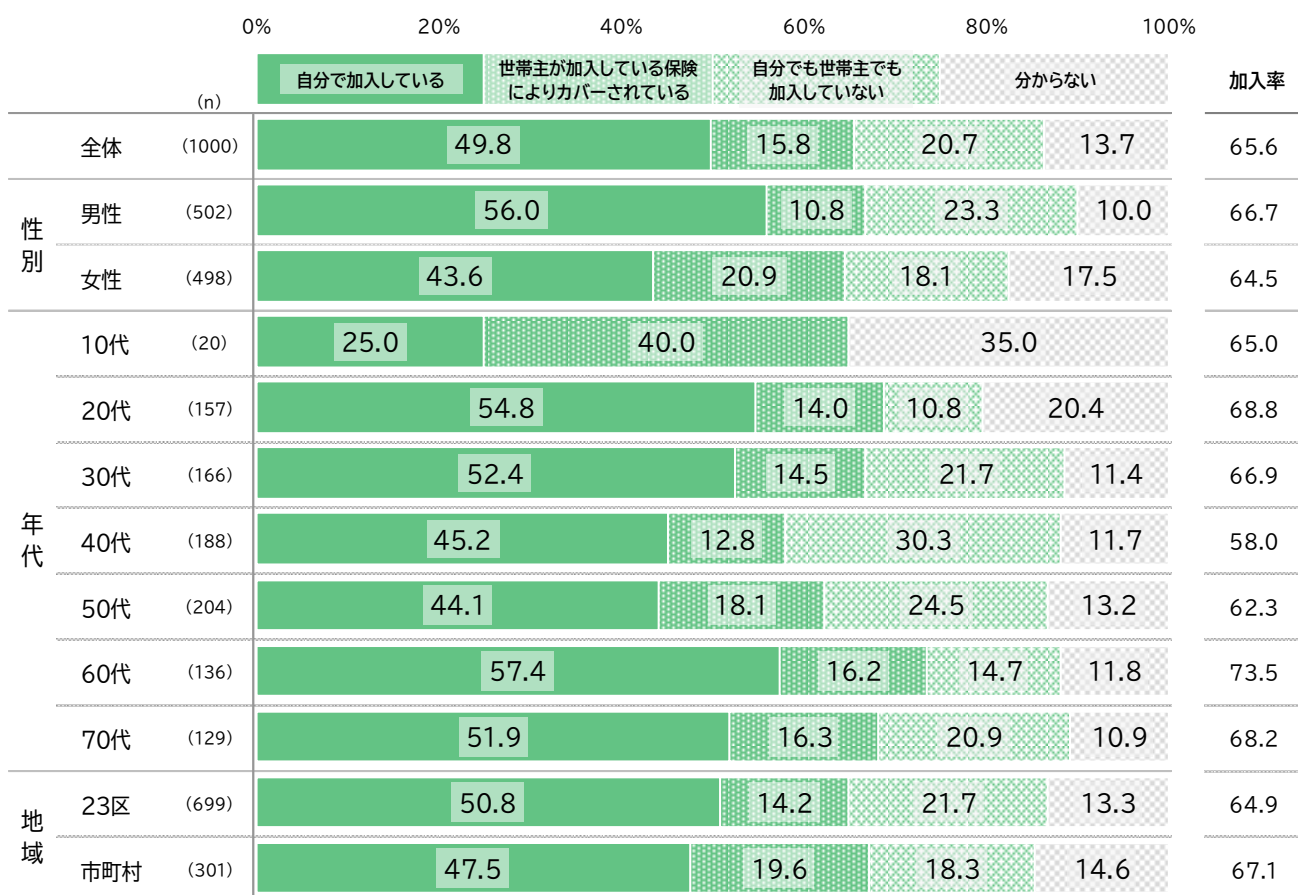
横%		行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP	インターネット（Google、Yahoo等）	自転車販売店からの情報	テレビCM	SNS（Instagram、LINE、X等）	YouTube	保険会社等からの情報	その他WEBサイト	学校や会社等からの情報	新聞広告	街中のサインージ広告	スーパーや商業施設におけるポスターの掲示	ラジオCM	その他
	(n)														
全体	(773)	38.4	34.2	22.3	18.0	13.7	11.3	8.9	7.1	6.5	4.9	3.9	3.8	3.4	4.9
性別	男性 (396)	37.1	41.2	20.2	16.9	15.7	15.4	10.6	7.1	7.3	6.3	3.8	4.5	2.8	5.3
	女性 (377)	39.8	26.8	24.4	19.1	11.7	6.9	7.2	7.2	5.6	3.4	4.0	2.9	4.0	4.5
年代	10代 (15)	26.7	46.7	13.3	33.3	33.3	13.3	13.3	20.0	33.3	13.3	13.3	13.3	6.7	-
	20代 (116)	34.5	34.5	20.7	11.2	29.3	25.9	5.2	14.7	10.3	6.0	8.6	6.0	6.9	1.7
	30代 (128)	38.3	41.4	23.4	21.1	25.0	21.1	5.5	9.4	8.6	5.5	5.5	4.7	5.5	3.9
	40代 (139)	32.4	39.6	27.3	13.7	11.5	8.6	10.1	6.5	8.6	2.2	5.0	1.4	2.2	5.8
	50代 (148)	43.9	29.1	16.2	16.9	10.1	6.1	11.5	3.4	4.1	2.7	0.7	4.7	2.0	4.7
	60代 (110)	40.9	38.2	20.0	23.6	3.6	5.5	7.3	3.6	2.7	5.5	2.7	2.7	0.9	7.3
	70代 (117)	41.9	20.5	27.4	20.5	-	0.9	12.8	4.3	0.9	7.7	-	1.7	2.6	6.8
地域	23区 (548)	37.6	34.3	20.4	18.1	16.2	13.5	8.9	8.2	6.2	5.1	4.4	3.5	3.8	5.1
	市町村 (225)	40.4	33.8	26.7	17.8	7.6	5.8	8.9	4.4	7.1	4.4	2.7	4.4	2.2	4.4

Q9. あなたは自転車損害賠償保険等に加入していますか。(単一回答)

(1)全体/属性別

自転車損害賠償保険等への加入状況について、「自分で加入している」が49.8%、「世帯主が加入している保険によりカバーされている」が15.8%となり、『加入率』は65.6%となっています。

性別にみると『加入率』は男性が66.7%、女性が64.5%となり、男女間で大きな差は見られません。年代別にみると60代が73.5%と最も高く、次いで20代が68.8%となっています。一方で「自分でも世帯主でも加入していない」では40代が30.3%で最も高く、「分からない」では10代の35.0%が最も高くなっています。



※ 加入率=「自分で加入している」+「世帯主が加入している保険によりカバーされている」

Q9. あなたは自転車損害賠償保険等に加入していますか。(単一回答)

(2)Q3. 自転車利用の主な目的/Q4. 自転車の危険性/Q7. 自転車損害賠償保険等への加入義務の認知でみた結果

自転車損害賠償保険等への加入状況について、自動車利用の主な目的別にみると、「その他」を除いて、「自分で加入している」は「子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている」が65.2%と最も高く、次いで「休日などに運動不足解消や趣味として乗っている」が59.8%となっています。『加入率』でも「子供(孫)の送り迎えの際に乗っている」が80.4%と最も高い結果となっています。

自転車運転における危険性の認識の差でみると「(自転車の運転に危険性が伴うと思う)」と回答した人の『加入率』は71.1%となり、「自分で加入している」も55.1%と半数に達しています。

自転車損害賠償保険等への加入義務の認知別にみると「条例で保険加入が義務付けられていることを知っている」の『加入率』は85.1%、「知らない」では22.0%となっています。加入義務の認知有無によって、『加入率』に大きな差が見られます。

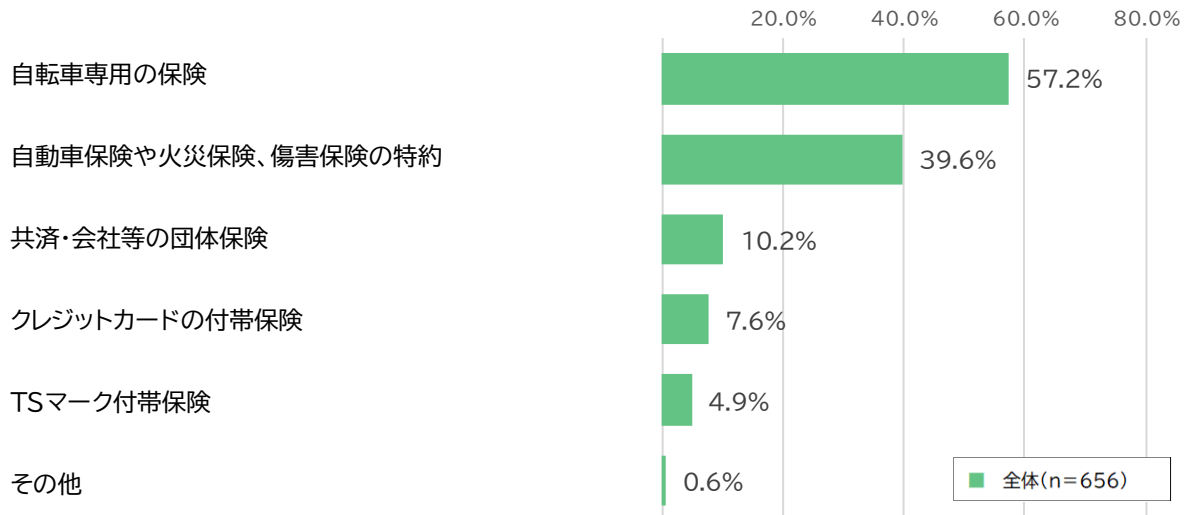
横%		(n)	自分で加入している	世帯主が加入している保険によりカバーされている	自分でも世帯主でもない	分からない	加入率
	全体	(1000)	49.8	15.8	20.7	13.7	65.6
Q3 自転車利用目的	通勤・通学の際に乗っている	(315)	59.0	13.7	17.8	9.5	72.7
	近場への買い物などの移動の際に乗っている	(830)	48.7	16.7	21.8	12.8	65.4
	子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている	(92)	65.2	15.2	9.8	9.8	80.4
	休日などに運動不足解消や趣味として乗っている	(219)	59.8	12.8	19.6	7.8	72.6
	業務で自転車に乗っている	(32)	53.1	9.4	12.5	25.0	62.5
	その他	(13)	61.5	-	7.7	30.8	61.5
Q4 危険性	(自転車の運転に危険性が伴うと思う)	(724)	55.1	16.0	19.2	9.7	71.1
	どちらとも言えない	(209)	38.8	16.7	23.0	21.5	55.5
	特に思わない	(67)	26.9	10.4	29.9	32.8	37.3
Q7 認知	条例で保険加入が義務付けられていることを知っている	(599)	67.6	17.5	11.7	3.2	85.1
	条例で決まっていることは知らないが、加入が義務付けられていることは知っている	(174)	36.2	19.0	27.6	17.2	55.2
	知らない	(227)	13.2	8.8	39.2	38.8	22.0

※ 加入率=「自分で加入している」+「世帯主が加入している保険によりカバーされている」

Q10. あなたが加入している自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類を教えてください。(複数回答)  
 <Q9で、「自転車損害賠償保険等に加入している」とした回答者が対象=656人>

(1)全体

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類について、「自転車専用の保険」が57.2%と最も高く、次いで「自動車保険や火災保険、傷害保険の特約」が39.6%となっています。



●その他の内容

賠償保険(3件)など

Q10. あなたが加入している自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類を教えてください。(複数回答)  
 <Q9で、「自転車損害賠償保険等に加入している」とした回答者が対象=656人>

(2)属性別

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等の種類について、性別にみると「自転車専用の保険」は男性が58.2%、女性が56.1%となり、男女間で大きな差は見られません。

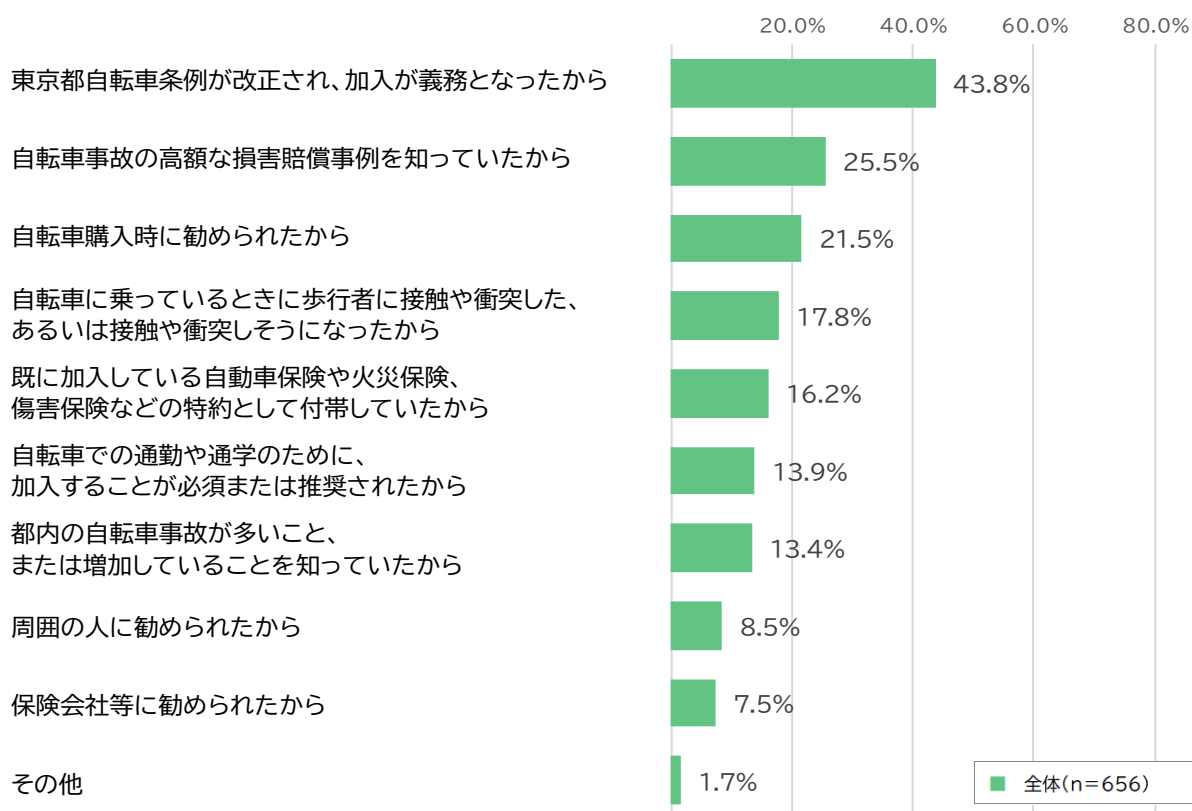
年代別にみると「自転車専用の保険」は30代が66.7%と最も高く、次いで40代が63.3%となっています。「共済・会社等の団体保険」「クレジットカードの付帯保険」「TSマーク付帯保険」では、20代が他の年代よりも高いことが特徴です。

横%			自転車 専用の 保険	傷自動車 害保険 の特 約や火 災保 険、	共 済・ 会 社 等 の 団 体 保 険	ク レ ジ ッ ト カ ー ド の 付 帯 保 険	T S マ ー ク 付 帯 保 険	そ の 他
	(n)							
全体	(656)		57.2	39.6	10.2	7.6	4.9	0.6
性別	男性	(335)	58.2	39.4	8.1	8.7	5.7	0.3
	女性	(321)	56.1	39.9	12.5	6.5	4.0	0.9
年代	10代	(13)	46.2	61.5	15.4	7.7	7.7	-
	20代	(108)	57.4	46.3	20.4	13.9	8.3	-
	30代	(111)	66.7	41.4	10.8	10.8	3.6	-
	40代	(109)	63.3	30.3	11.0	8.3	4.6	-
	50代	(127)	48.0	42.5	4.7	3.9	4.7	1.6
	60代	(100)	50.0	42.0	8.0	4.0	4.0	-
	70代	(88)	60.2	30.7	5.7	4.5	3.4	2.3
地域	23区	(454)	57.9	40.7	11.0	9.9	5.5	0.4
	市町村	(202)	55.4	37.1	8.4	2.5	3.5	1.0

Q11. あなたが自転車損害賠償保険等に加入したきっかけは何ですか。(複数回答)  
 <Q9で、「自転車損害賠償保険等に加入している」とした回答者が対象=656人>

(1)全体

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけについて、「東京都自転車条例が改正され、加入が義務となったから」が43.8%と最も高く、次いで「自転車事故の高額な損害賠償事例を知っていたから」が25.5%、「自転車購入時に勧められたから」が21.5%となっています。



●その他の内容

- ・会社で義務づけられているから(2件)、日常生活全般の賠償責任保険が欲しかったから(2件)、子どもが自転車に乗るようになったから(1件)など

Q11. あなたが自転車損害賠償保険等に加入したきっかけは何ですか。(複数回答)  
 <Q9で、「自転車損害賠償保険等に加入している」とした回答者が対象=656人>

(2)属性別

自転車利用中の対人賠償事故に備える保険等に加入したきっかけについて、性別にみると「東京都自転車条例が改正され、加入が義務となったから」は男性が45.1%、女性が42.4%となり、男女間で大きな差は見られません。

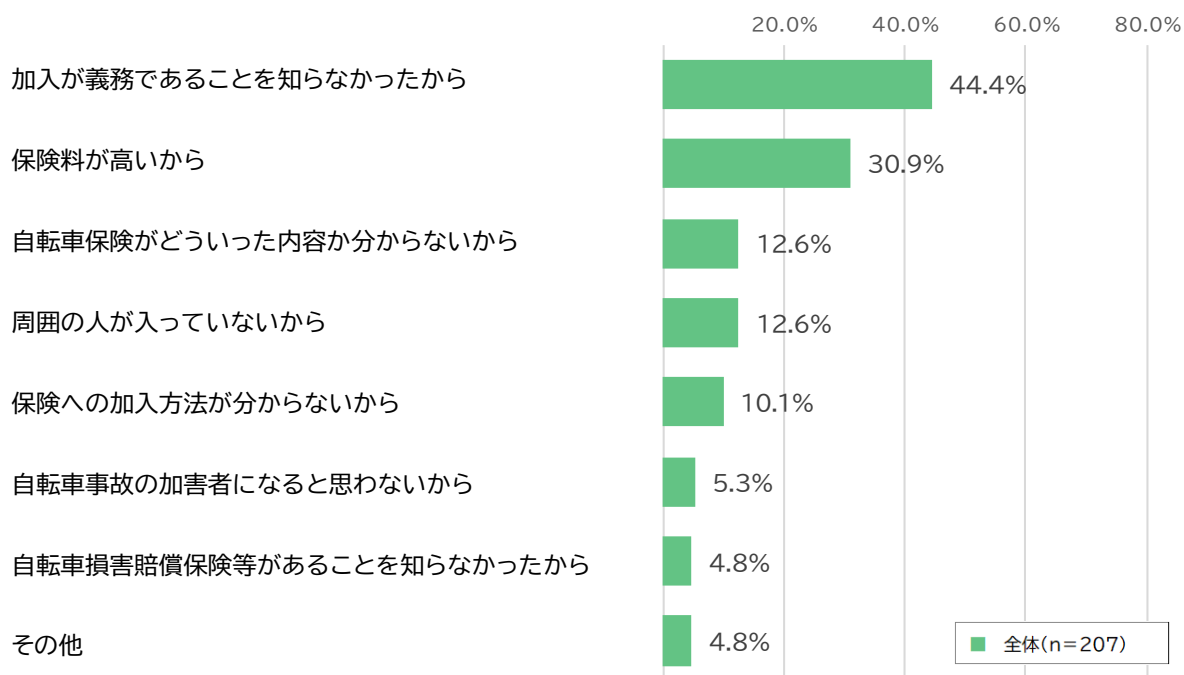
年代別にみると「東京都自転車条例が改正され、加入が義務となったから」は60代が53.0%と最も高く、次いで70代が48.9%となっています。「自転車事故の高額な損害賠償事例を知っていたから」は10代が30.8%と最も高く、次いで50代が30.7%となっています。「自転車購入時に勧められたから」では、20代・30代が他の年代よりも高い結果となっています。

横%		加入が義務となったから	知っていたから	自転車購入時に勧められたから	接触や衝突しそうになったから	自転車に乗っているときに歩行者に	付帯していたから	既に加入している自動車保険や火災	推奨されたから	加入する通勤や通学のために、	知ったから	都内の自転車事故が多いこと、	周囲の人に勧められたから	保険会社等に勧められたから	その他
	(n)														
全体	(656)	43.8	25.5	21.5	17.8	16.2	13.9	13.4	8.5	7.5	1.7				
性別	男性 (335)	45.1	29.3	23.3	20.3	15.5	16.1	14.0	7.2	7.5	1.2				
	女性 (321)	42.4	21.5	19.6	15.3	16.8	11.5	12.8	10.0	7.5	2.2				
年代	10代 (13)	30.8	30.8	15.4	15.4	30.8	38.5	23.1	7.7	15.4	-				
	20代 (108)	42.6	21.3	31.5	26.9	8.3	25.0	11.1	5.6	6.5	1.9				
	30代 (111)	45.9	26.1	26.1	25.2	13.5	18.9	12.6	12.6	15.3	-				
	40代 (109)	41.3	21.1	22.0	21.1	20.2	17.4	2.8	8.3	6.4	-				
	50代 (127)	35.4	30.7	18.9	14.2	22.0	9.4	16.5	9.4	6.3	3.1				
	60代 (100)	53.0	27.0	16.0	10.0	15.0	5.0	27.0	7.0	4.0	1.0				
	70代 (88)	48.9	25.0	13.6	8.0	14.8	2.3	9.1	8.0	4.5	4.5				
地域	23区 (454)	43.4	25.1	20.7	18.9	15.9	13.9	12.6	10.4	8.1	1.3				
	市町村 (202)	44.6	26.2	23.3	15.3	16.8	13.9	15.3	4.5	5.9	2.5				

Q12. あなたが自転車損害賠償保険等に加入していない理由を教えてください。(複数回答)  
 <Q9で、「自転車損害賠償保険等に加入していない」とした回答者が対象=207人>

(1)全体

自転車損害賠償保険等に加入していない理由について、「加入が義務であることを知らなかったから」が44.4%と最も高く、次いで「保険料が高いから」が30.9%、「自転車保険がどのような内容か分からないから」が12.6%となっています。



●その他の内容

- ・保険がついているレンタサイクルを利用しているから(2件)、入る予定(2件)など

Q12. あなたが自転車損害賠償保険等に加入していない理由を教えてください。(複数回答)

<Q9で、「自転車損害賠償保険等に加入していない」とした回答者が対象=207人>

(2)属性別

自転車損害賠償保険等に加入していない理由について、性別にみると「加入が義務であることを知らなかったから」は男性が43.6%、女性が45.6%であり、「保険料が高いから」は男性が30.8%、女性が31.1%と、それぞれの項目において男女間で大きな差は見られません。

年代別にみると「加入が義務であることを知らなかったから」は20代が52.9%と最も高く、次いで40代が49.1%となっています。「保険料が高いから」は40代が40.4%と最も高く、次いで50代が32.0%となっています。「自転車保険がこういった内容か分からないから」では60代・70代が他の年代よりも高い結果となっています。

横%			知らなかつたから加入が義務であることを	保険料が高いから	分からないから自転車保険がこういった内容か	周囲の人が入っていないから	保険への加入方法が分からないから	加害者になるの自動車事故の思わないから	あること損を知らなかつたから自転車損害賠償保険等	その他
	(n)									
全体	(207)		44.4	30.9	12.6	12.6	10.1	5.3	4.8	4.8
性別	男性	(117)	43.6	30.8	17.1	12.0	8.5	7.7	4.3	2.6
	女性	(90)	45.6	31.1	6.7	13.3	12.2	2.2	5.6	7.8
年代	10代	(0)	-	-	-	-	-	-	-	-
	20代	(17)	52.9	29.4	17.6	17.6	5.9	-	-	-
	30代	(36)	38.9	30.6	8.3	8.3	19.4	5.6	2.8	2.8
	40代	(57)	49.1	40.4	5.3	3.5	10.5	7.0	7.0	3.5
	50代	(50)	48.0	32.0	12.0	18.0	6.0	8.0	8.0	2.0
	60代	(20)	40.0	20.0	25.0	20.0	10.0	-	5.0	5.0
	70代	(27)	33.3	18.5	22.2	18.5	7.4	3.7	-	18.5
地域	23区	(152)	42.8	31.6	11.8	13.8	10.5	7.2	5.9	5.3
	市町村	(55)	49.1	29.1	14.5	9.1	9.1	-	1.8	3.6

※ 10代はサンプル数=0のため、コメントは記載していない

## 5.ヘルメット着用(自転車乗車中)の努力義務について

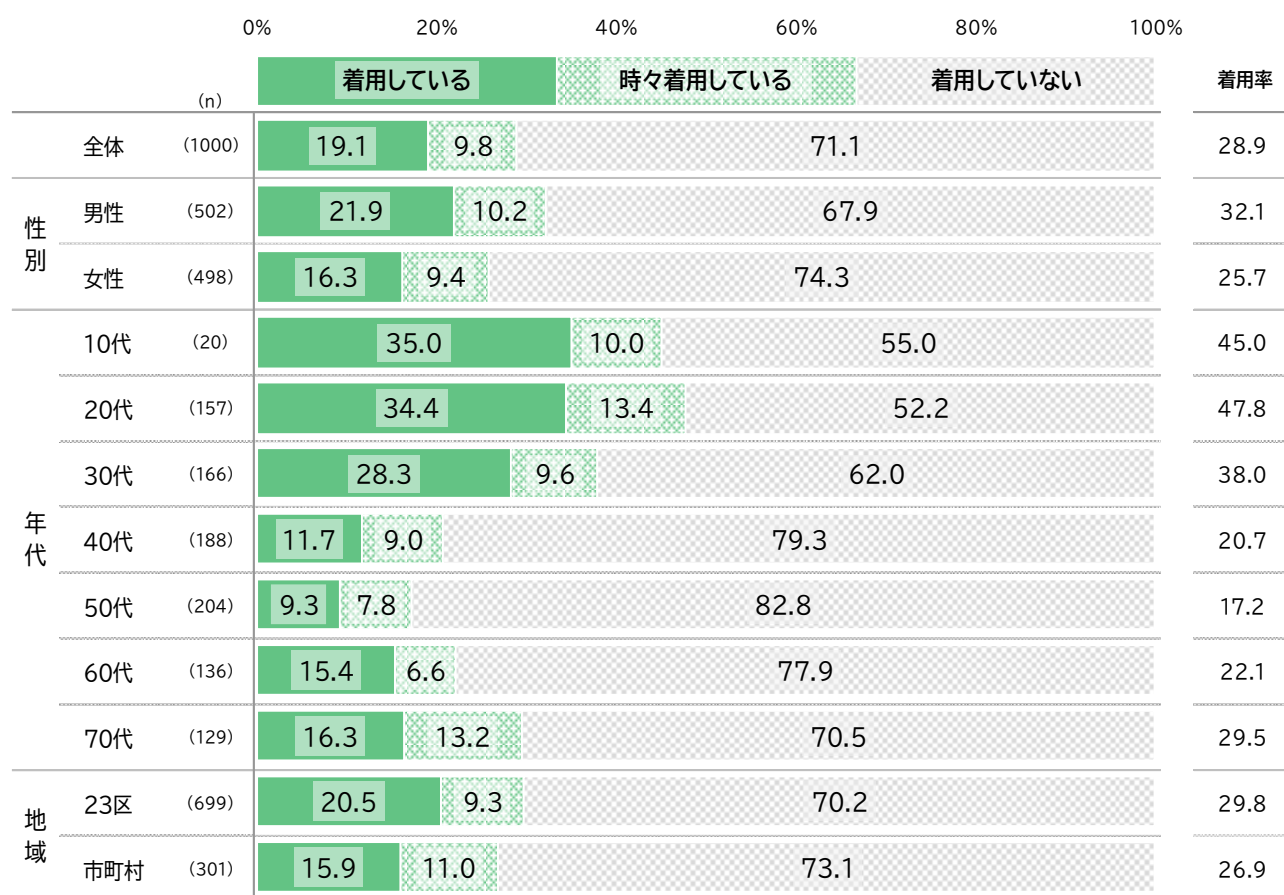
Q13. あなたは、自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。(単一回答)

(1)全体/属性別

自転車を利用する際にヘルメットを着用しているかについて、「着用している」が19.1%、「時々着用している」が9.8%となり、『着用率』は28.9%となっています。一方で「着用していない」は71.1%となっています。

性別にみると『着用率』は男性が32.1%、女性が25.7%となり、男性のほうが6.4ポイント高く、年代別にみると20代が47.8%と最も高く、次いで10代が45.0%となっています。

一方で「着用していない」では50代が82.8%と最も高く、次いで40代が79.3%となり、他の年代よりも高い結果となっています。



※ 着用率=「着用している」+「時々着用している」

Q13. あなたは、自転車を利用する際にヘルメットを着用していますか。(単一回答)

(2)Q3. 自転車利用の主な目的/Q4. 自転車の危険性でみた結果

自転車を利用する際にヘルメットを着用しているかについて、自動車利用の主な目的別にみると「着用している」は「子ども（孫）の送り迎えの際に乗っている」が43.5%と最も高く、次いで「休日などに運動不足解消や趣味として乗っている」が33.3%となり、『着用率』はそれぞれ4割以上と高い数値となっています。

自転車運転における危険性の認識の差でみると「(自転車の運転に危険性が伴うと思う)」と回答した人の『着用率』は32.3%となっています。「特に思わない」では9.0%となり、1割に満たない結果となっています。

横%		着用している	時々着用している	着用していない	着用率
(n)					
全体	(1000)	19.1	9.8	71.1	28.9
Q3 自転車 利用 目的	通勤・通学の際に乗っている	27.0	8.3	64.8	35.2
	近場への買い物などの移動の際に乗っている	17.3	9.0	73.6	26.4
	子ども(孫)の送り迎えの際に乗っている	43.5	15.2	41.3	58.7
	休日などに運動不足解消や趣味として乗っている	33.3	11.9	54.8	45.2
	業務で自転車に乗っている	21.9	28.1	50.0	50.0
	その他	7.7	7.7	84.6	15.4
Q4 危険 性	(自転車の運転に危険性が伴うと思う)	23.1	9.3	67.7	32.3
	どちらとも言えない	9.1	14.4	76.6	23.4
	特に思わない	7.5	1.5	91.0	9.0

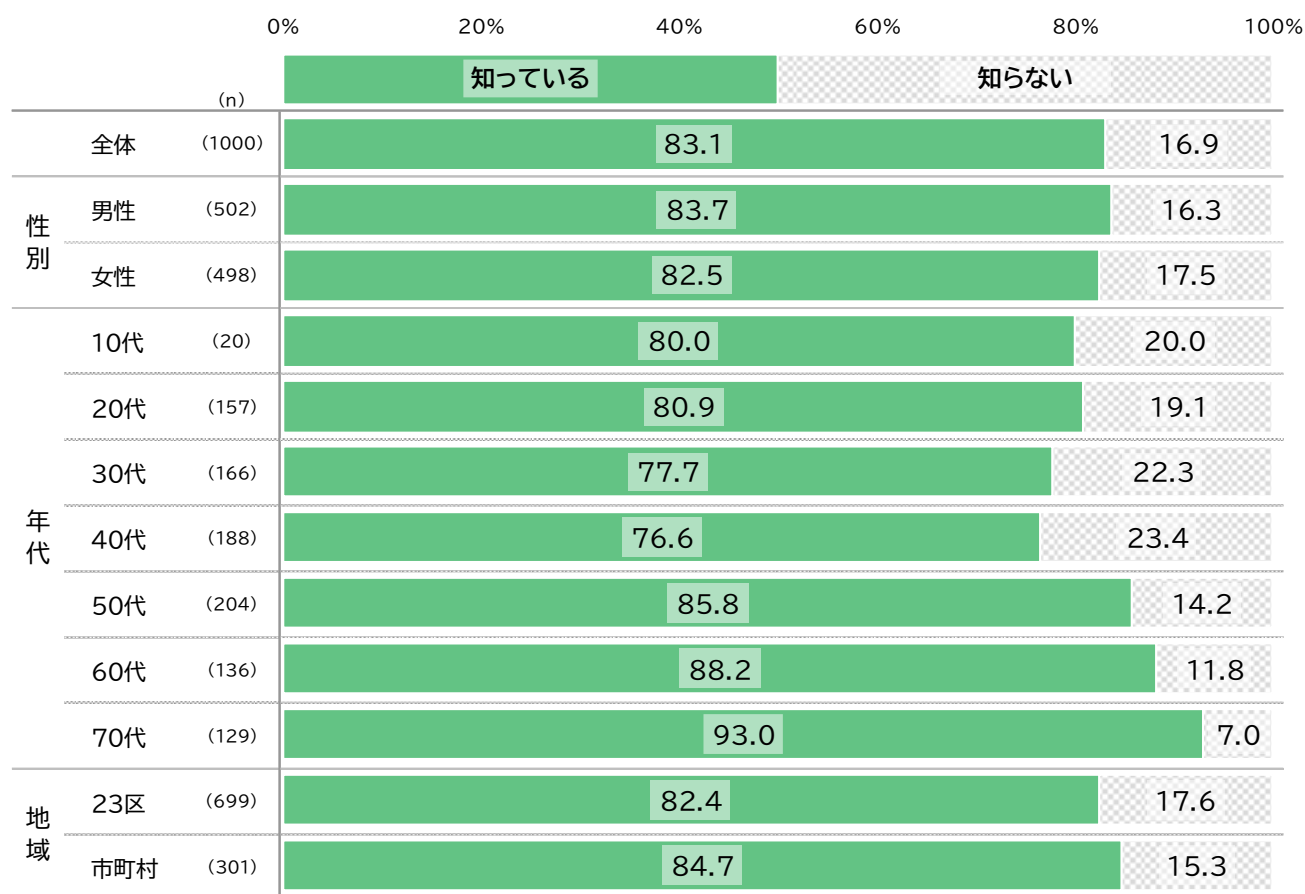
※ 着用率＝「着用している」＋「時々着用している」

Q14. あなたは、道路交通法や東京都自転車条例で自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知っていましたか。(単一回答)

(1)全体/属性別

道路交通法や東京都自転車条例で自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知っているかについて、「知っている」とした回答が83.1%となっています。

性別にみると「知っている」は男性が83.7%、女性が82.5%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると70代が93.0%と最も高く、次いで60代が88.2%となっており、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。一方で「知らない」が最も高いのは40代の23.4%となっています。



Q14. あなたは、道路交通法や東京都自転車条例で自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知っていましたか。(単一回答)

(2)Q14. 努力義務(自転車ヘルメットの着用)の認知×Q13. 自転車利用時のヘルメット着用状況でみた結果

自転車ヘルメットの『着用率』について、努力義務（自転車ヘルメットの着用）の認知別にみると「（着用が努力義務であることを）知っている」と回答した人のヘルメット『着用率』は33.8%となっています。一方で「知らない」と回答した人の『着用率』は4.7%となっています。

横%		着用している	時々着用している	着用していない	着用率	
		(n)				
全体		(1000)	19.1	9.8	71.1	28.9
Q1	(着用が努力義務であることを)知っている	(831)	22.6	11.2	66.2	33.8
4	(着用が努力義務であることを)知らない	(169)	1.8	3.0	95.3	4.7

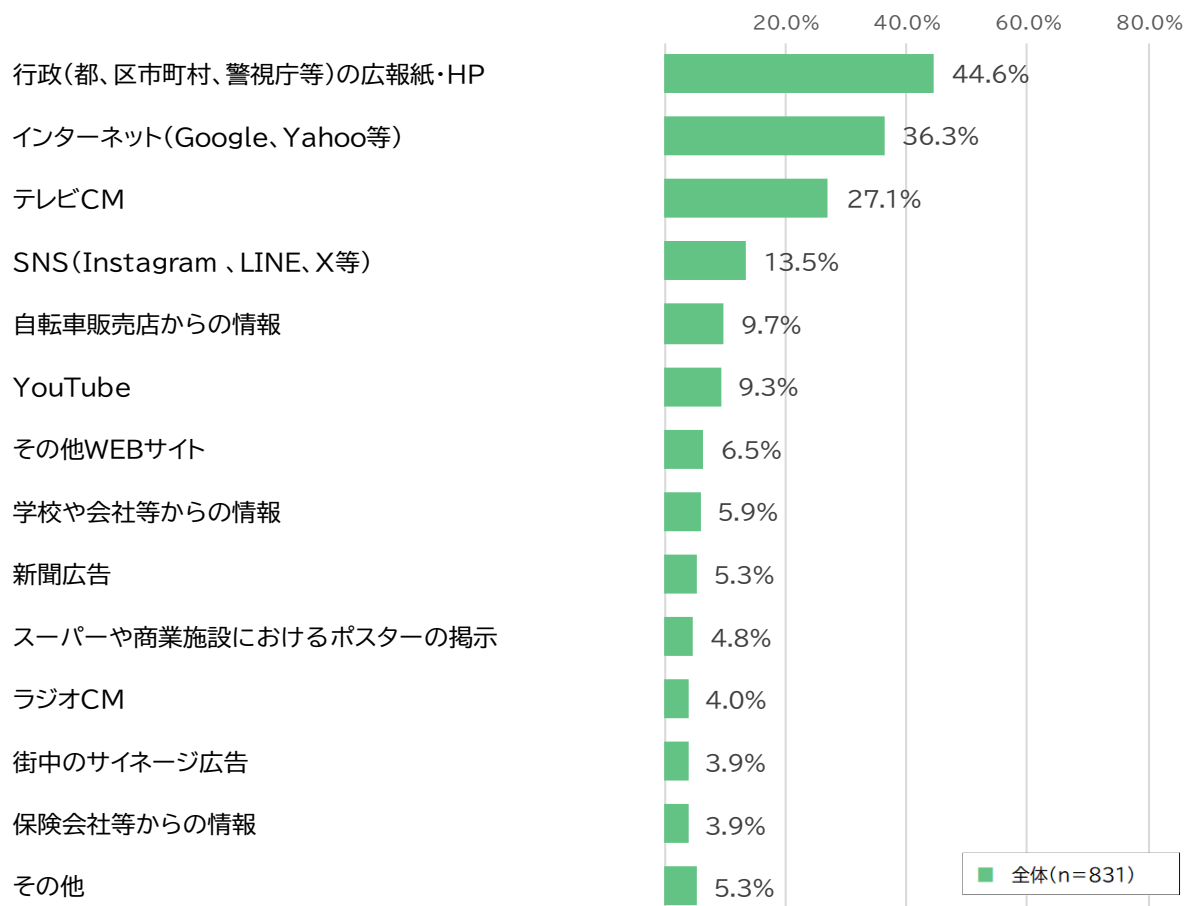
※ 着用率=「着用している」+「時々着用している」

Q15. あなたは道路交通法や東京都自転車条例において、自転車ヘルメットの着用が努力義務であることをどこで知りましたか。(複数回答)

<Q14で、「着用が努力義務であることを知っている」とした回答者が対象=831人>

(1)全体

道路交通法や東京都自転車条例において、自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知った情報源について、「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」が44.6%と最も高く、次いで「インターネット（Google、Yahoo等）」が36.3%、「テレビCM」が27.1%となっています。



●その他の内容

- ・テレビニュース、テレビ番組(21件)など

Q15. あなたは道路交通法や東京都自転車条例において、自転車ヘルメットの着用が努力義務であることをどこで知りましたか。(複数回答)

<Q14で、「着用が努力義務であることを知っている」とした回答者が対象=831人>

(2)属性別

道路交通法や東京都自転車条例において、自転車ヘルメットの着用が努力義務であることを知った情報源について、性別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」は男性が42.4%、女性が47.0%となり、男女間で大きな差は見られません。「インターネット（Google、Yahoo等）」では男性が45.0%、女性が27.5%となり、男性のほうが17.5ポイント高くなっています。

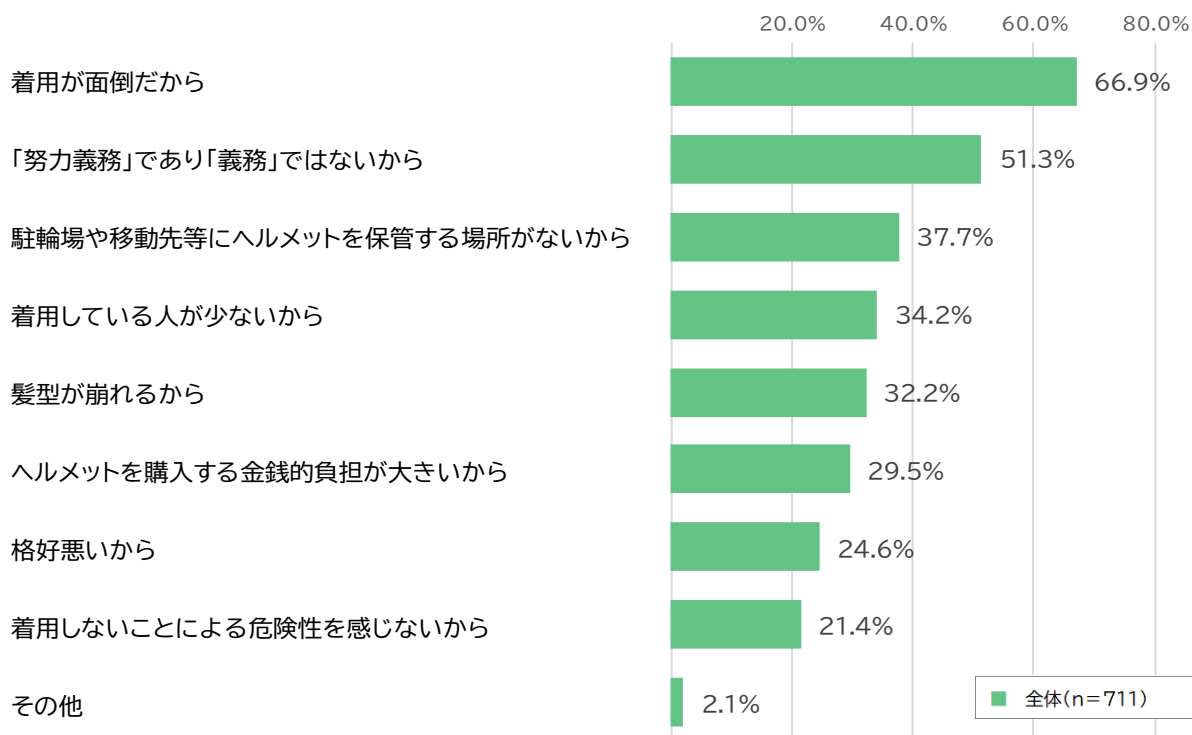
年代別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」は70代が55.8%と最も高く、次いで60代が50.8%となり、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。一方で40代以下では「インターネット（Google、Yahoo等）」を情報源とする回答が高くなり約4割以上となっています。また、30代以下では「SNS（Instagram、LINE、X等）」を情報源とする回答が他の年代よりも高いことが特徴です。

横%		行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP	インターネット（Google、Yahoo等）	テレビCM	SNS（Instagram、LINE、X等）	自転車販売店からの情報	YouTube	その他WEBサイト	学校や会社等からの情報	新聞広告	スーパーや商業施設におけるポスターの掲示	ラジオCM	街中のサインージ広告	保険会社等からの情報	その他
	(n)														
	全体 (831)	44.6	36.3	27.1	13.5	9.7	9.3	6.5	5.9	5.3	4.8	4.0	3.9	3.9	5.3
性別	男性 (420)	42.4	45.0	25.7	14.8	10.5	11.7	7.9	5.5	5.5	5.2	4.0	4.3	5.2	5.0
	女性 (411)	47.0	27.5	28.5	12.2	9.0	6.8	5.1	6.3	5.1	4.4	3.9	3.4	2.4	5.6
年代	10代 (16)	43.8	37.5	37.5	25.0	18.8	12.5	18.8	43.8	6.3	6.3	-	12.5	6.3	-
	20代 (127)	39.4	44.9	21.3	25.2	7.9	24.4	8.7	11.8	3.1	6.3	7.1	7.1	6.3	3.1
	30代 (129)	46.5	48.1	21.7	30.2	7.8	15.5	8.5	7.8	6.2	4.7	4.7	7.0	3.9	1.6
	40代 (144)	34.7	41.0	25.0	13.2	13.9	4.9	7.6	4.2	2.1	2.1	2.8	3.5	4.9	4.9
	50代 (175)	43.4	28.0	28.6	6.3	10.3	5.1	5.1	2.9	2.3	5.1	2.9	1.7	2.3	8.0
	60代 (120)	50.8	35.8	28.3	5.0	9.2	4.2	4.2	4.2	7.5	5.0	4.2	2.5	2.5	8.3
	70代 (120)	55.8	21.7	36.7	0.8	7.5	2.5	3.3	0.8	12.5	5.8	3.3	0.8	3.3	5.8
地域	23区 (576)	44.6	36.8	26.4	13.7	10.1	10.4	6.8	5.9	5.0	5.4	4.5	4.7	4.7	4.7
	市町村 (255)	44.7	35.3	28.6	12.9	9.0	6.7	5.9	5.9	5.9	3.5	2.7	2.0	2.0	6.7

Q16. あなたが自転車ヘルメットを着用していない理由を3つ教えてください。(複数回答)  
 <Q13で、「ヘルメットを着用していない」とした回答者が対象=711人>

(1)全体

自転車ヘルメットを着用していない理由について、「着用が面倒だから」が66.9%と最も高く、次いで「『努力義務』であり『義務』ではないから」が51.3%、「駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから」が37.7%となっています。



●その他の内容

- ・帽子を被っているため(3件)、自転車にあまり乗っていないから(1件)、頭や顔が痒くなるから(1件)など

Q16. あなたが自転車ヘルメットを着用していない理由を3つ教えてください。(複数回答)

<Q13で、「ヘルメットを着用していない」とした回答者が対象=711人>

(2)属性別

自転車ヘルメットを着用していない理由について、性別にみると「着用が面倒だから」は男性が69.8%、女性が64.3%となり、男性のほうが5.5ポイント高くなっています。「髪型が崩れるから」では男性が26.4%、女性が37.6%となり、女性のほうが11.2ポイント高くなっています。

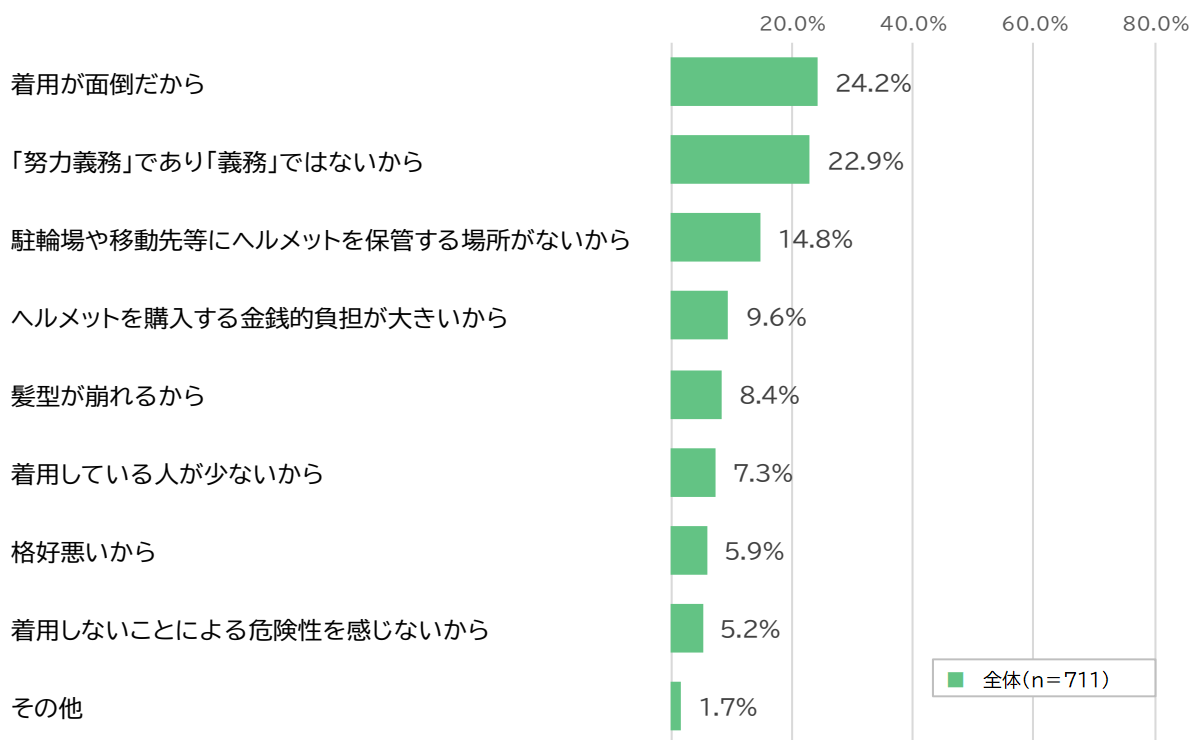
年代別にみると「着用が面倒だから」は70代が73.6%と最も高く、次いで60代が68.9%となっています。「『努力義務』であり『義務』ではないから」でも70代が63.7%と最も高く、次いで60代が61.3%となっています。「格好悪いから」では10代で45.5%となり、他の年代よりも高いことが特徴です。

横%		着用が面倒だから	「努力義務」ではないから	「義務」ではないから	駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから	着用している人が少ないから	髪型が崩れるから	金銭的負担が大きいため購入しないから	ヘルメットを格好悪いから	着用しないことによる危険性を感ぜないから	その他
	(n)										
全体	(711)	66.9	51.3	37.7	34.2	32.2	29.5	24.6	21.4	2.1	
性別	男性 (341)	69.8	53.1	35.2	31.1	26.4	31.4	23.2	28.7	1.2	
	女性 (370)	64.3	49.7	40.0	37.0	37.6	27.8	25.9	14.6	3.0	
年代	10代 (11)	63.6	36.4	63.6	18.2	36.4	9.1	45.5	27.3	-	
	20代 (82)	65.9	45.1	31.7	30.5	39.0	32.9	28.0	25.6	1.2	
	30代 (103)	64.1	47.6	34.0	31.1	43.7	29.1	33.0	16.5	1.0	
	40代 (149)	67.1	43.0	28.9	39.6	37.6	32.9	31.5	16.8	2.7	
	50代 (169)	64.5	52.1	40.8	31.4	30.2	35.5	25.4	18.3	1.8	
	60代 (106)	68.9	61.3	47.2	34.9	24.5	28.3	7.5	25.5	1.9	
	70代 (91)	73.6	63.7	41.8	38.5	16.5	14.3	16.5	30.8	4.4	
地域	23区 (491)	66.4	52.5	35.8	34.8	32.4	29.3	24.0	22.8	1.8	
	市町村 (220)	68.2	48.6	41.8	32.7	31.8	30.0	25.9	18.2	2.7	

Q17. あなたが自転車ヘルメットを着用していない最大の理由を教えてください。(単一回答)  
 <Q13で、「ヘルメットを着用していない」とした回答者が対象=711人>

(1)全体

自転車ヘルメットを着用していない最大の理由について、「着用が面倒だから」が24.2%と最も高く、次いで「『努力義務』であり『義務』ではないから」が22.9%、「駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから」が14.8%となっています。



●その他の内容

- ・帽子を被っているため(3件)、頭や顔が痒くなるから(1件)など

Q17. あなたが自転車ヘルメットを着用していない最大の理由を教えてください。(単一回答)  
 <Q13で、「ヘルメットを着用していない」とした回答者が対象=711人>

(2)属性別

自転車ヘルメットを着用していない最大の理由について、性別にみると「着用が面倒だから」は男性が27.9%、女性が20.8%となり、男性のほうが7.1ポイント高くなっています。「髪型が崩れるから」では男性が6.7%、女性が10.0%となり、男女間で大きな差は見られません。

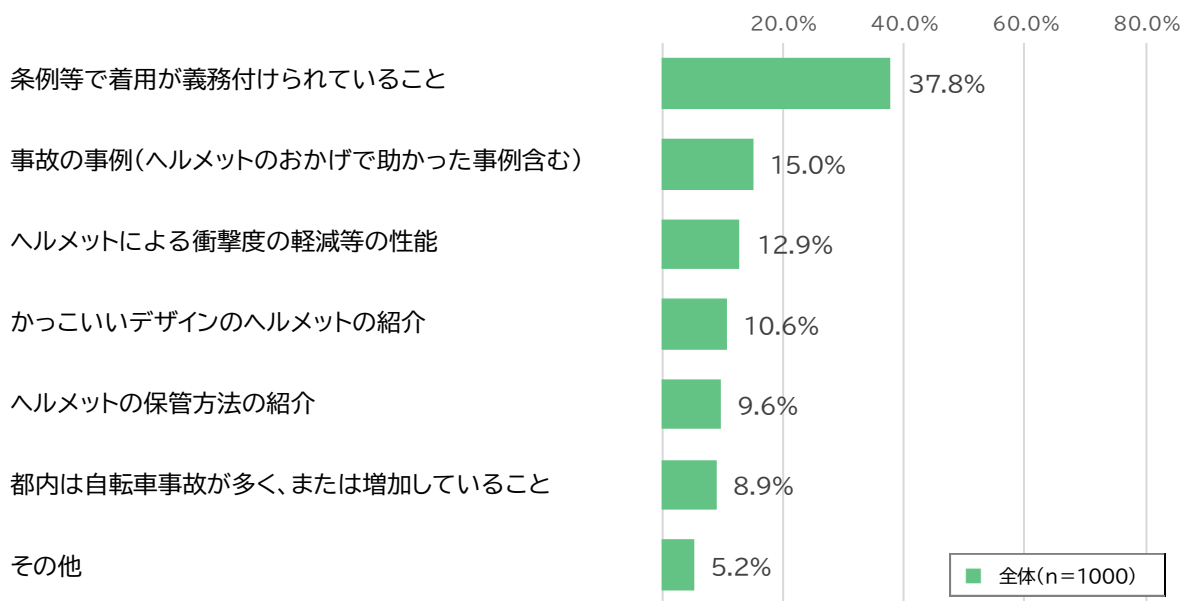
年代別にみると「着用が面倒だから」は70代が28.6%と最も高く、次いで30代が25.2%となっています。「『努力義務』であり『義務』ではないから」は70代が30.8%と最も高く、次いで60代が27.4%となっています。「駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから」では10代で36.4%となり、他の年代よりも高いことが特徴です。

横%	(n)	着用が面倒だから	「努力義務」であり「義務」ではないから	駐輪場や移動先等にヘルメットを保管する場所がないから	金銭的負担が大きいため購入しないから	髪型が崩れるから	着用している人が少ないから	格好悪いから	着用しないことによる危険性を感ぜないから	その他
全体	(711)	24.2	22.9	14.8	9.6	8.4	7.3	5.9	5.2	1.7
性別	男性 (341)	27.9	23.8	12.3	10.9	6.7	4.7	6.2	6.5	1.2
	女性 (370)	20.8	22.2	17.0	8.4	10.0	9.7	5.7	4.1	2.2
年代	10代 (11)	18.2	-	36.4	9.1	9.1	-	18.2	9.1	-
	20代 (82)	19.5	23.2	13.4	14.6	9.8	4.9	2.4	11.0	1.2
	30代 (103)	25.2	21.4	15.5	6.8	8.7	9.7	9.7	2.9	-
	40代 (149)	24.2	18.1	8.1	13.4	13.4	10.7	6.0	3.4	2.7
	50代 (169)	24.9	22.5	14.2	9.5	7.7	7.7	7.7	4.1	1.8
	60代 (106)	22.6	27.4	21.7	8.5	6.6	2.8	3.8	5.7	0.9
	70代 (91)	28.6	30.8	16.5	3.3	2.2	6.6	2.2	6.6	3.3
地域	23区 (491)	23.6	24.8	13.2	9.2	9.4	6.3	6.1	5.9	1.4
	市町村 (220)	25.5	18.6	18.2	10.5	6.4	9.5	5.5	3.6	2.3

Q18. 自転車乗用中のヘルメット着用を促進するためには、どういった内容を広報することが最も効果的だと思いますか。(単一回答)

(1)全体

自転車乗用中のヘルメット着用を促進するためには、どういった内容を広報することが効果的だと思うかについて、「条例等で着用が義務付けられていること」が37.8%と最も高く、次いで「事故の事例（ヘルメットのおかげで助かった事例含む）」が15.0%、「ヘルメットによる衝撃度の軽減等の性能」が12.9%となっています。



●その他の内容

- ・軽いヘルメットの紹介(1件)など

Q18. 自転車乗用中のヘルメット着用を促進するためには、どういった内容を広報することが最も効果的だと思いますか。(単一回答)

(2)属性別

自転車乗用中のヘルメット着用を促進するためには、どういった内容を広報することが効果的だと思うかについて、性別にみると「条例等で着用が義務付けられていること」は男性が36.1%、女性が39.6%となり、男女間で大きな差は見られません。「事故の事例（ヘルメットのおかげで助かった事例含む）」では男性が15.5%、女性が14.5%となり、こちらも男女間で大きな差は見られません。

年代別にみると「条例等で着用が義務付けられていること」は50代が43.1%と最も高く、次いで40代が40.4%となっています。「事故の事例（ヘルメットのおかげで助かった事例含む）」は20代が22.9%と最も高く、次いで60代が15.4%となっています。

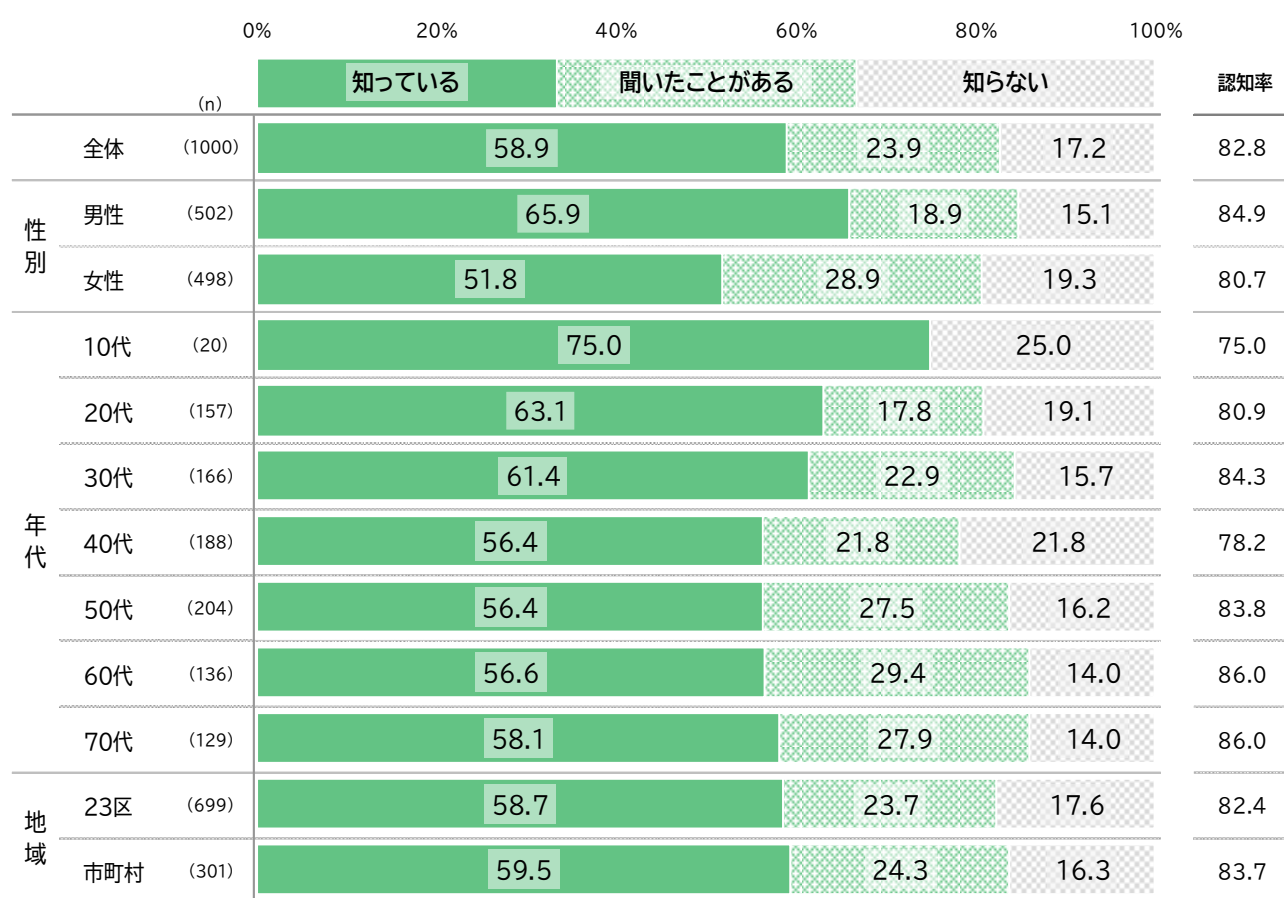
横%		義 務 条 例 等 で 着 用 が い る こ と	助 事 か つ た 事 例 （ ヘ ル メ ッ ト の お か げ で	衝 ヘ ル メ ッ ト の 軽 減 等 の 性 能	ハ カ ッ メ ッ ト の イ ン タ ー フ エ ィ ー の 紹 介	ヘ ル メ ッ ト の 保 管 方 法 の 紹 介	ま 都 内 は 自 加 増 車 事 故 が 多 く 、	そ の 他
	(n)							
全体	(1000)	37.8	15.0	12.9	10.6	9.6	8.9	5.2
性別	男性 (502)	36.1	15.5	14.1	9.4	8.8	9.6	6.6
	女性 (498)	39.6	14.5	11.6	11.8	10.4	8.2	3.8
年代	10代 (20)	30.0	15.0	25.0	5.0	15.0	5.0	5.0
	20代 (157)	33.8	22.9	14.6	10.8	7.0	5.7	5.1
	30代 (166)	38.0	15.1	15.7	7.8	10.2	9.6	3.6
	40代 (188)	40.4	11.7	13.3	12.2	5.9	10.6	5.9
	50代 (204)	43.1	11.8	9.8	12.3	11.3	8.8	2.9
	60代 (136)	32.4	15.4	11.0	7.4	14.0	9.6	10.3
	70代 (129)	37.2	14.7	11.6	13.2	9.3	9.3	4.7
地域	23区 (699)	38.5	15.5	12.9	10.9	8.7	8.6	5.0
	市町村 (301)	36.2	14.0	13.0	10.0	11.6	9.6	5.6

## 6. 自転車ルール全般について

Q19. 自転車による道路交通法違反が犯罪となる(有罪になれば前科が付く)ことを知っていますか。  
(単一回答)

自転車による道路交通法違反が犯罪となる可能性がある(有罪になれば前科が付く)ことを知っているかについて、「知っている」とした回答は58.9%となっています。一方で「知らない」は17.2%となっています。

性別にみると「知っている」は男性が65.9%、女性が51.8%となり、男性のほうが14.1ポイント高く、年代別にみると10代が75.0%と最も高く、次いで20代が63.1%となっており、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。一方で「知らない」は10代が25.0%と最も高く、次いで40代の21.8%となっています。

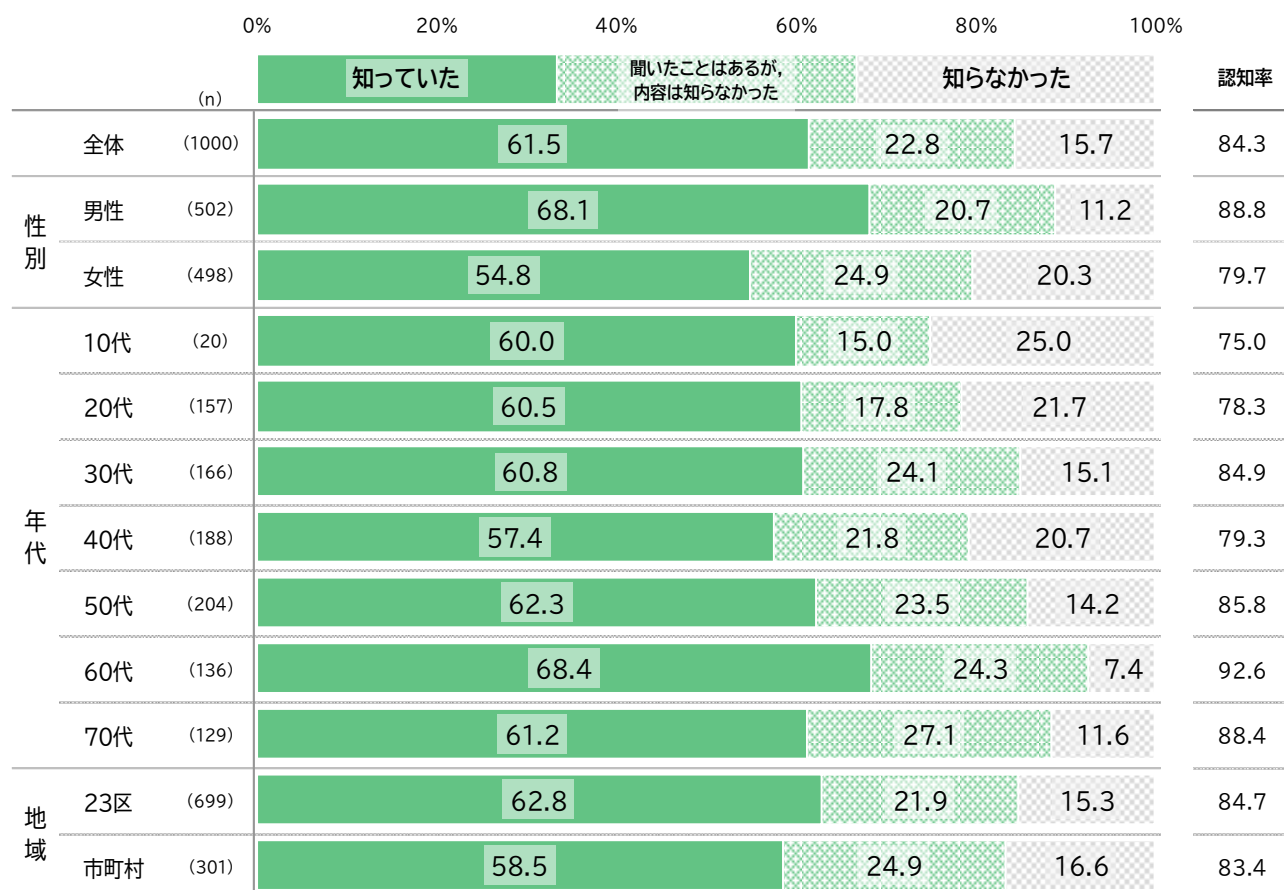


※ 認知率=「知っている」+「聞いたことがある」

Q20. 令和8年4月から自転車の交通違反に対しても青切符(交通反則通告)制度が導入されることになりました。このことについて、どの程度知っていますか。(単一回答)

自転車の交通違反に対しても交通反則通告制度が導入されることをどの程度知っているかについて、「知っていた」とした回答は61.5%となっています。一方で「知らなかった」は15.7%となっています。

性別にみると「知っていた」は男性が68.1%、女性が54.8%となり、男性のほうが13.3ポイント高く、年代別にみると60代が68.4%と最も高く、次いで50代が62.3%となっています。一方で「知らなかった」は10代が25.0%と最も高く、次いで20代の21.7%となっています。

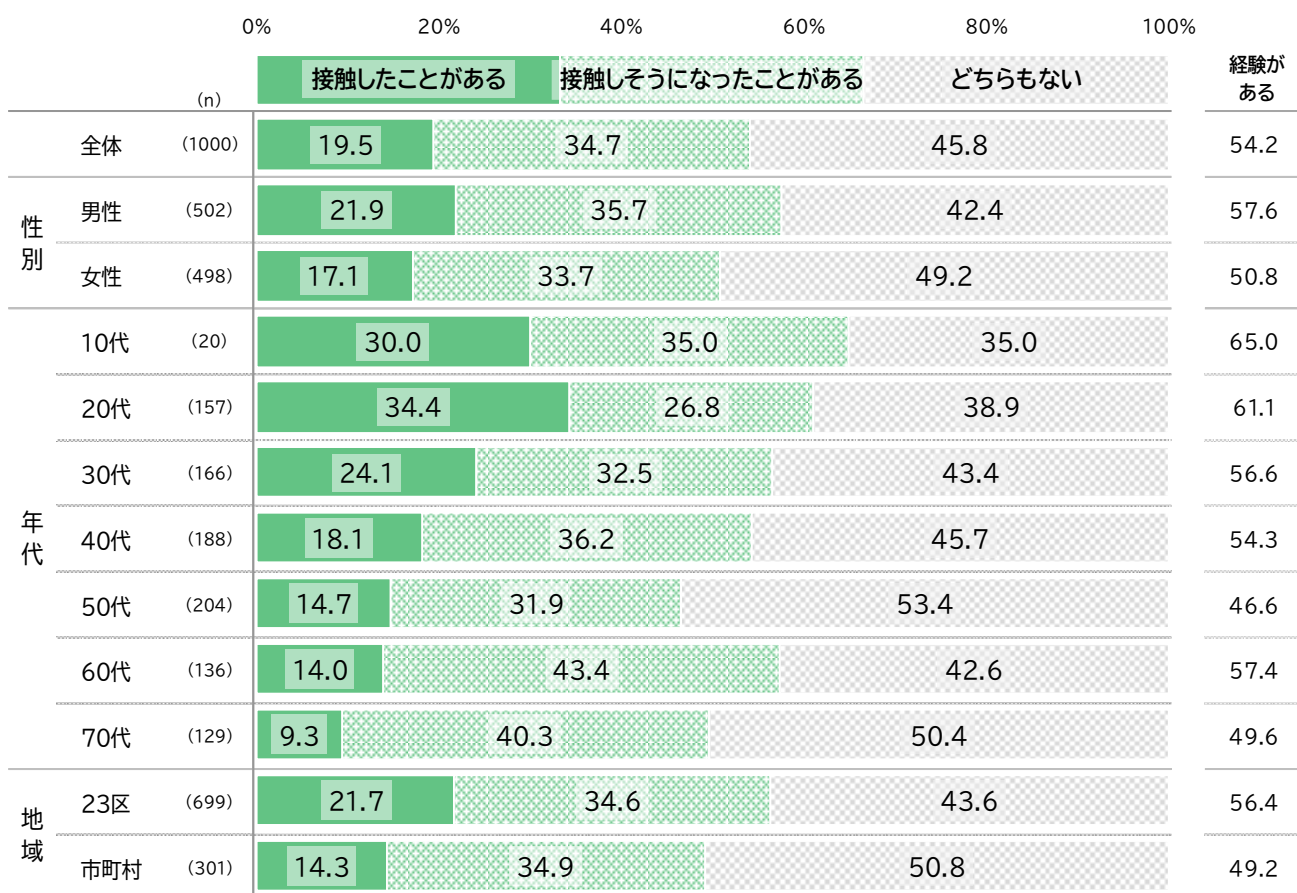


※ 認知率＝「知っていた」＋「聞いたことはあるが、内容は知らなかった」

Q21.この1年間であなたが”歩道”を歩いている時、自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった経験がありますか。(単一回答)

歩道を歩いている時、自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった経験について、「接触したことがある」が19.5%、「接触しそうになったことがある」が34.7%となり、合わせると『経験がある』とした回答が54.2%となっています。

性別にみると『経験がある』は男性が57.6%、女性が50.8%となり、男性のほうが6.8ポイント高くなっており、年代別にみると10代が65.0%と最も高く、次いで20代の61.1%となっています。



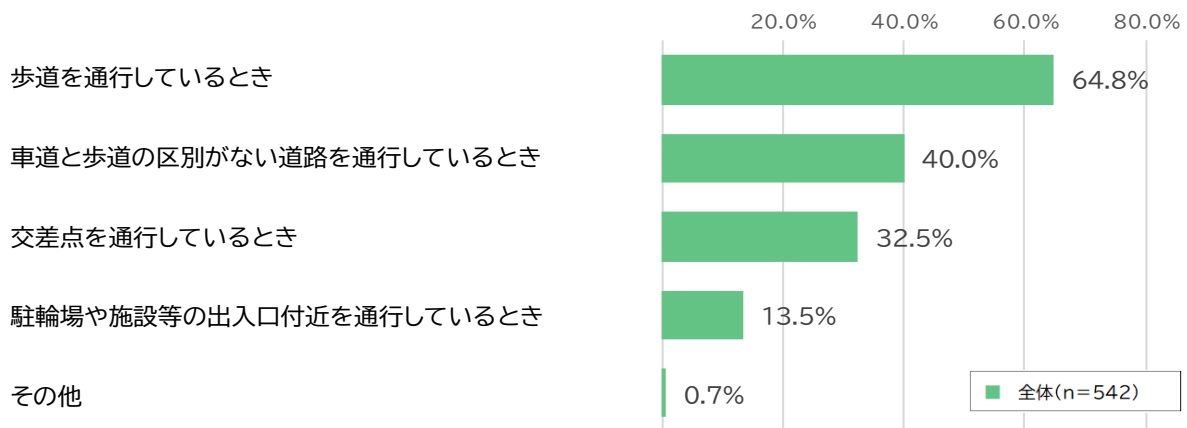
※ 経験がある＝「接触したことがある」＋「接触しそうになったことがある」

Q22. 自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった時、どのような場面だったか教えてください。(複数回答)

<Q21で、「接触したことがある及び接触しそうになったことがある」とした回答者が対象=542人>

(1)全体

自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった時、どのような場面だったかについて、「歩道を通行しているとき」が64.8%と最も高く、次いで「車道と歩道の区別がない道路を通行しているとき」が40.0%となっています。



●その他の内容

- ・脇道(1件)など

Q22. 自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった時、どのような場面だったか教えてください。(複数回答)

<Q21で、「接触したことがある及び接触しそうになったことがある」とした回答者が対象=542人>

(2)属性別

自転車に接触や衝突された、あるいは接触や衝突されそうになった時、どのような場面だったかについて、性別にみると「歩道を通行しているとき」は男性が63.7%、女性が66.0%となり、男女間で大きな差は見られません。

年代別にみると「歩道を通行しているとき」は70代が70.3%と最も高く、次いで40代が68.6%となっています。「車道と歩道の区別がない道路を通行しているとき」は70代が46.9%と最も高く、次いで50代が45.3%となっています。「交差点を通行しているとき」では年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。

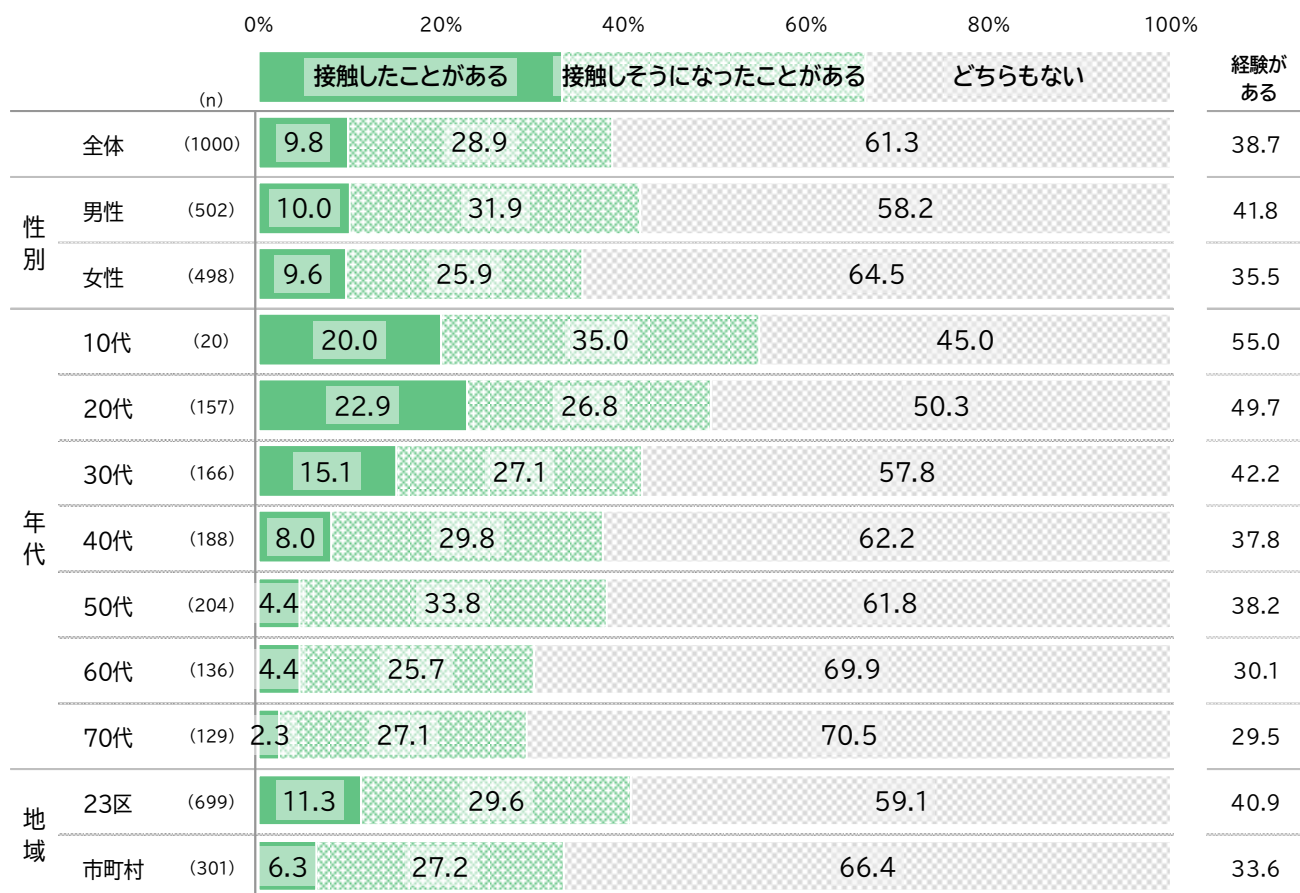
横%			歩道を通行しているとき	車道と歩道の区別がない道路を通行しているとき	交差点を通行しているとき	駐輪場や施設等の出入口付近を通行しているとき	その他
(n)							
全体	(542)		64.8	40.0	32.5	13.5	0.7
性別	男性	(289)	63.7	40.5	32.2	12.8	1.0
	女性	(253)	66.0	39.5	32.8	14.2	0.4
年代	10代	(13)	53.8	23.1	53.8	7.7	-
	20代	(96)	65.6	37.5	37.5	9.4	-
	30代	(94)	62.8	37.2	38.3	14.9	-
	40代	(102)	68.6	40.2	39.2	17.6	1.0
	50代	(95)	57.9	45.3	32.6	17.9	-
	60代	(78)	66.7	37.2	24.4	7.7	2.6
	70代	(64)	70.3	46.9	10.9	12.5	1.6
地域	23区	(394)	64.5	41.1	34.0	12.9	1.0
	市町村	(148)	65.5	37.2	28.4	14.9	-

※ 10代はサンプル数=13のため、コメントは記載していない

Q23. この1年間であなたが”自転車”に乗っている時、歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった経験がありますか。(単一回答)

自転車に乗っている時、歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった経験について、「接触したことがある」が9.8%、「接触しそうになったことがある」が28.9%となり、合わせると『経験がある』とした回答が38.7%となっています。

性別にみると『経験がある』は男性が41.8%、女性が35.5%となり、男性のほうが6.3ポイント高くなり、年代別にみると10代が55.0%と最も高く、次いで20代の49.7%となっており、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。



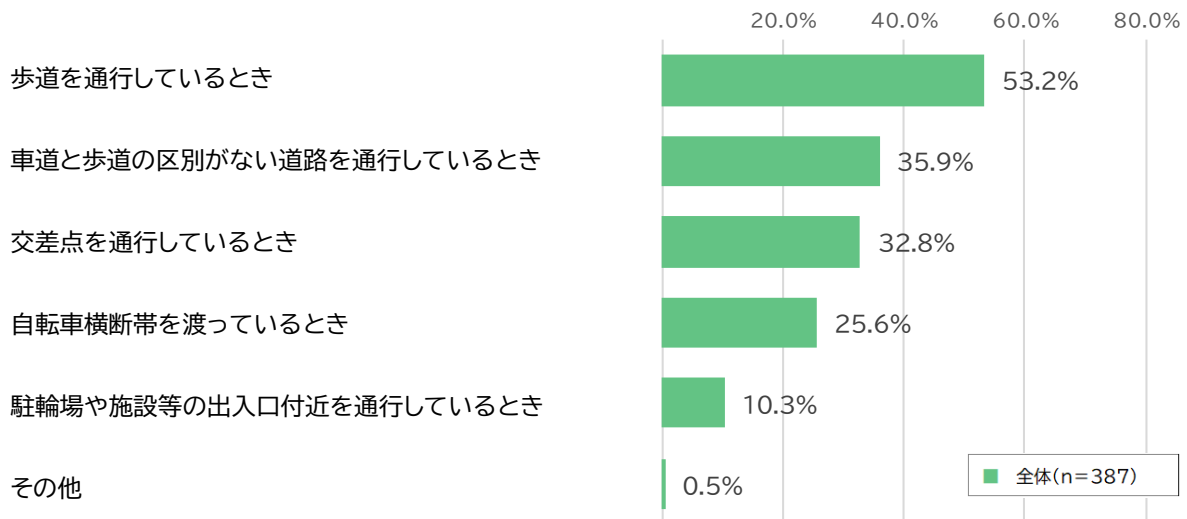
※ 経験がある＝「接触したことがある」＋「接触しそうになったことがある」

Q24. 歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった時、どのような場面だったか教えてください。  
 (複数回答)

<Q23で、「接触したことがある及び接触しそうになったことがある」とした回答者が対象=387人>

(1)全体

歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった時、どのような場面だったかについて、「歩道を通行しているとき」が53.2%と最も高く、次いで「車道と歩道の区別がない道路を通行しているとき」が35.9%となっています。



●その他の内容

- ・曲がり角(1件)など

Q24. 歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった時、どのような場面だったか教えてください。  
(複数回答)

<Q23で、「接触したことがある及び接触しそうになったことがある」とした回答者が対象=387人>

(2)属性別

歩行者に接触や衝突した、あるいは接触や衝突しそうになった時、どのような場面だったかについて、性別にみると「歩道を通行しているとき」は男性が49.5%、女性が57.6%となり、女性のほうが8.1ポイント高くなっています。

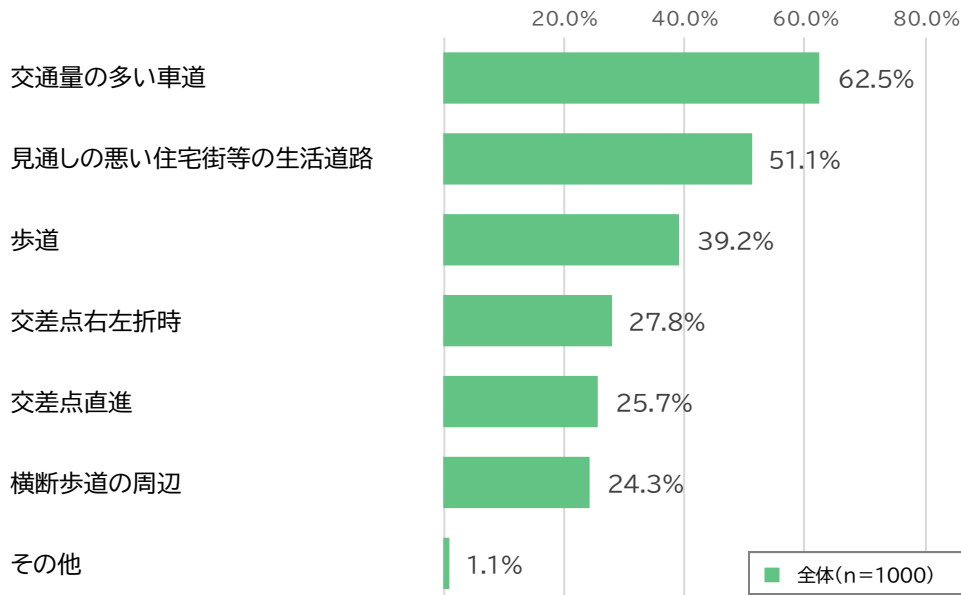
年代別にみると「歩道を通行しているとき」は70代が65.8%と最も高く、次いで50代が61.5%となっています。「車道と歩道の区別がない道路を通行しているとき」は50代が46.2%と最も高く、次いで60代が41.5%となっています。40代以下では「自転車横断帯を渡っているとき」の回答が高くなり、3割を超える結果となっています。

横%			歩道を通行しているとき	車道と歩道の区別がない道路を通行しているとき	交差点を通行しているとき	自転車横断帯を渡っているとき	駐輪場や施設等の出入口付近を通行しているとき	その他
	(n)							
全体	(387)		53.2	35.9	32.8	25.6	10.3	0.5
性別	男性	(210)	49.5	38.1	34.8	27.1	9.5	-
	女性	(177)	57.6	33.3	30.5	23.7	11.3	1.1
年代	10代	(11)	45.5	36.4	27.3	36.4	9.1	-
	20代	(78)	47.4	32.1	34.6	34.6	10.3	-
	30代	(70)	45.7	28.6	38.6	30.0	7.1	-
	40代	(71)	52.1	32.4	43.7	35.2	5.6	1.4
	50代	(78)	61.5	46.2	28.2	19.2	19.2	-
	60代	(41)	53.7	41.5	31.7	9.8	9.8	-
	70代	(38)	65.8	36.8	10.5	7.9	7.9	2.6
地域	23区	(286)	52.8	34.6	35.3	26.9	10.8	-
	市町村	(101)	54.5	39.6	25.7	21.8	8.9	2.0

Q25. 自転車を運転中に、事故の危険性を感じる場所をお聞かせください。(複数回答)

(1)全体

自転車を運転中に、事故の危険性を感じる場所について、「交通量の多い車道」が62.5%と最も高く、次いで「見通しの悪い住宅街等の生活道路」が51.1%、「歩道」が39.2%となっています。



●その他の内容

- ・駅付近(1件)、バス停付近(1件)、路上駐車している車がある車道(1件)など

## Q25. 自転車を運転中に、事故の危険性を感じる場所をお聞かせください。(複数回答)

## (2)属性別

自転車を運転中に、事故の危険性を感じる場所について、性別にみると「交通量の多い車道」は男性が60.6%、女性が64.5%となり、男女間で大きな差は見られません。

年代別にみると「交通量の多い車道」は50代が69.1%と最も高く、次いで70代が69.0%となっています。「見通しの悪い住宅街等の生活道路」は70代が59.7%と最も高く、次いで10代が55.0%となっています。

横%			交通量の多い車道	見通しの悪い住宅街等の生活道路	歩道	交差点右左折時	交差点直進	横断歩道の周辺	その他
	(n)								
全体	(1000)		62.5	51.1	39.2	27.8	25.7	24.3	1.1
性別	男性	(502)	60.6	49.4	38.4	27.7	26.5	25.5	0.8
	女性	(498)	64.5	52.8	40.0	27.9	24.9	23.1	1.4
年代	10代	(20)	55.0	55.0	25.0	35.0	20.0	10.0	-
	20代	(157)	48.4	45.2	44.6	19.1	22.9	17.2	-
	30代	(166)	57.8	49.4	38.6	27.7	25.9	20.5	0.6
	40代	(188)	63.3	50.5	43.1	26.1	28.2	23.4	1.1
	50代	(204)	69.1	53.4	34.3	30.9	24.0	29.4	1.5
	60代	(136)	68.4	48.5	36.8	30.1	30.9	25.7	2.2
	70代	(129)	69.0	59.7	40.3	32.6	23.3	31.8	1.6
地域	23区	(699)	61.5	49.9	40.2	27.2	26.8	22.9	1.0
	市町村	(301)	64.8	53.8	36.9	29.2	23.3	27.6	1.3

Q26. 自転車に関する交通ルールについてお聞きします。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(1)全体

自転車に関する交通ルールについて、18項目中8項目において『認知率』が9割以上となっています。その中で『認知率』が最も高いのは「夜間はライトを点灯する」の93.9%、次いで「自転車は、原則として車道の左側を通行する」の93.4%となっています。一方で最も低いのは「右折、左折、徐行・停車、後退する際は、手信号で知らせる」の69.2%、次いで「横断歩道では歩行者の妨げにならない場合を除き押しつけて渡る」の74.9%となっています。

	(n)	0% 20% 40% 60% 80% 100%			認知率
		知っているし、守っている	知っているが、守らない場合がある	知らない	
夜間はライトを点灯する	(1000)	84.0	9.9	6.1	93.9
自転車は、原則として車道の左側を通行する	(1000)	67.6	25.8	6.6	93.4
携帯電話・スマホ等を操作しながら運転してはいけない	(1000)	82.0	11.2	6.8	93.2
二人乗りをしてはいけない(幼児同乗以外)	(1000)	81.7	11.4	6.9	93.1
自転車も飲酒運転は禁止されている	(1000)	81.5	11.1	7.4	92.6
イヤホン等を装着しながら運転してはいけない	(1000)	77.8	14.4	7.8	92.2
傘差し運転をしてはいけない	(1000)	76.9	14.3	8.8	91.2
ブレーキ不良(備えていない)の自転車を運転してはいけない	(1000)	77.3	13.1	9.6	90.4
歩道通行の際は、歩行者優先で車道寄りを徐行する	(1000)	69.2	20.6	10.2	89.8
自転車専用通行帯がある場合は車道左側に設置された通行帯を通行をする(逆走禁止)	(1000)	70.7	18.8	10.5	89.5
自転車乗車用ヘルメットを着用するよう努める義務がある	(1000)	47.9	41.4	10.7	89.3
自転車同士で並んで通行してはいけない	(1000)	73.7	15.6	10.7	89.3
車道を走行中は車道の信号、歩道を走行中は歩道の信号に従うのが基本	(1000)	72.2	16.8	11.0	89.0
一時停止標識のある交差点や踏切では、直前で一時停止して安全確認する	(1000)	61.3	25.6	13.1	86.9
道路を横断するとき、自転車横断帯がある場所では、その横断帯を通行する	(1000)	59.6	23.5	16.9	83.1
信号機のある交差点では、二段階右折をする	(1000)	55.8	23.3	20.9	79.1
横断歩道では歩行者の妨げにならない場合を除き押しつけて渡る	(1000)	47.1	27.8	25.1	74.9
右折、左折、徐行・停車、後退する際は、手信号で知らせる	(1000)	37.4	31.8	30.8	69.2

※ 認知率＝「知っているし、守っている」＋「知っているが、守らない場合がある」

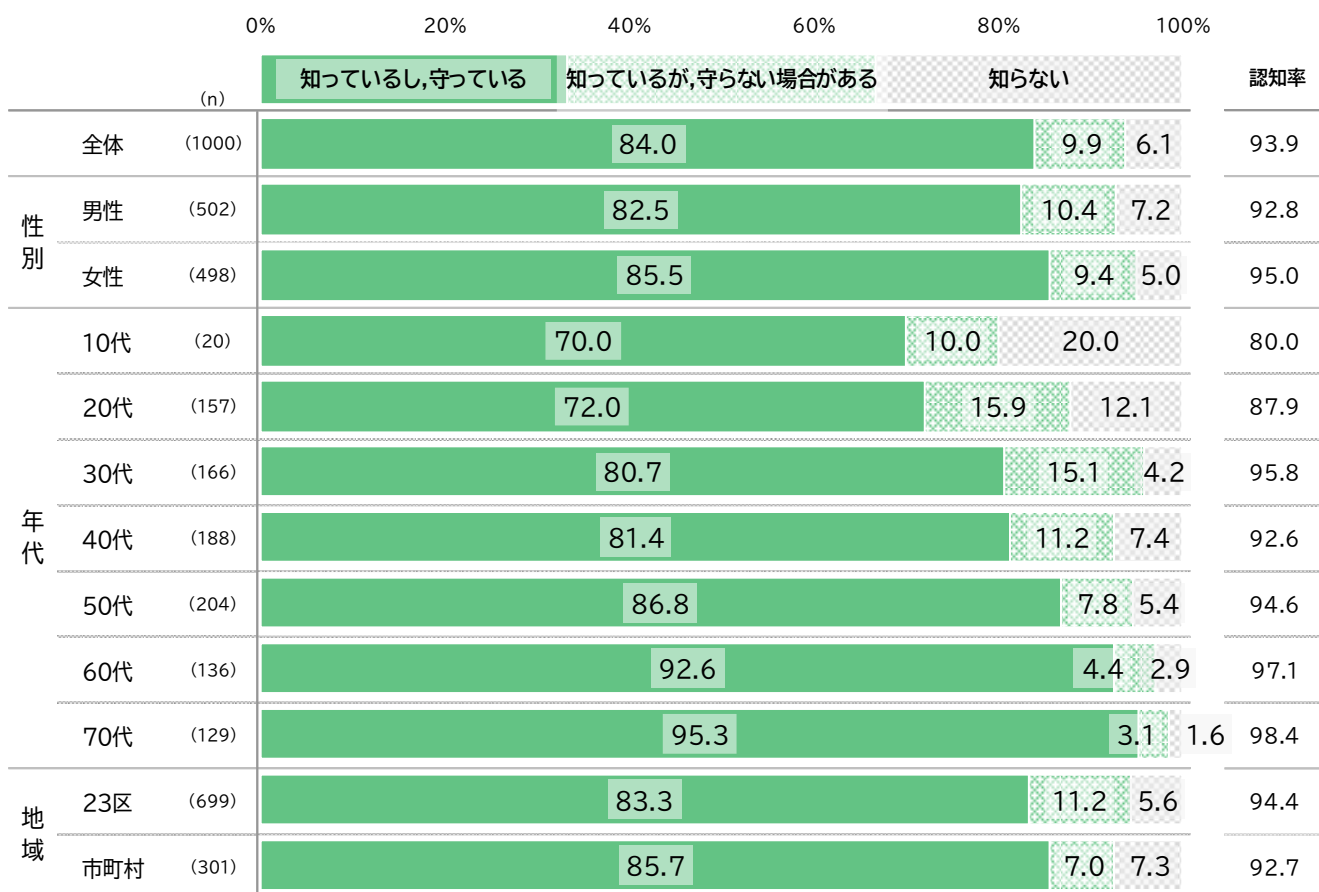
Q26. 自転車に関する交通ルールについてお聞きします。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(2) 自転車安全利用五則(①～⑤)でみた結果

① 夜間はライトを点灯する

『夜間はライトを点灯する』とした交通ルールについて、「知っているし、守っている」が84.0%、「知っているが、守らない場合がある」が9.9%となり、『認知率』は93.9%となっています。

性別にみると『認知率』は男性が92.8%、女性が95.0%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると70代が98.4%と最も高く、次いで60代が97.1%となっています。また、「知っているし、守っている」は、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。



※1 認知率＝「知っているし、守っている」＋「知っているが、守らない場合がある」

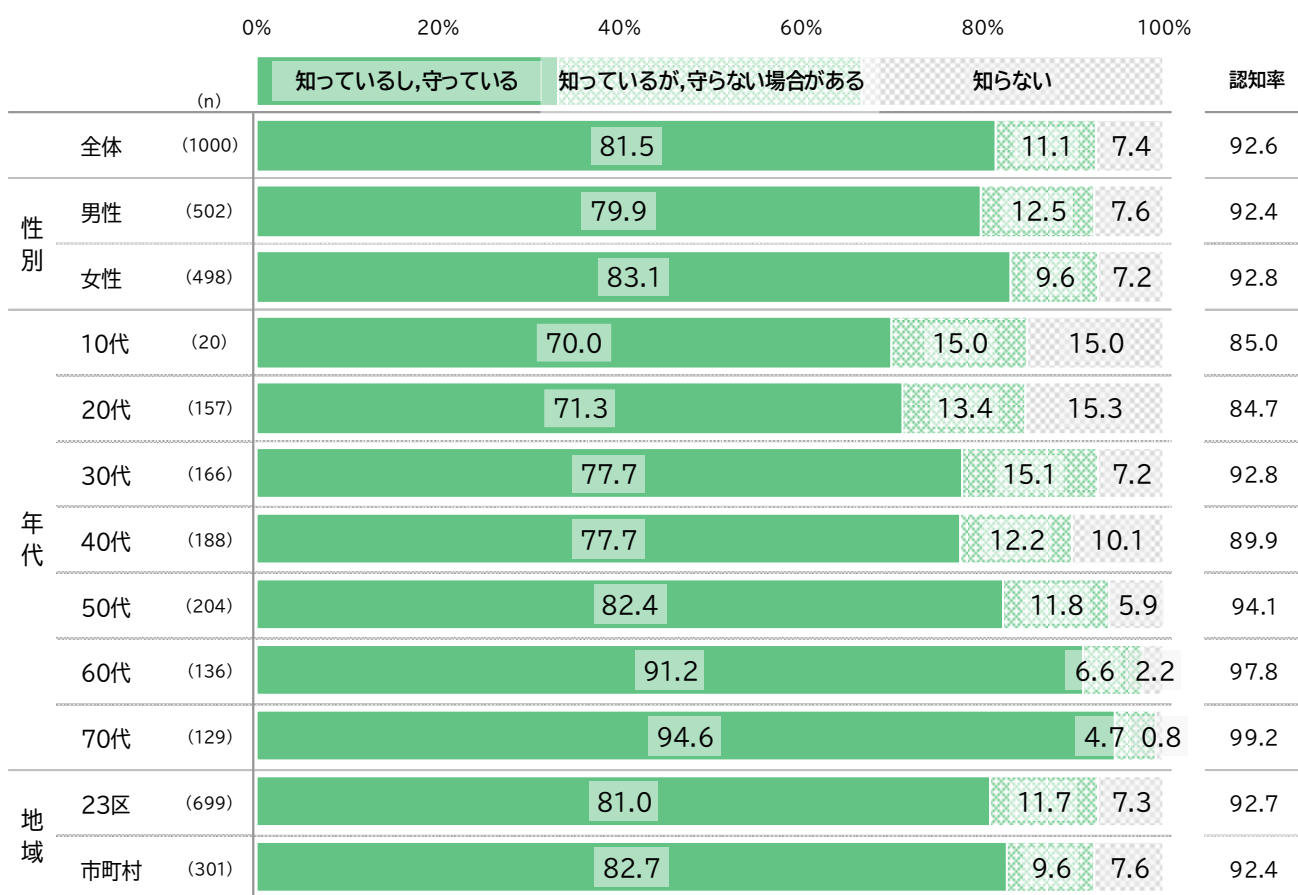
Q26. 自転車に関する交通ルールについてお聞きします。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(2) 自転車安全利用五則(①～⑤)でみた結果

② 自転車も飲酒運転は禁止されている

『自転車も飲酒運転は禁止されている』とした交通ルールについて、「知っているし、守っている」が81.5%、「知っているが、守らない場合がある」が11.1%となり、『認知率』は92.6%となっています。

性別にみると『認知率』は男性が92.4%、女性が92.8%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると70代が99.2%で最も高くなっており、次いで60代が97.8%となっています。また、「知っているし、守っている」は、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。



※1 認知率=「知っているし、守っている」+「知っているが、守らない場合がある」

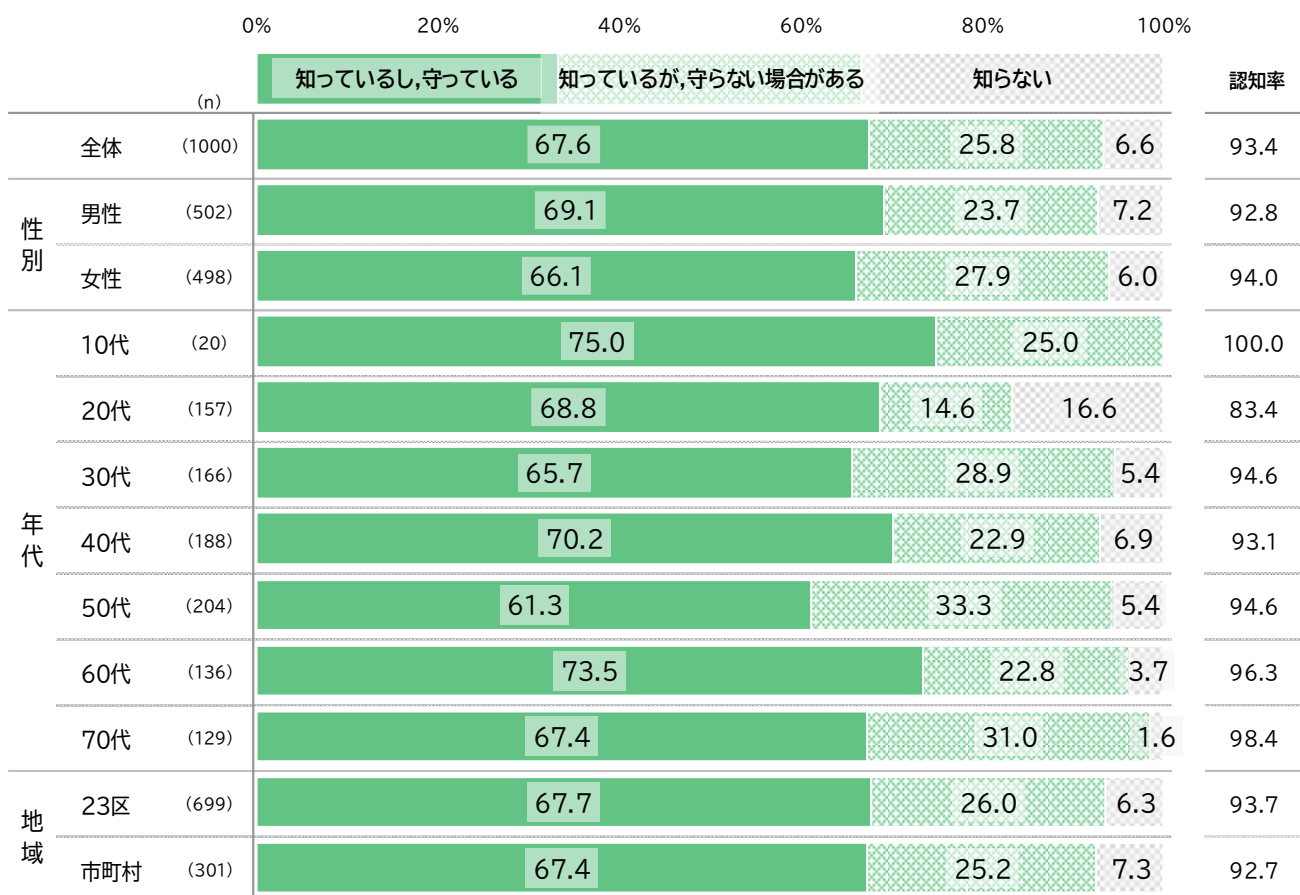
Q26. 自転車に関する交通ルールについてお聞きします。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(2) 自転車安全利用五則(①～⑤)でみた結果

③ 自転車は、原則として車道の左側を通行する

『自転車は、原則として車道の左側を通行する』とした交通ルールについて、「知っているし、守っている」が67.6%、「知っているが、守らない場合がある」が25.8%となり、『認知率』は93.4%となっています。

性別にみると『認知率』は男性が92.8%、女性が94.0%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると10代が100.0%と最も高く、次いで70代が98.4%となっています。



※1 認知率=「知っているし、守っている」+「知っているが、守らない場合がある」

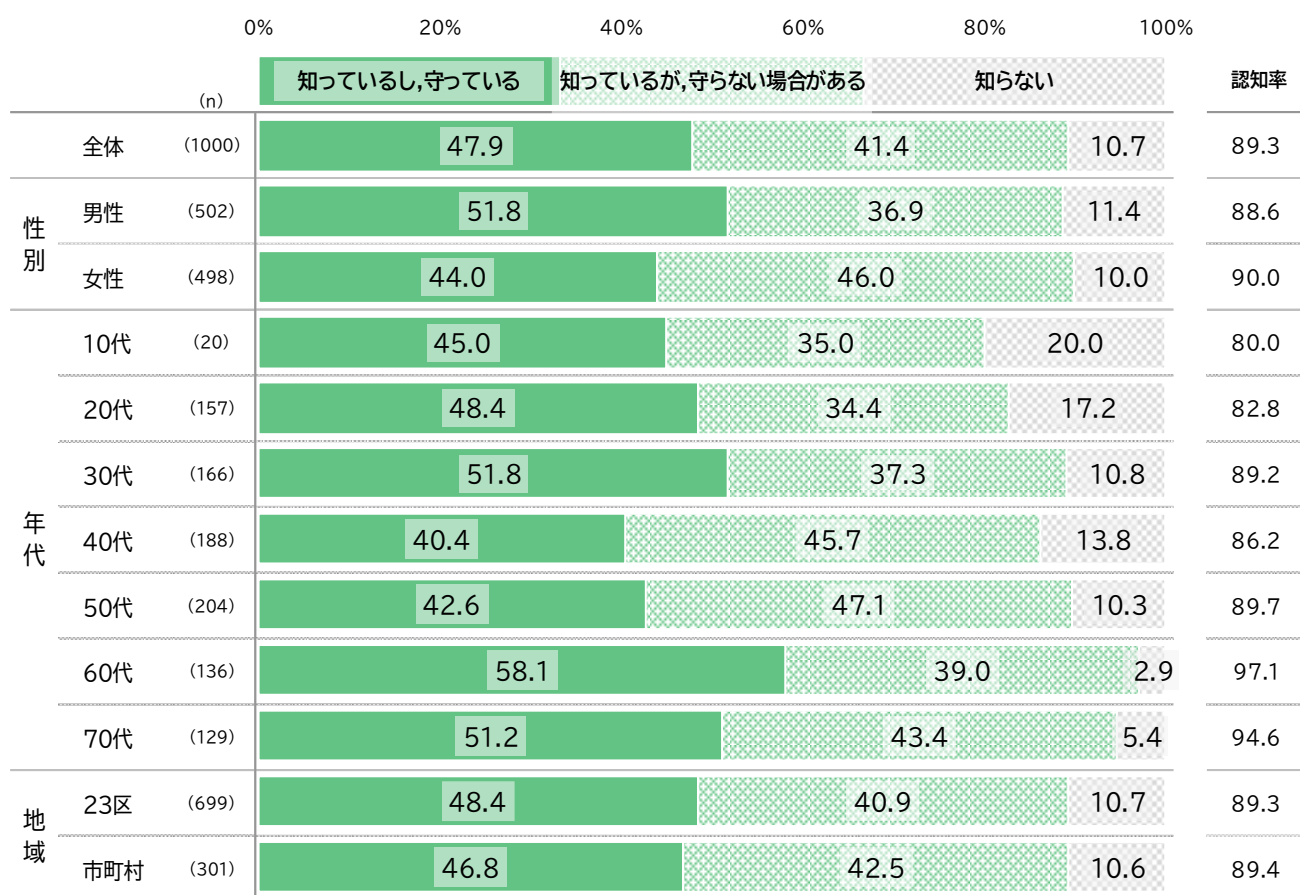
Q26. 自転車に関する交通ルールについてお聞きします。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(2) 自転車安全利用五則(①～⑤)でみた結果

④ 自転車乗車用ヘルメットを着用するよう努める義務がある

『自転車乗車用ヘルメットを着用するよう努める義務がある』とした交通ルールについて、「知っているし、守っている」が47.9%、「知っているが、守らない場合がある」が41.4%となり、『認知率』は89.3%となっています。「知っているし、守っている」と回答した人の割合は半数を下回り、自転車安全利用五則の中で最も低い結果となっています。

性別にみると『認知率』は男性が88.6%、女性が90.0%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると60代が97.1%と最も高く、次いで70代が94.6%となっています。



※ 認知率＝「知っているし、守っている」＋「知っているが、守らない場合がある」

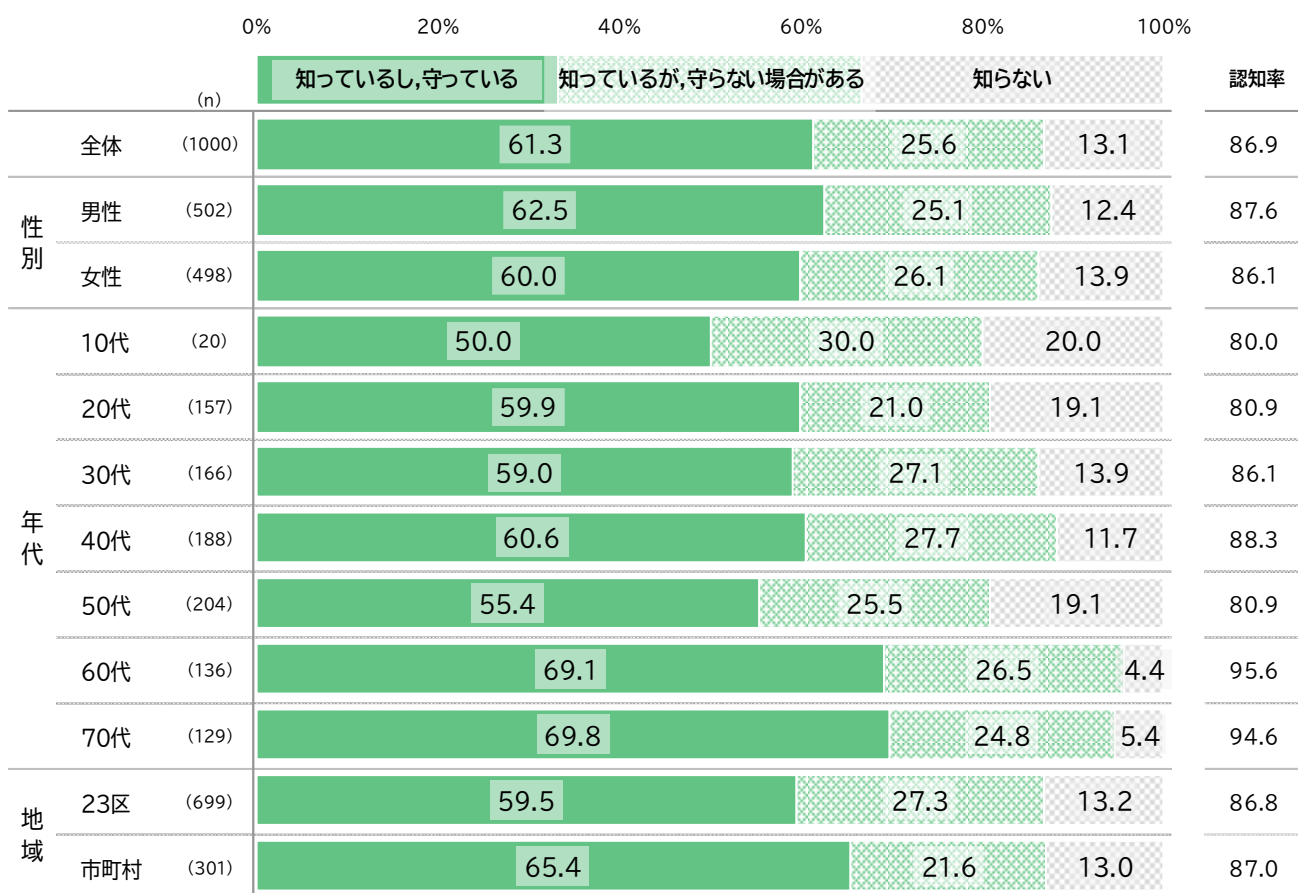
Q26. 自転車に関する交通ルールについてお聞きします。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(2) 自転車安全利用五則(①～⑤)でみた結果

⑤一時停止標識のある交差点や踏切では、直前で一時停止して安全確認する

『一時停止標識のある交差点や踏切では、直前で一時停止して安全確認する』とした交通ルールについて、「知っているし、守っている」が61.3%、「知っているが、守らない場合がある」が25.6%となり、『認知率』は86.9%となっています。

性別にみると『認知率』は男性が87.6%、女性が86.1%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると60代が95.6%と最も高く、次いで70代が94.6%となっています。

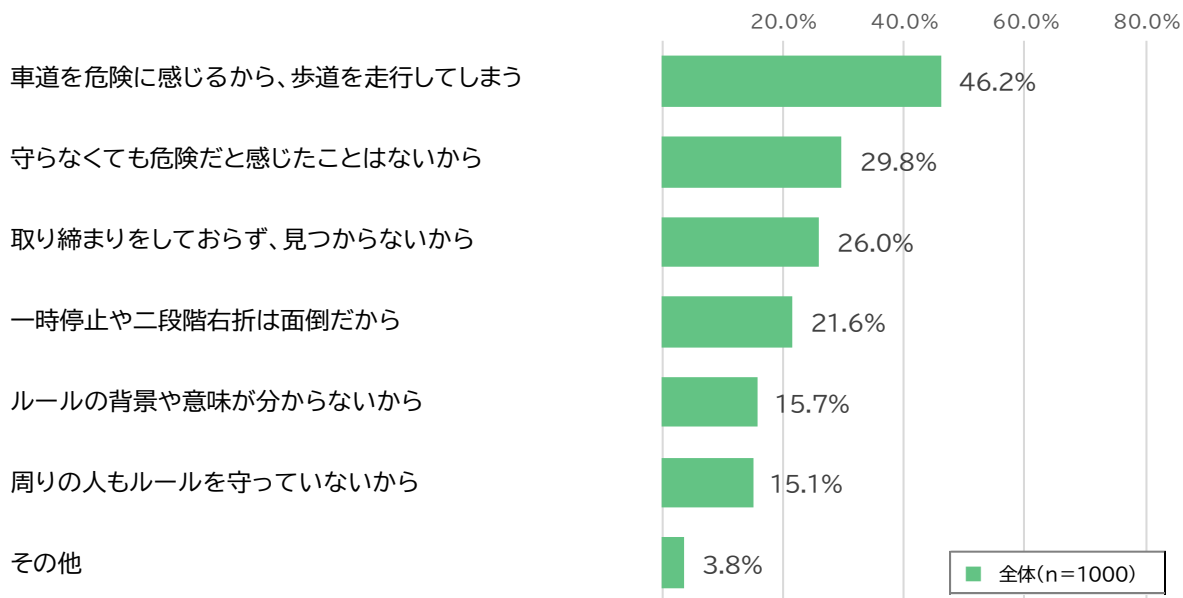


※ 認知率＝「知っているし、守っている」＋「知っているが、守らない場合がある」

Q27. 自転車の交通ルールをわかっているにもかかわらず、つい違反をしてしまうことがあるとすれば、それはなぜだと思いますか。(複数回答)

(1)全体

自転車の交通ルールをわかっているにもかかわらず、つい違反をしてしまう理由について、「車道を危険に感じるから、歩道を走行してしまう」が46.2%と最も高く、次いで「守らなくても危険だと感じたことはないから」が29.8%、「取り締まりをしておらず、見つからないから」が26.0%となっています。



●その他の内容

- ・周囲に誰もいないから(6件)、違反はしない(5件)、急いでいるとき(3件)など

Q27. 自転車の交通ルールをわかっているにもかかわらず、ついつい違反をしてしまうことがあるとすれば、それはなぜだと思いますか。(複数回答)

(2)属性別

自転車の交通ルールをわかっているにもかかわらず、ついつい違反をしてしまう理由について、性別にみると「車道を危険に感じるから、歩道を走行してしまう」は男性が44.6%、女性が47.8%となり、男女間で大きな差は見られませんでした。

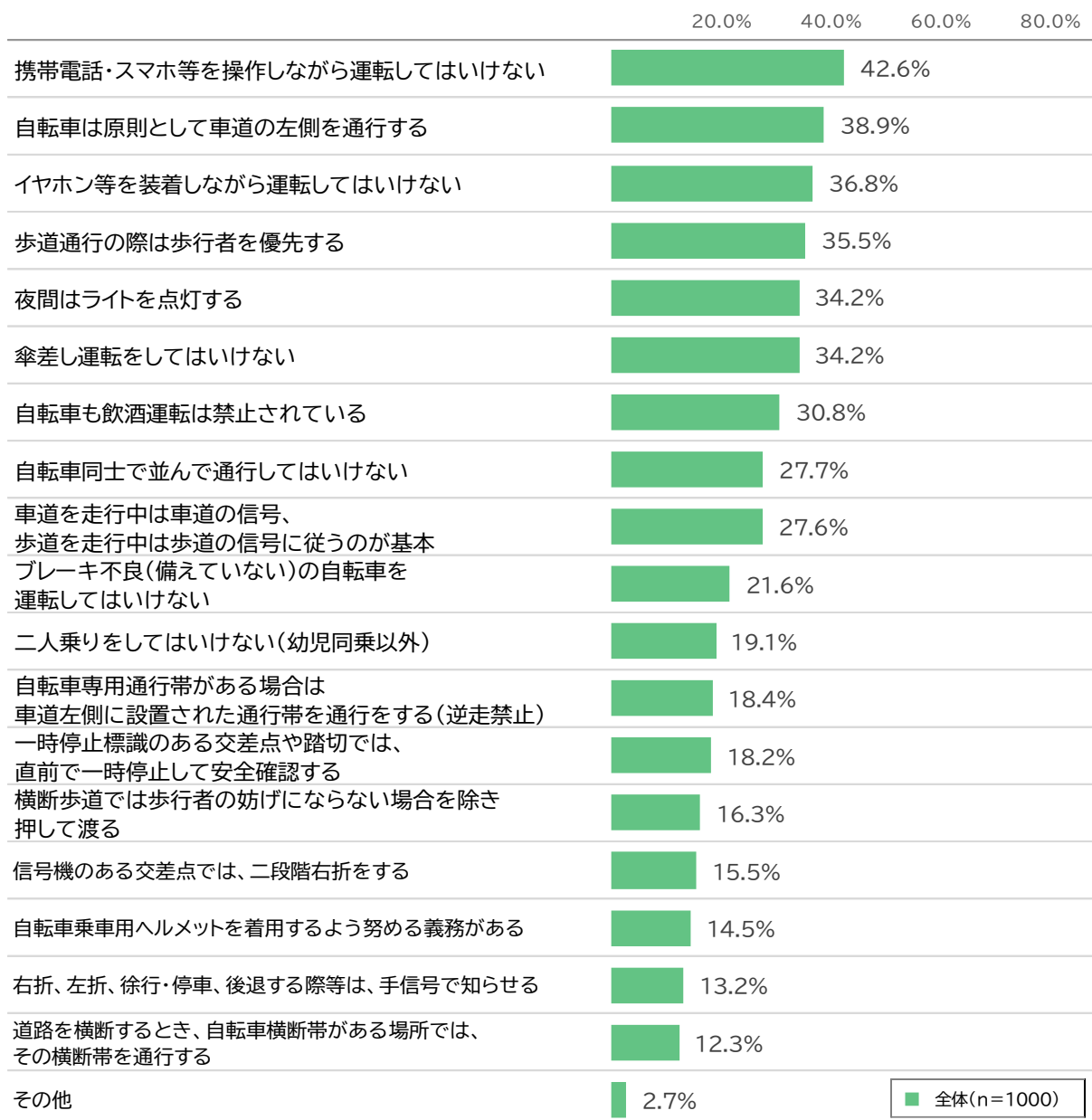
年代別にみると「車道を危険に感じるから、歩道を走行してしまう」は70代が65.1%と最も高く、次いで60代が52.9%となり、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。「守らなくても危険だと感じたことはないから」は60代が36.0%と最も高く、次いで20代が35.7%となっています。「取り締まりをしておらず、見つからないから」では10代で35.0%となり、他の年代よりも高いことが特徴です。

横%		行車して危険に感じるから、歩道を走	危険だと感じたことはないから	取り締まりをしておらず、見つからないから	一時停止や二段階右折は面倒だから	ルールの背景や意味が分からないから	周りの人も守っていないから	その他	
(n)									
全体	(1000)	46.2	29.8	26.0	21.6	15.7	15.1	3.8	
性別	男性	(502)	44.6	33.7	27.7	22.9	18.5	13.7	4.6
	女性	(498)	47.8	25.9	24.3	20.3	12.9	16.5	3.0
年代	10代	(20)	30.0	35.0	35.0	30.0	25.0	25.0	5.0
	20代	(157)	40.8	35.7	25.5	19.7	17.8	21.7	1.9
	30代	(166)	38.6	30.1	29.5	22.3	13.9	18.1	4.8
	40代	(188)	37.2	28.7	28.2	20.7	17.6	18.1	3.2
	50代	(204)	50.0	24.5	25.5	24.5	15.2	11.8	3.9
	60代	(136)	52.9	36.0	27.9	20.6	16.2	9.6	4.4
	70代	(129)	65.1	24.8	16.3	19.4	11.6	8.5	4.7
地域	23区	(699)	44.9	32.0	27.9	22.3	16.9	13.6	3.7
	市町村	(301)	49.2	24.6	21.6	19.9	13.0	18.6	4.0

Q28. 自転車の安全利用や事故の抑止のために、特に広報啓発してほしいことは何ですか。(複数回答)

(1)全体

自転車の安全利用や事故の抑止のために、特に広報啓発してほしいことについて、「携帯電話・スマホ等を操作しながら運転してはいけない」が42.6%と最も高く、次いで「自転車は原則として車道の左側を通行する」が38.9%、「イヤホン等を装着しながら運転してはいけない」が36.8%となっています。



●その他の内容

- ・特にない(7件)など

Q28. 自転車の安全利用や事故の抑止のために、特に広報啓発してほしいことは何ですか。(複数回答)

(2)属性別

自転車の安全利用や事故の抑止のために、特に広報啓発してほしいことについて、性別にみると「携帯電話・スマホ等を操作しながら運転してはいけない」は男性が39.4%、女性が45.8%となり、女性のほうが6.4ポイント高くなっています。

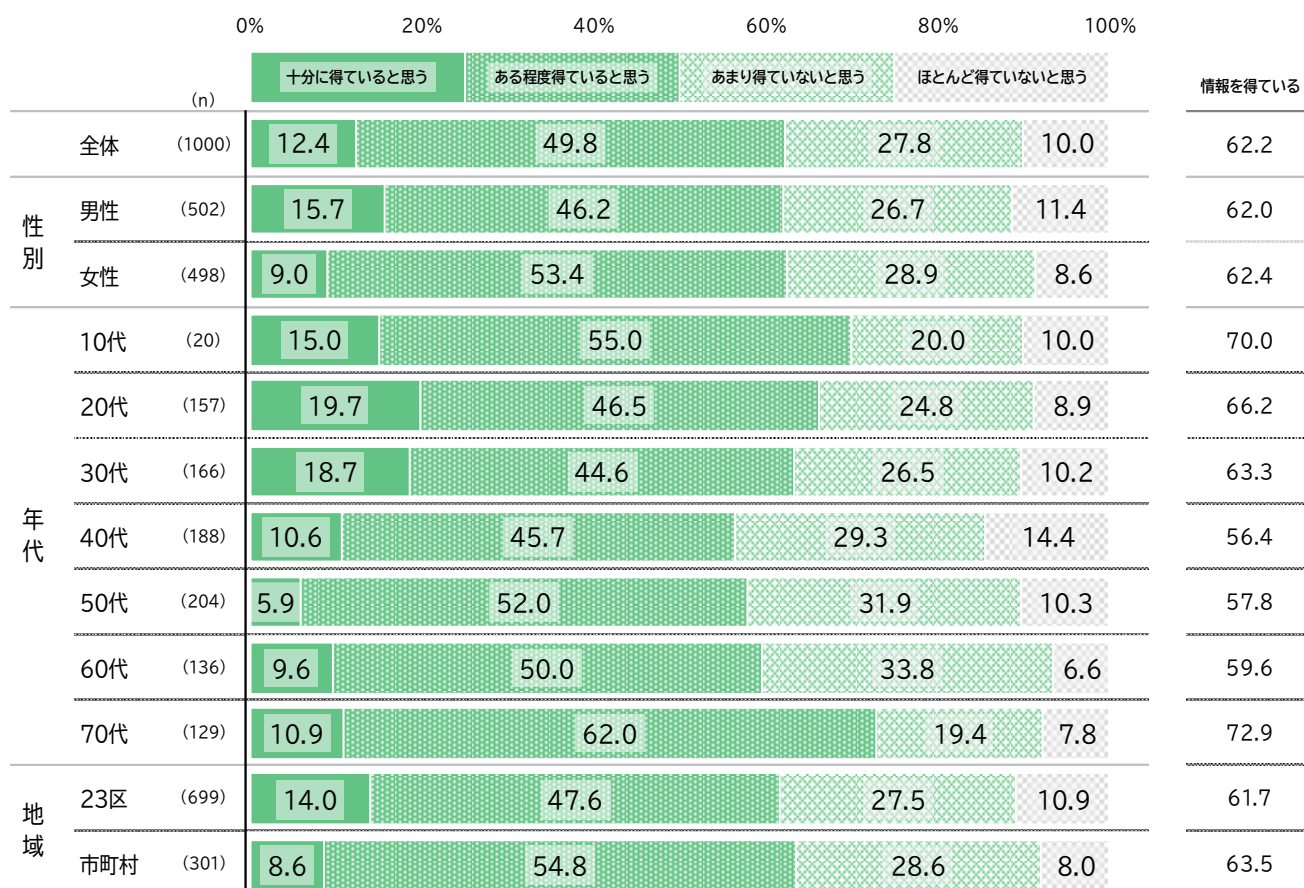
年代別にみると「携帯電話・スマホ等を操作しながら運転してはいけない」は70代が58.1%と最も高く、次いで60代が50.7%となっています。「自転車は原則として車道の左側を通行する」は60代が50.7%、70代が45.0%、「イヤホン等を装着しながら運転してはいけない」は70代が48.1%、50代が44.6%となり、いずれの項目も年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。

横%		携帯電話・スマホ等を操作しながら運転してはいけない	自転車は原則として車道の左側を通行する	イヤホン等を装着しながら運転してはいけない	歩道通行の際は歩行者を優先する	夜間はライトを点灯する	傘差し運転をしてはいけない	自転車も飲酒運転は禁止されている	自転車同士で並んで通行してはいけない	歩道を走行中は歩道の信号に従うのが基本	車道を走行中は車道の信号、歩道を走行中は歩道の信号に従うのが基本	ブレーキ不良(備えていない)の自転車を運転してはいけない	二人乗りをしてはいけない(幼児同乗以外)	車道左側に設置された通行帯を通行をする(逆走禁止)	自転車専用通行帯がある場合は直前で一時停止して安全確認する	一時停止標識のある交差点や踏切では、直前で一時停止して安全確認する	横断歩道では歩行者の妨げにならない場合を除き押し渡す	信号機のある交差点では、二段階右折をする	自転車乗車用ヘルメットを着用するよう努める義務がある	右折、左折、徐行・停車、後退する際は、手信号で知らせる	道路の横断帯を通行する	その横断帯を通行する	道路を横断するとき、自転車横断帯がある場所では、	その他
	(n)																							
全体	(1000)	42.6	38.9	36.8	35.5	34.2	34.2	30.8	27.7	27.6	21.6	19.1	18.4	18.2	16.3	15.5	14.5	13.2	12.3	2.7				
性別	男性 (502)	39.4	40.6	33.9	37.6	34.3	32.1	32.7	26.1	29.1	21.7	18.5	18.5	19.7	15.5	13.9	14.1	13.5	12.4	3.0				
	女性 (498)	45.8	37.1	39.8	33.3	34.1	36.3	28.9	29.3	26.1	21.5	19.7	18.3	16.7	17.1	17.1	14.9	12.9	12.2	2.4				
年代	10代 (20)	30.0	30.0	25.0	30.0	20.0	20.0	40.0	15.0	30.0	25.0	30.0	20.0	20.0	20.0	20.0	25.0	25.0	20.0	-				
	20代 (157)	29.3	25.5	21.7	28.0	24.8	24.2	23.6	17.2	29.3	19.1	11.5	13.4	12.1	9.6	8.3	15.3	8.9	7.0	1.9				
	30代 (166)	36.1	38.0	30.7	32.5	28.9	25.3	31.3	17.5	27.7	18.7	17.5	17.5	14.5	12.7	12.7	16.3	14.5	12.7	2.4				
	40代 (188)	37.8	37.2	35.6	30.3	33.5	29.8	33.0	25.5	25.0	22.9	15.4	16.0	20.2	12.2	13.3	13.3	9.0	11.7	2.7				
	50代 (204)	48.5	40.7	44.6	33.8	36.3	38.2	30.9	34.3	28.9	19.1	19.1	18.1	16.2	16.7	15.2	11.3	13.2	14.2	2.5				
	60代 (136)	50.7	50.7	42.6	47.1	40.4	42.6	27.9	33.8	21.3	19.9	22.1	18.4	21.3	22.1	23.5	12.5	11.8	14.0	4.4				
	70代 (129)	58.1	45.0	48.1	47.3	45.7	51.2	37.2	41.9	33.3	31.8	31.0	29.5	27.1	27.9	22.5	18.6	22.5	13.2	3.1				
地域	23区 (699)	41.5	39.1	34.9	34.5	33.2	31.0	33.0	26.3	27.5	19.3	18.6	17.3	16.7	13.9	14.4	12.9	11.9	11.7	2.7				
	市町村 (301)	45.2	38.5	41.2	37.9	36.5	41.5	25.6	30.9	27.9	26.9	20.3	20.9	21.6	21.9	17.9	18.3	16.3	13.6	2.7				

Q29. あなたは自転車の安全利用(自転車ルール全般)等の交通安全の情報について、日ごろ、どの程度情報を得ていると思いますか。(単一回答)

交通安全の情報を日ごろ、どの程度得ているかについて、「十分に得ていると思う」が12.4%、「ある程度得ていると思う」が49.8%となり、『情報を得ている』は62.2%となっています。一方「あまり得ていないと思う」が27.8%、「ほとんど得ていないと思う」が10.0%と、情報を得ている人の方が多い結果となりました。

性別にみると「十分に得ていると思う」は男性が15.7%、女性が9.0%となり、男性のほうが6.7ポイント高くなっています。年代別にみると20代が19.7%と最も高く、次いで30代が18.7%となっています。



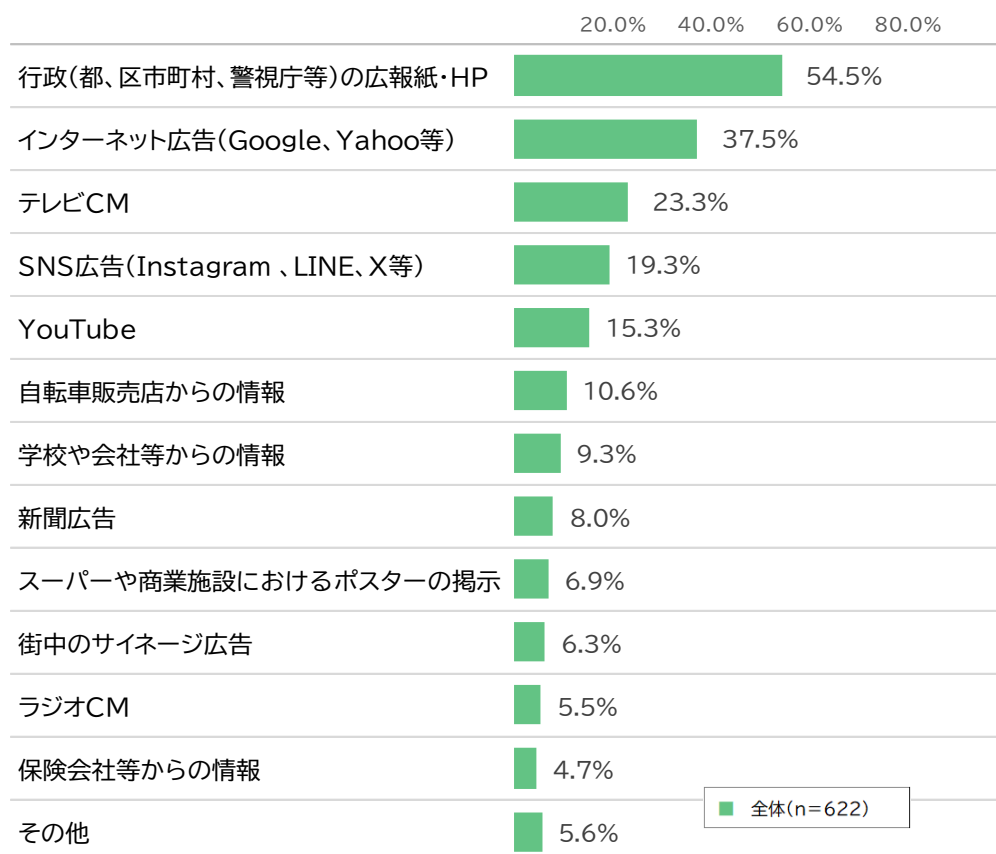
※ 情報を得ている = 「十分に得ていると思う」+「ある程度得ていると思う」

Q30. あなたはどの媒体から情報を得ていますか。(複数回答)

<Q29で、「十分に得ていると思う及びある程度得ていると思う」とした回答者が対象=622人>

情報を得ている媒体について、「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報誌・HP」が54.5%と最も高く、次いで「インターネット広告（Google、Yahoo等）」が37.5%、「テレビCM」が23.3%となっています。

(1)全体



●その他の内容

・テレビ番組・ニュース(19件)など

Q30. あなたはどの媒体から情報を得ていますか。(複数回答)

<Q29で、「十分に得ていると思う及びある程度得ていると思う」とした回答者が対象=622人>

(2)属性別

情報を得ている媒体について、性別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報誌・HP」は男性が49.5%、女性が59.5%となり、女性のほうが10.0ポイント高くなっています。

年代別にみると「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報誌・HP」は70代が69.1%と最も高く、次いで60代が58.0%となっています。「インターネット広告（Google、Yahoo等）」は10代が50.0%、次いで30代が44.8%となっています。「テレビCM」は70代が33.0%、次いで50代が29.7%となり、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。対して、「SNS広告（Instagram、LINE、X等）」では、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。

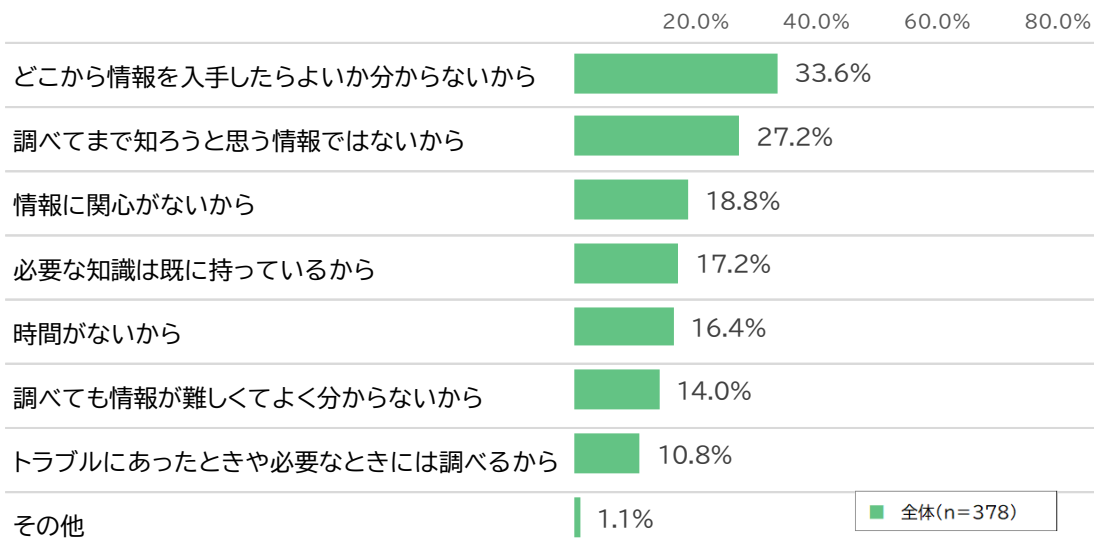
横%	(n)	行政紙・HP （都、区市町村、警視庁等）の	インターネット広告 （Google、Yahoo等）	テレビCM	SNS広告 （Instagram、LINE、X等）	YouTube	自転車販売店からの情報	学校や会社からの情報	新聞広告	スーパーや商業施設におけるポスターの掲示	街中のサイネージ広告	ラジオCM	保険会社等からの情報	その他
全体	(622)	54.5	37.5	23.3	19.3	15.3	10.6	9.3	8.0	6.9	6.3	5.5	4.7	5.6
性別	男性 (311)	49.5	44.1	23.5	22.5	17.7	10.6	8.4	10.0	4.2	6.1	5.1	6.1	4.8
	女性 (311)	59.5	30.9	23.2	16.1	12.9	10.6	10.3	6.1	9.6	6.4	5.8	3.2	6.4
年代	10代 (14)	57.1	50.0	21.4	35.7	28.6	14.3	28.6	14.3	-	14.3	-	14.3	-
	20代 (104)	45.2	39.4	13.5	38.5	24.0	12.5	12.5	5.8	8.7	8.7	4.8	9.6	1.0
	30代 (105)	50.5	44.8	17.1	30.5	20.0	16.2	12.4	7.6	3.8	9.5	11.4	3.8	2.9
	40代 (106)	50.9	40.6	18.9	17.9	19.8	12.3	13.2	1.9	7.5	5.7	3.8	4.7	4.7
	50代 (118)	55.1	28.8	29.7	6.8	8.5	7.6	9.3	3.4	5.9	2.5	4.2	1.7	10.2
	60代 (81)	58.0	42.0	29.6	12.3	12.3	8.6	3.7	11.1	4.9	6.2	3.7	3.7	4.9
	70代 (94)	69.1	28.7	33.0	6.4	4.3	5.3	-	20.2	11.7	4.3	5.3	3.2	10.6
地域	23区 (431)	52.2	38.7	23.7	21.3	16.5	11.6	8.6	7.7	7.4	6.3	5.1	4.9	4.6
	市町村 (191)	59.7	34.6	22.5	14.7	12.6	8.4	11.0	8.9	5.8	6.3	6.3	4.2	7.9

## Q31. 情報を得ていない理由は何ですか。(複数回答)

&lt;Q29で、「あまり得ていないと思う及びほとんど得ていないと思う」とした回答者が対象=378人&gt;

## (1)全体

情報を得ていない理由について、「どこから情報を入手したらよいか分からないから」が33.6%と最も高く、次いで「調べてまで知ろうと思う情報ではないから」が27.2%、「情報に関心がないから」が18.8%となっています。



## ●その他の内容

- ・発信自体があまりされていないため(2件)など

Q31. 情報を得ていない理由は何ですか。(複数回答)

<Q29で、「あまり得ていないと思う及びほとんど得ていないと思う」とした回答者が対象=378人>

(2)属性別

情報を得ていない理由について、性別にみると「どこから情報を入手したらよいか分からないから」は男性が30.9%、女性が36.4%となり、女性のほうが5.5ポイント高くなっています。

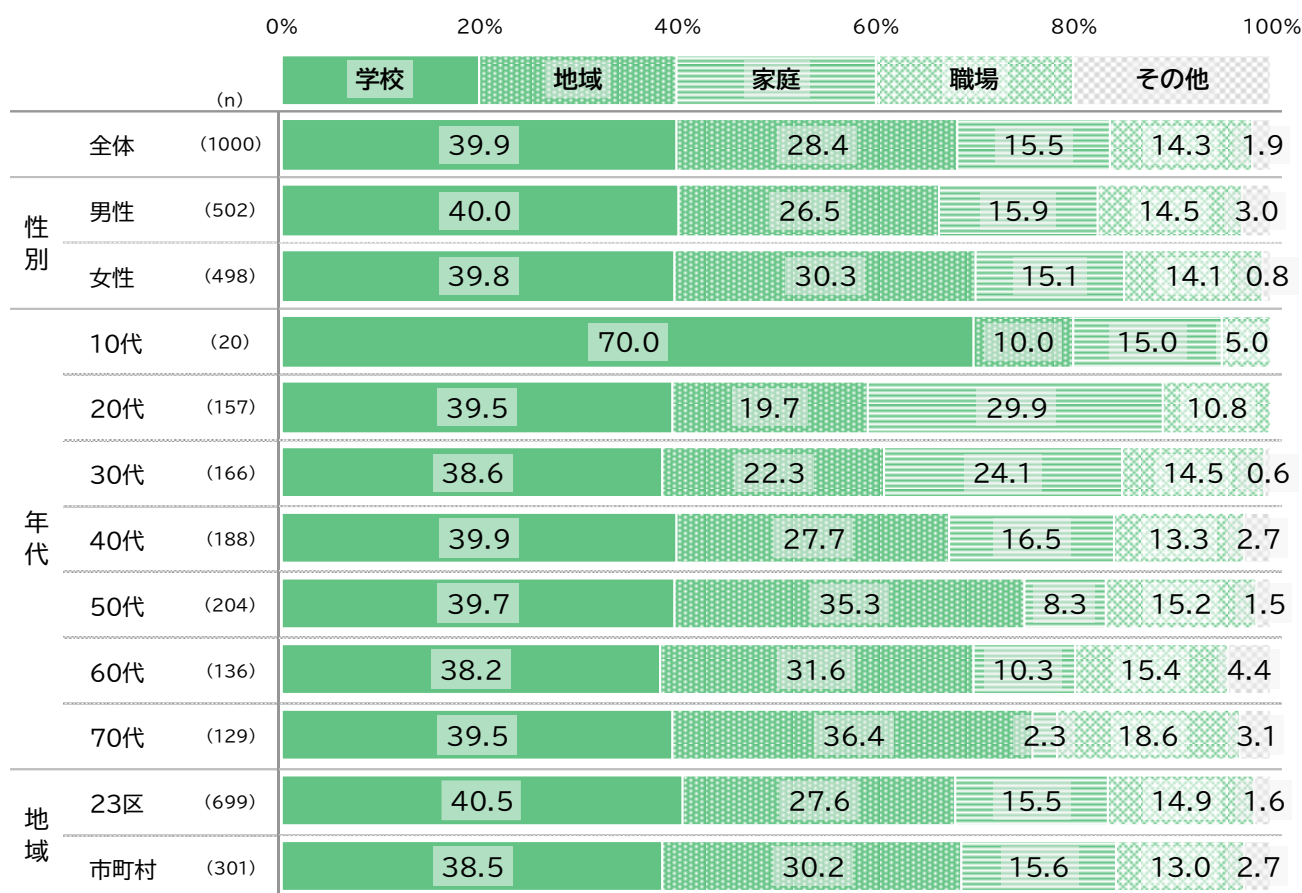
年代別にみると「どこから情報を入手したらよいか分からないから」は70代が51.4%と最も高く、次いで50代が39.5%となっており、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。「調べてまで知ろうと思う情報ではないから」は10代が50.0%、次いで20代が37.7%となっており、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。また、「情報に関心がないから」は10代が66.7%と他の年代よりも高いことが特徴です。

横%		どこから情報を入手したらよいか分からないから	調べてまで知ろうと思う情報ではないから	情報に関心がないから	必要な知識は既に持っているから	時間がないから	調べても情報が難しくよく分からないから	トラブルにあったときや必要なときには調べるから	その他	
(n)										
全体	(378)	33.6	27.2	18.8	17.2	16.4	14.0	10.8	1.1	
性別	男性	(191)	30.9	31.4	20.4	19.4	17.3	14.7	13.1	0.5
	女性	(187)	36.4	23.0	17.1	15.0	15.5	13.4	8.6	1.6
年代	10代	(6)	16.7	50.0	66.7	-	33.3	16.7	16.7	-
	20代	(53)	17.0	37.7	28.3	15.1	17.0	13.2	9.4	-
	30代	(61)	34.4	26.2	18.0	11.5	32.8	9.8	9.8	-
	40代	(82)	29.3	22.0	14.6	17.1	18.3	22.0	12.2	1.2
	50代	(86)	39.5	31.4	17.4	17.4	12.8	10.5	9.3	-
	60代	(55)	36.4	18.2	18.2	20.0	7.3	10.9	14.5	3.6
	70代	(35)	51.4	25.7	11.4	28.6	2.9	17.1	8.6	2.9
地域	23区	(268)	34.0	26.1	18.3	16.8	16.8	14.9	10.8	0.4
	市町村	(110)	32.7	30.0	20.0	18.2	15.5	11.8	10.9	2.7

Q32. 自転車事故や交通違反を減らすための交通安全教育の場所・場面として最も重要だと思うものをお選びください。(単一回答)

交通安全教育の場所・場面として最も重要だと思うものについて、「学校」が39.9%と最も高く、次いで「地域」が28.4%となっています。性別にみると「学校」は男性が40.0%、女性が39.8%となり、男女間で大きな差は見られませんでした。

年代別にみると「学校」は10代が70.0%となり、突出して高い結果となっています。



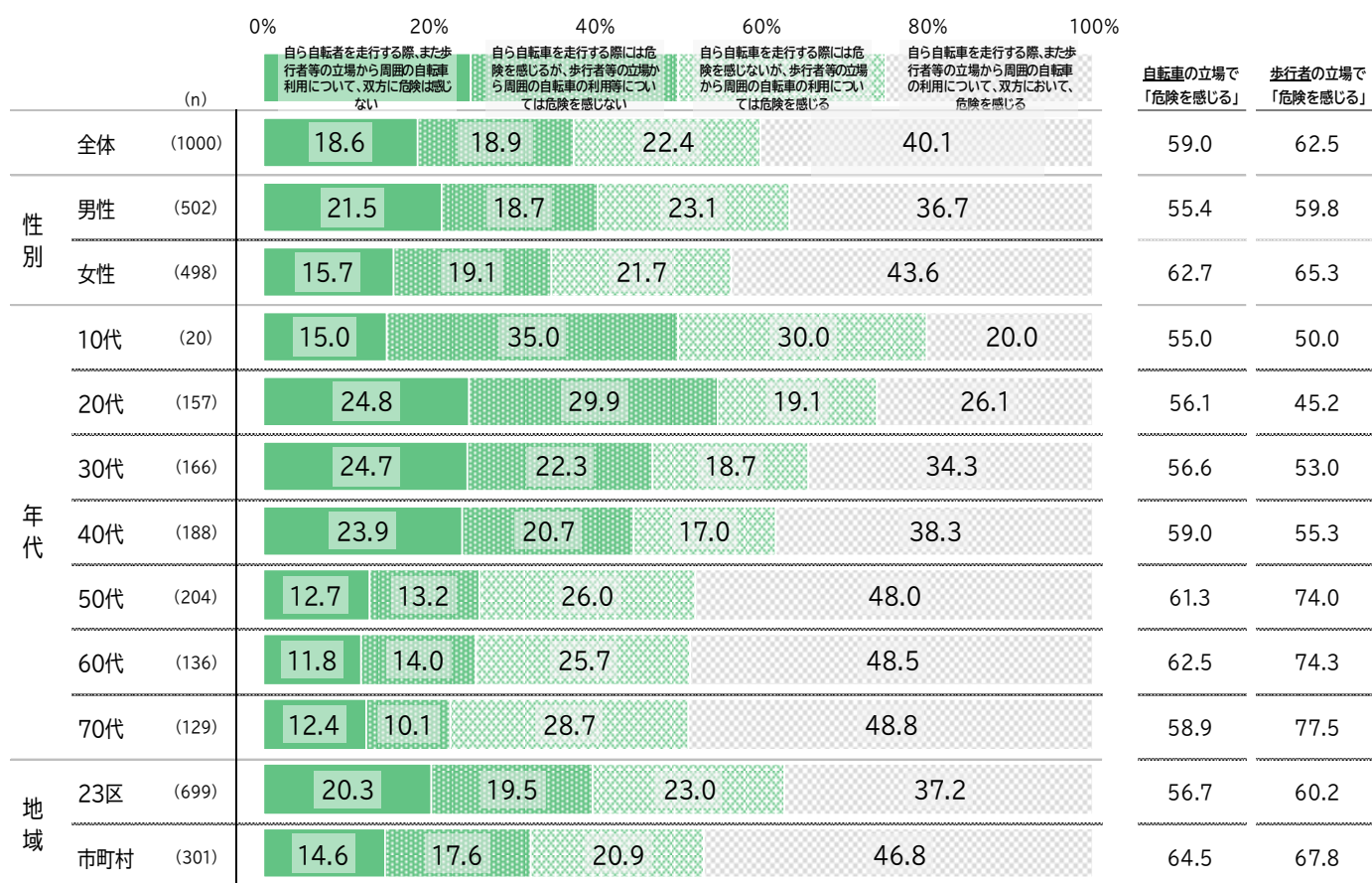
●その他の内容

- ・テレビ(4件)、警察(3件)など

Q33. 東京都における自転車の走行及び周囲の自転車の利用等に関して、あなたの気持ちに近いものを選んでください。(単一回答)

自転車の走行・利用に対しての気持ちについて、「自ら自転車を走行する際、また歩行者等の立場から周囲の自転車の利用について、双方において、危険を感じる」が40.1%となっています。また、「自転車の立場で『危険を感じる』」は59.0%、「歩行者の立場で『危険を感じる』」は62.5%となっています。

性別にみると「自転車の立場で『危険を感じる』」は男性が55.4%、女性が62.7%となり、女性のほうが7.3ポイント高くなっています。年代別にみると60代が62.5%と最も高く、次いで50代が61.3%となっています。「歩行者の立場で『危険を感じる』」は男性が59.8%、女性が65.3%となり、女性のほうが5.5ポイント高くなっています。年代別にみると70代が77.5%と最も高く、次いで60代が74.3%となっており、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。



※1 自転車の立場で「危険を感じる」

=「自ら自転車を走行する際には危険を感じるが、歩行者等の立場から周囲の自転車の利用等については危険を感じない」  
+「自ら自転車を走行する際、また歩行者等の立場から周囲の自転車の利用について、双方において、危険を感じる」

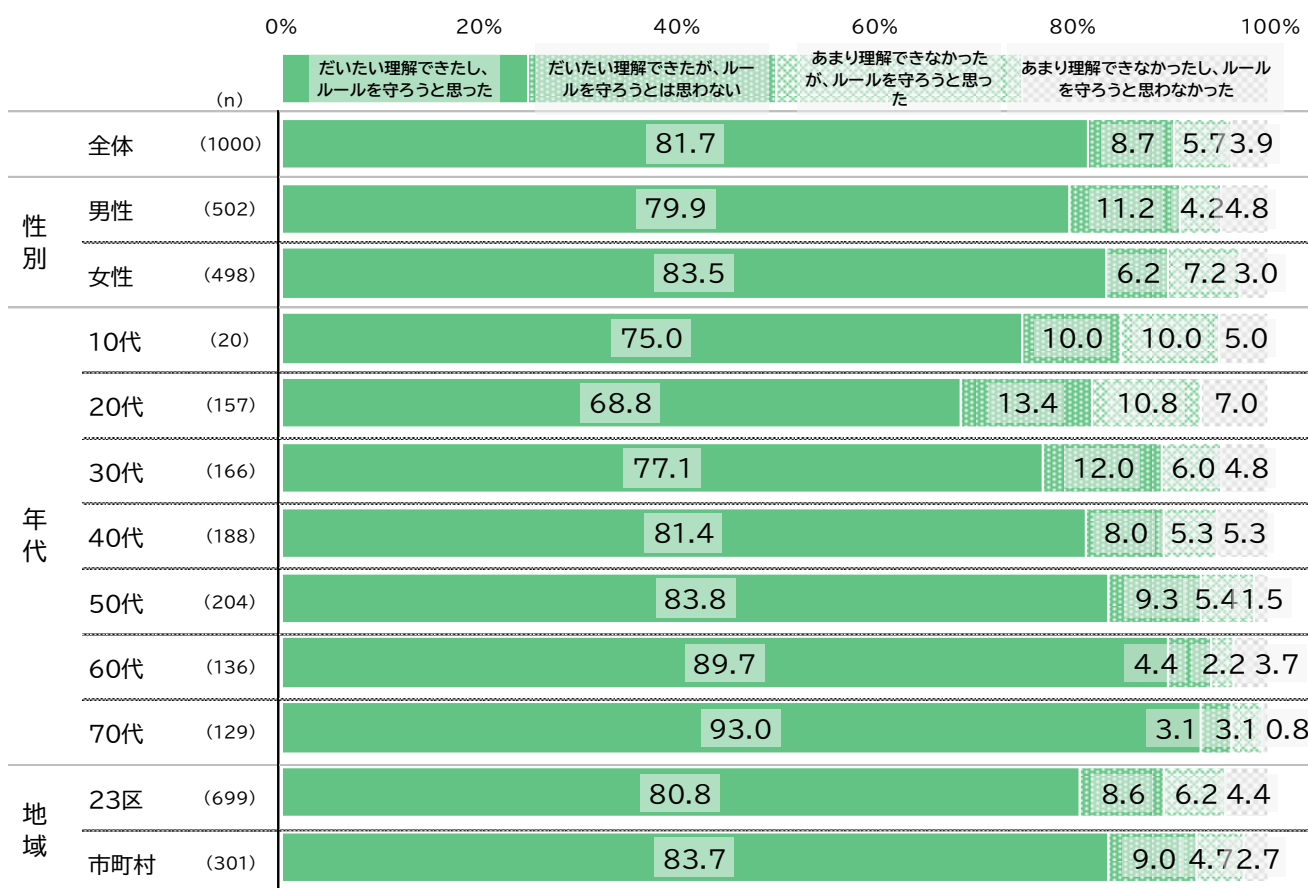
※2 歩行者の立場で「危険を感じる」

=「自ら自転車を走行する際には危険を感じないが、歩行者等の立場から周囲の自転車の利用については危険を感じる」  
+「自ら自転車を走行する際、また歩行者等の立場から周囲の自転車の利用について、双方において、危険を感じる」

Q34. 自転車の右側走行をテーマとした動画をご覧ください、質問にお答えください。自転車の右側走行が危険な行動ということを理解し、ルールを守ろうという気持ちになりましたか。あなたの気持ちに近いものを選んでください。  
(単一回答)

理解度とルールの遵守について、「だいたい理解できたし、ルールを守ろうと思った」が81.7%となっています。性別にみると「だいたい理解できたし、ルールを守ろうと思った」は男性が79.9%、女性が83.5%となり、男女間で大きな差は見られませんでした。

年代別にみると「だいたい理解できたし、ルールを守ろうと思った」は70代が93.0%と最も高く、次いで60代が89.7%となっており、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。

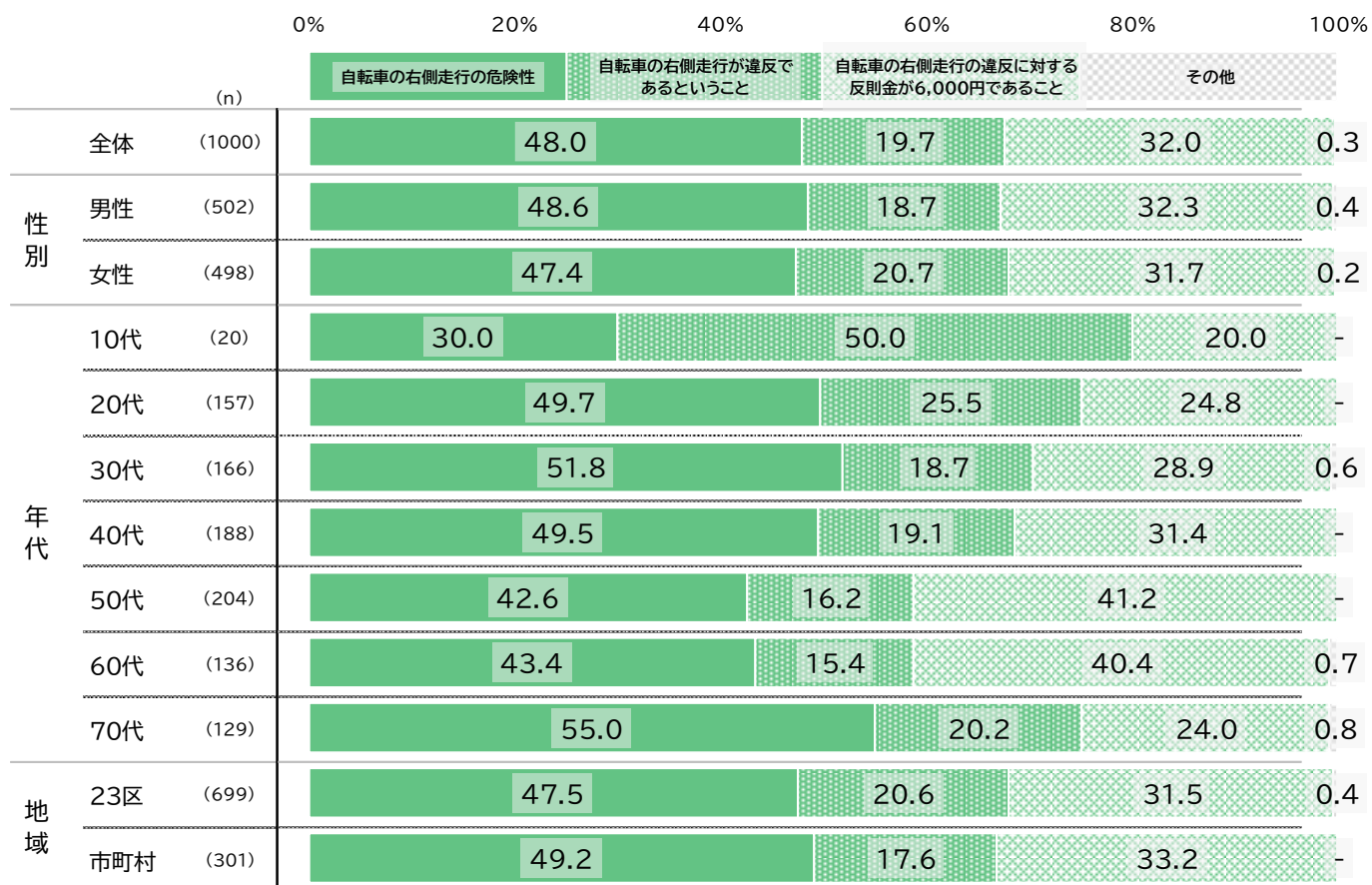


Q35. この動画において、最も印象的だった内容を教えてください。(単一回答)

動画で最も印象的だった内容について、「自転車の右側走行の危険性」が48.0%と最も高く、次いで「自転車の右側走行の違反に対する反則金が6,000円であること」が32.0%となっています。

性別にみると「自転車の右側走行の危険性」は男性が48.6%、女性が47.4%となり、男女間で大きな差は見られませんでした。

年代別にみると「自転車の右側走行の危険性」は70代が55.0%と最も高く、次いで30代が51.8%となっています。



●その他の内容

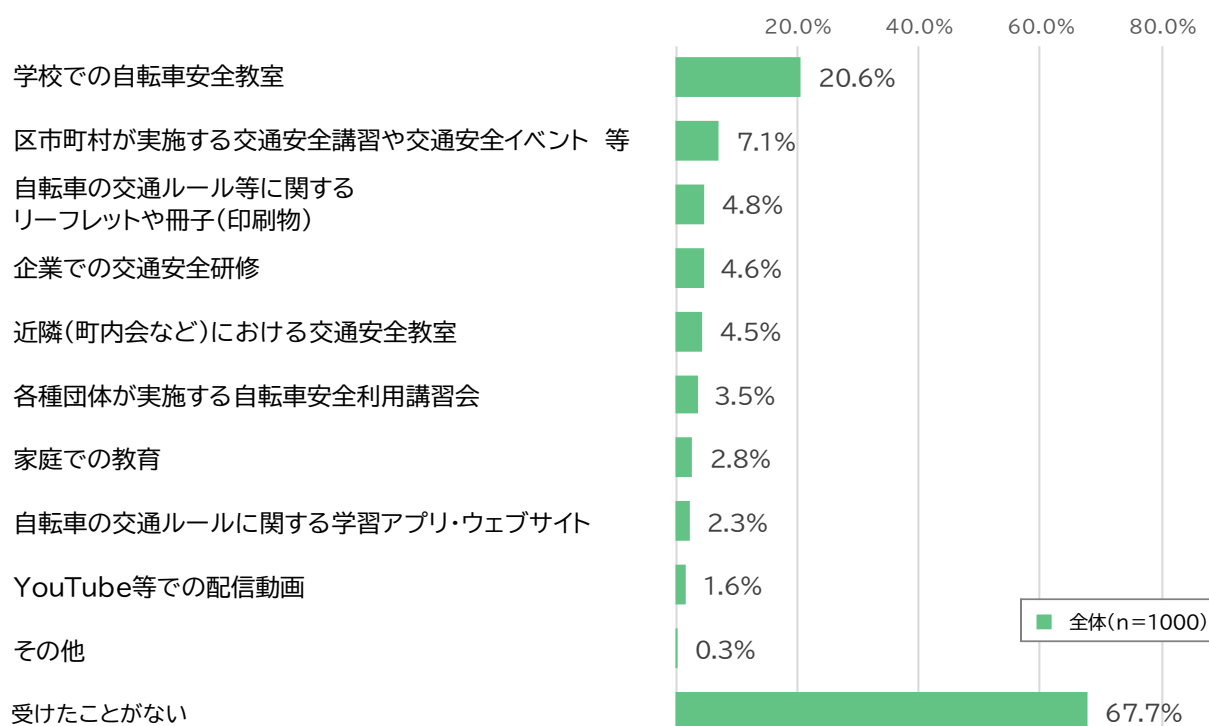
- ・特になし(2件)など

## 7.自転車の交通安全教育について

Q37.どのようにして交通安全教育を受けましたか。(複数回答)

(1)全体

どのようにして交通安全教育を受けたかについて、「学校での自転車安全教室」が20.6%と最も高く、次いで「区市町村が実施する交通安全講習や交通安全イベント等」が7.1%、「自転車の交通ルール等に関するリーフレットや冊子（印刷物）」が4.8%となっています。一方、「受けたことがない」が67.7%と、全体のおよそ3分の2を占めています。



●その他の内容

- ・警察署(1件)など

Q37. どのようにして交通安全教育を受けましたか。(複数回答)

(2)属性別

どのようにして交通安全教育を受けたかについて、性別にみると「学校での自転車安全教室」は男性が20.7%、女性が20.5%となり、男女間で大きな差は見られませんでした。

年代別にみると「学校での自転車安全教室」は10代が30.0%と最も高く、次いで20代が25.5%となっています。「区市町村が実施する交通安全講習や交通安全イベント等」は20代が14.0%と最も高く、次いで30代が10.8%となっています。「自転車の交通ルール等に関するリーフレットや冊子(印刷物)」では10代が10.0%となっており、いずれの項目も年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。

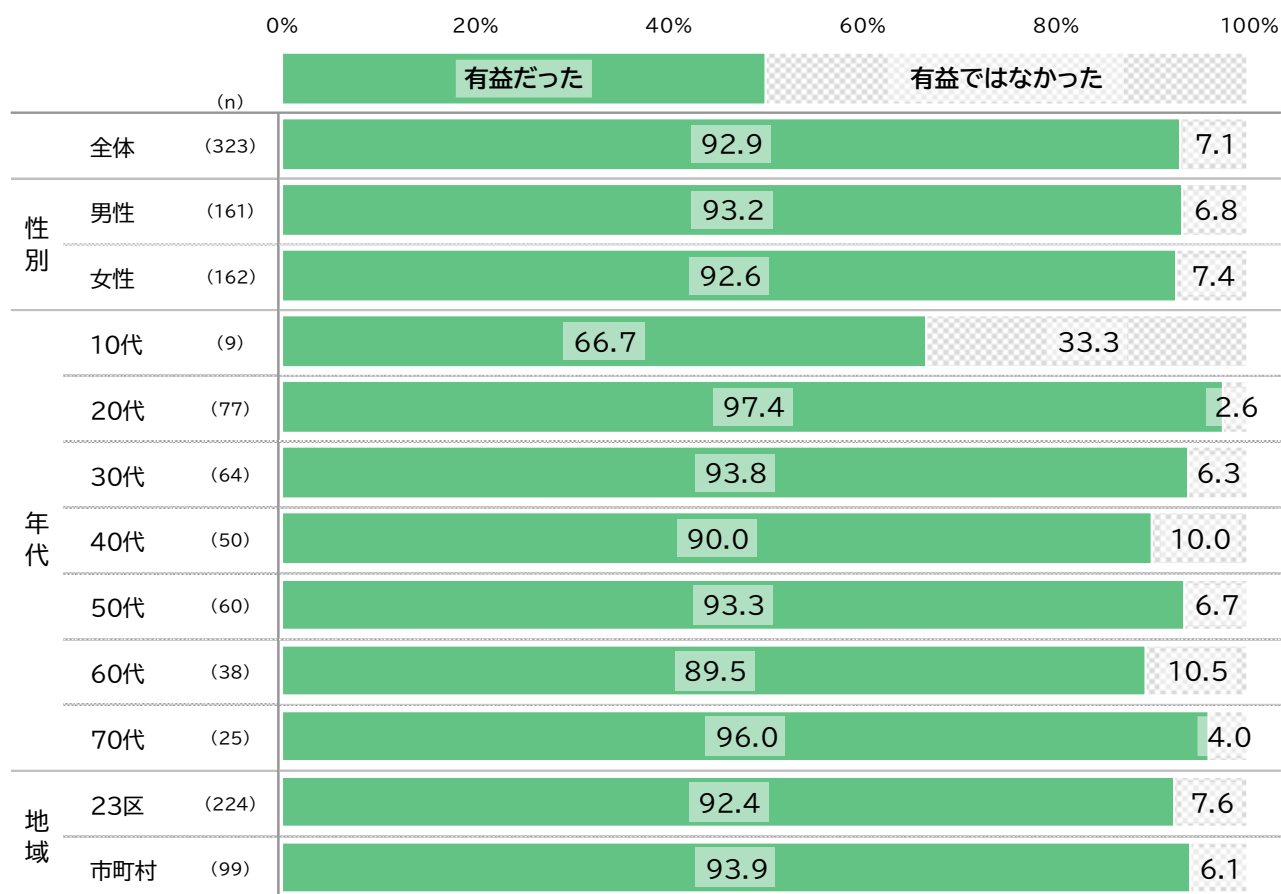
横%	(n)	学校での自転車安全教室	区市町村が実施する交通安全講習や交通安全イベント等	自転車の交通ルール等に関するリーフレットや冊子(印刷物)	企業での交通安全研修	近隣(町内会など)における交通安全教室	各種団体が実施する自転車安全利用講習会	家庭での教育	自転車の交通ルールに関する学習アプリ・ウェブサイト	YouTube等での配信動画	その他	受けたことがない
全体	(1000)	20.6	7.1	4.8	4.6	4.5	3.5	2.8	2.3	1.6	0.3	67.7
性別	男性 (502)	20.7	6.4	5.0	5.0	4.4	3.4	2.4	3.0	2.6	-	67.9
	女性 (498)	20.5	7.8	4.6	4.2	4.6	3.6	3.2	1.6	0.6	0.6	67.5
年代	10代 (20)	30.0	10.0	10.0	5.0	10.0	10.0	5.0	10.0	5.0	-	55.0
	20代 (157)	25.5	14.0	7.6	10.8	9.6	5.7	3.8	3.8	4.5	-	51.0
	30代 (166)	24.7	10.8	5.4	7.2	7.8	5.4	6.0	3.0	1.8	-	61.4
	40代 (188)	17.6	4.8	4.8	3.2	4.3	3.2	2.7	2.1	1.1	0.5	73.4
	50代 (204)	21.6	3.9	2.0	3.4	1.0	2.0	2.0	2.0	0.5	0.5	70.6
	60代 (136)	20.6	4.4	3.7	1.5	1.5	2.2	-	1.5	-	-	72.1
	70代 (129)	10.9	4.7	5.4	0.8	2.3	1.6	1.6	-	1.6	0.8	80.6
地域	23区 (699)	19.2	7.7	5.7	5.6	4.4	4.4	3.0	2.4	1.7	0.4	68.0
	市町村 (301)	23.9	5.6	2.7	2.3	4.7	1.3	2.3	2.0	1.3	-	67.1

Q38. 交通安全教育での学習内容は有益なものでしたか。(単一回答)  
 <Q37で、「受けたことがない」とした回答者を除く=323人>

(1)全体/属性別

交通安全教育での学習内容は有益だったかについて、「有益だった」とした回答が92.9%となっています。

性別にみると「有益だった」は男性が93.2%、女性が92.6%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると20代が97.4%と最も高く、次いで70代が96.0%となっています。



Q38. 交通安全教育での学習内容は有益なものでしたか。(単一回答)

<Q37で、「受けたことがない」とした回答者を除く=323人>

(2)Q37. 受けたことがある交通安全教育別にみた結果

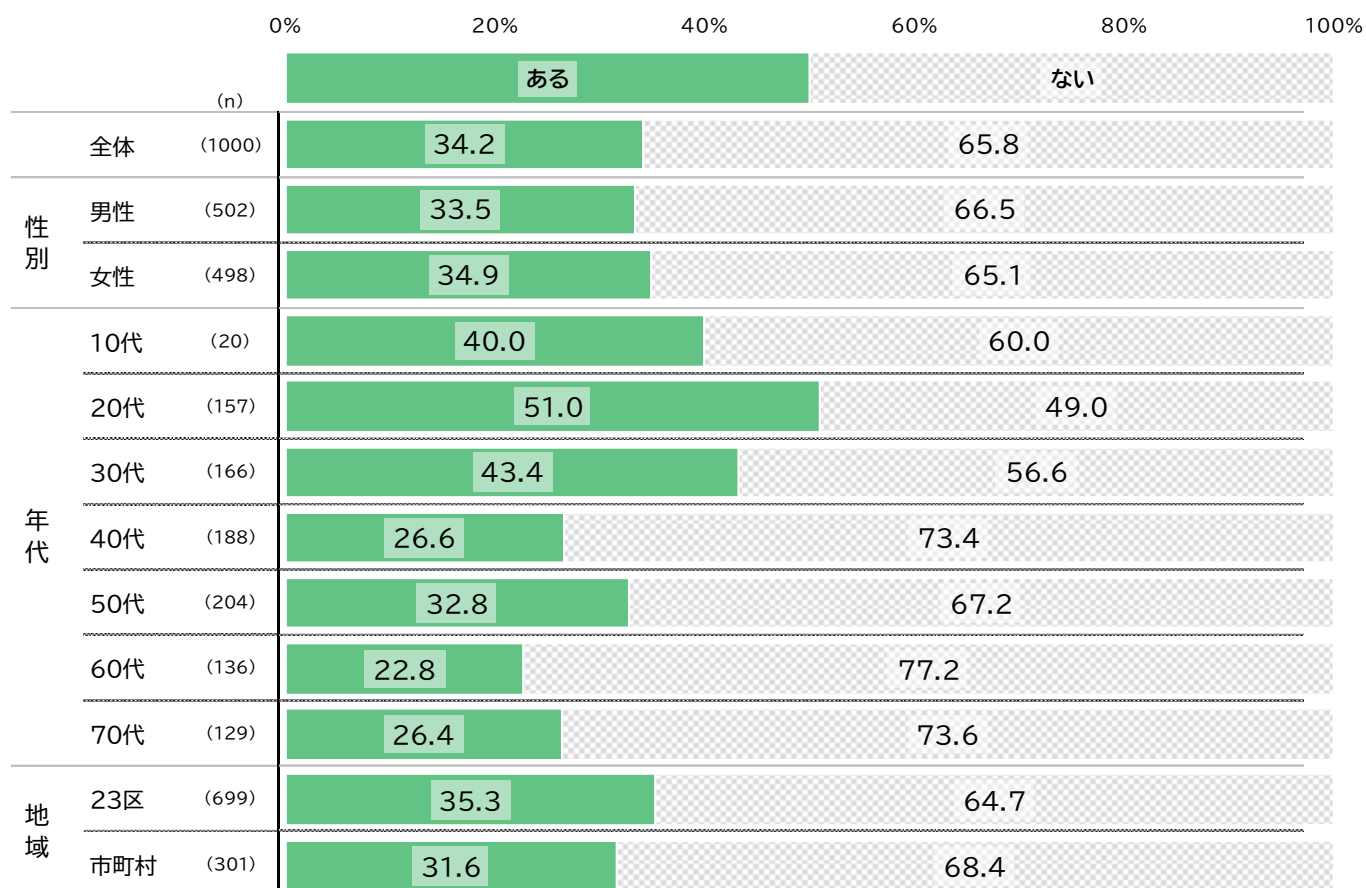
受けたことがある交通安全教育について、「有益だった」とした回答が最も高いのは、「その他」を除くと、「YouTube等での配信動画」の100.0%となり、次いで「区市町村が実施する交通安全講習や交通安全イベント等」が97.2%、「家庭での教育」が96.4%となっています。また、「有益だった」とする回答がすべての交通安全教育で9割を超える結果となっています。

横%		有益 だ っ た	有 益 で は な か っ た
(n)			
全体	(323)	92.9	7.1
Youtube等での配信動画	(16)	100.0	-
区市町村が実施する交通安全講習や交通安全イベント 等	(71)	97.2	2.8
家庭での教育	(28)	96.4	3.6
自転車の交通ルール等に関するリーフレットや冊子(印刷物)	(48)	95.8	4.2
企業での交通安全研修	(46)	95.7	4.3
自転車の交通ルールに関する学習アプリ・ウェブサイト	(23)	95.7	4.3
各種団体が実施する自転車安全利用講習会	(35)	94.3	5.7
近隣(町内会など)における交通安全教室	(45)	93.3	6.7
学校での自転車安全教室	(206)	93.2	6.8
その他	(3)	100.0	-

Q39. あなたが子供のとき、保護者から交通安全について、家庭での教育を受けたことがありますか。または、子供に対して、交通安全について、家庭での教育を施したことがありますか。(単一回答)

子どもへの教育機会の有無について、「ある」とした回答が34.2%となっています。

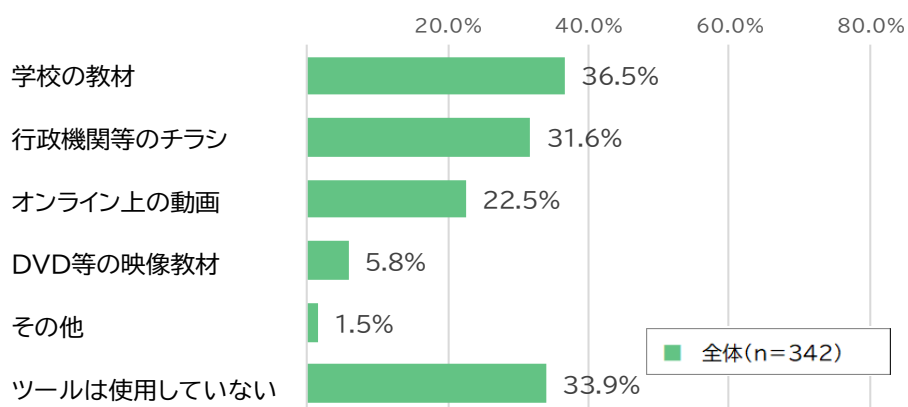
性別にみると「ある」は男性が33.5%、女性が34.9%となり、男女間で大きな差はなく、年代別に見ると20代が51.0%と最も高く、次いで30代が43.4%となっています。



Q40. 家庭での教育においては、どのようなツールを使用されましたか。(複数回答)  
<Q39で、「ある」とした回答者が対象=342人>

(1)全体

家庭での教育時に使用されるツールについて、「学校の教材」が36.5%と最も高く、次いで「行政機関等のチラシ」が31.6%、「オンライン上の動画」が22.5%となっています。一方、「ツールは使用していない」が33.9%となっています。



●その他の内容

- ・親の経験談(1件)など

Q40. 家庭での教育においては、どのようなツールを使用されましたか。(複数回答)

<Q39で、「ある」とした回答者が対象=342人>

(2)属性別

家庭での教育時に使用されるツールについて、性別にみると「学校の教材」は男性が36.9%、女性が36.2%となり、男女間で大きな差は見られませんでした。

年代別にみると「学校の教材」は10代が62.5%と最も高く、次いで20代が47.5%となっており、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。「行政機関のチラシ」は30代が40.3%と最も高く、次いで70代が35.3%となっています。一方、「ツールは使用していない」では60代が48.4%、70代が47.1%となっており、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。また、23区では27.5%、市町村では50.5%と、市町村が23.0ポイント高くなっています。

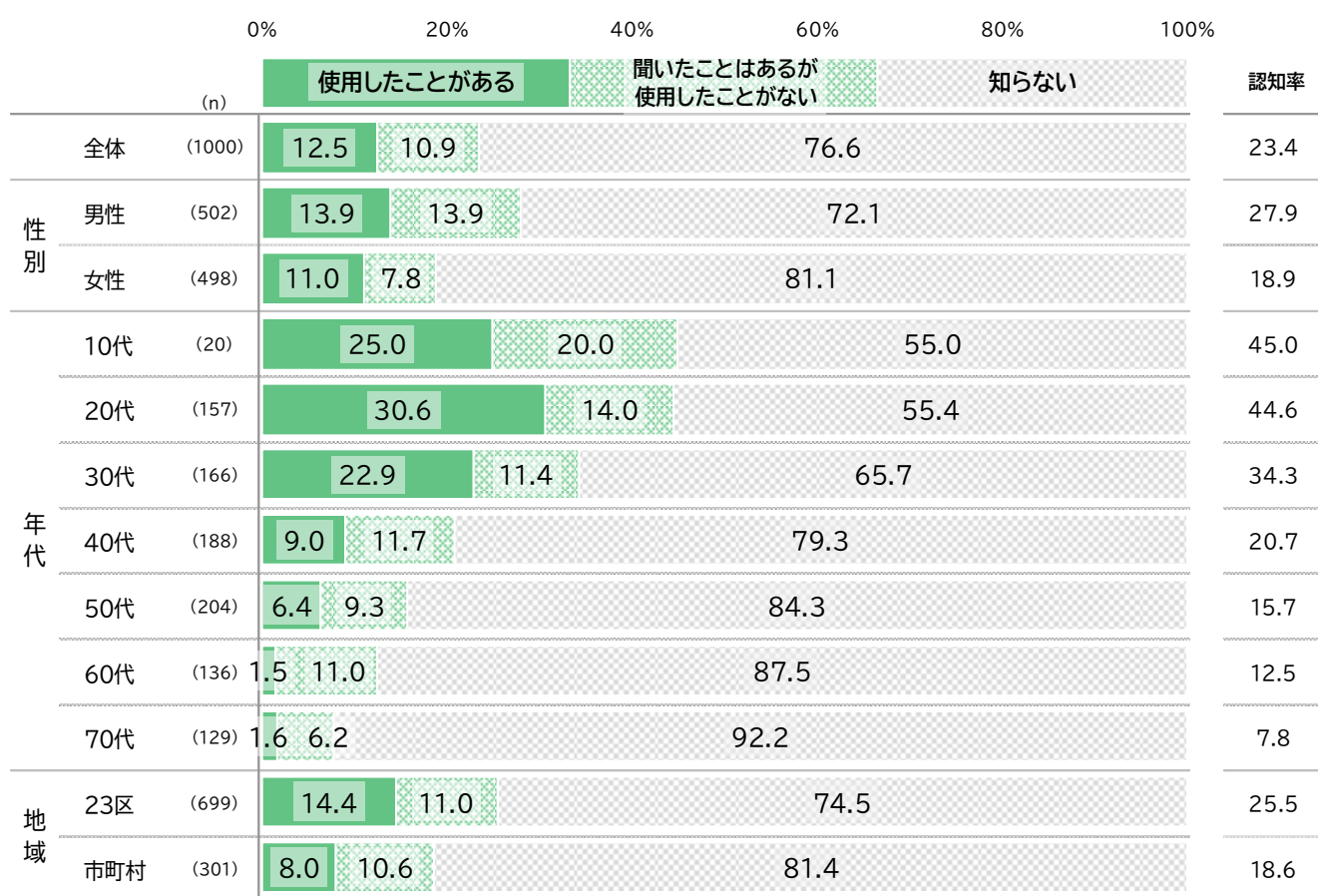
横%		学校の教材	行政機関等のチラシ	オンライン上の動画	DVD等の映像教材	その他	ツールは使用していない
(n)							
全体	(342)	36.5	31.6	22.5	5.8	1.5	33.9
性別	男性 (168)	36.9	35.7	25.0	7.1	2.4	31.0
	女性 (174)	36.2	27.6	20.1	4.6	0.6	36.8
年代	10代 (8)	62.5	12.5	50.0	12.5	-	12.5
	20代 (80)	47.5	28.8	28.8	16.3	-	18.8
	30代 (72)	37.5	40.3	33.3	5.6	-	26.4
	40代 (50)	38.0	32.0	16.0	2.0	-	38.0
	50代 (67)	29.9	29.9	16.4	1.5	-	46.3
	60代 (31)	29.0	22.6	19.4	-	6.5	48.4
	70代 (34)	20.6	35.3	2.9	-	8.8	47.1
地域	23区 (247)	40.1	34.8	24.7	6.9	1.6	27.5
	市町村 (95)	27.4	23.2	16.8	3.2	1.1	50.5

## 8.スマートフォン・タブレット向けアプリ「輪トレ」について

Q41. 東京都では、自転車走行の体験学習が可能なスマートフォン・タブレット向けアプリ「輪トレ」を配信していますが、使用したことがありますか。(単一回答)

自転車走行の体験学習が可能なスマートフォン・タブレット向けアプリ「輪トレ」を使用したことがあるかについて、「使用したことがある」とした回答が12.5%となっています。一方で「知らない」は76.6%となっています。

性別にみると「使用したことがある」は男性が13.9%、女性が11.0%となり、男女間で大きな差は見られませんでした。年代別にみると20代が30.6%と最も高く、次いで10代が25.0%となっており、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。一方で40代以上では、約8割以上が「知らない」と回答しています。

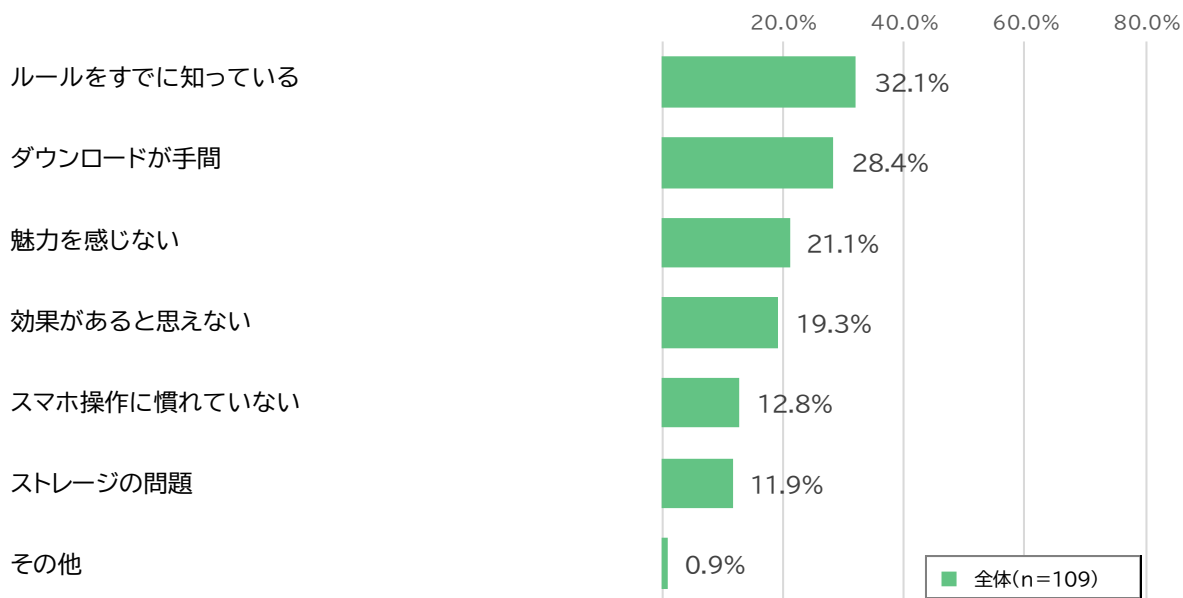


※1 認知率＝「使用したことがある」＋「聞いたことはあるが、使用したことはない」

Q42. (聞いたことはあるが、使用したことがない)それはなぜですか。(複数回答)  
 <Q41で、「聞いたことはあるが、使用したことがない」とした回答者が対象=109人>

(1)全体

聞いたことはあるが、使用したことがない理由について、「ルールをすでに知っている」が32.1%と最も高く、次いで「ダウンロードが手間」が28.4%、「魅力を感じない」が21.1%となっています。



Q42. (聞いたことはあるが、使用したことはない)それはなぜですか。(複数回答)  
 <Q41で、「聞いたことはあるが、使用したことはない」とした回答者が対象=109人>

(2)属性別

聞いたことはあるが、使用したことがない理由について、性別にみると「ルールをすでに知っている」は男性が37.1%、女性が23.1%となり、男性のほうが14.0ポイント高くなっています。

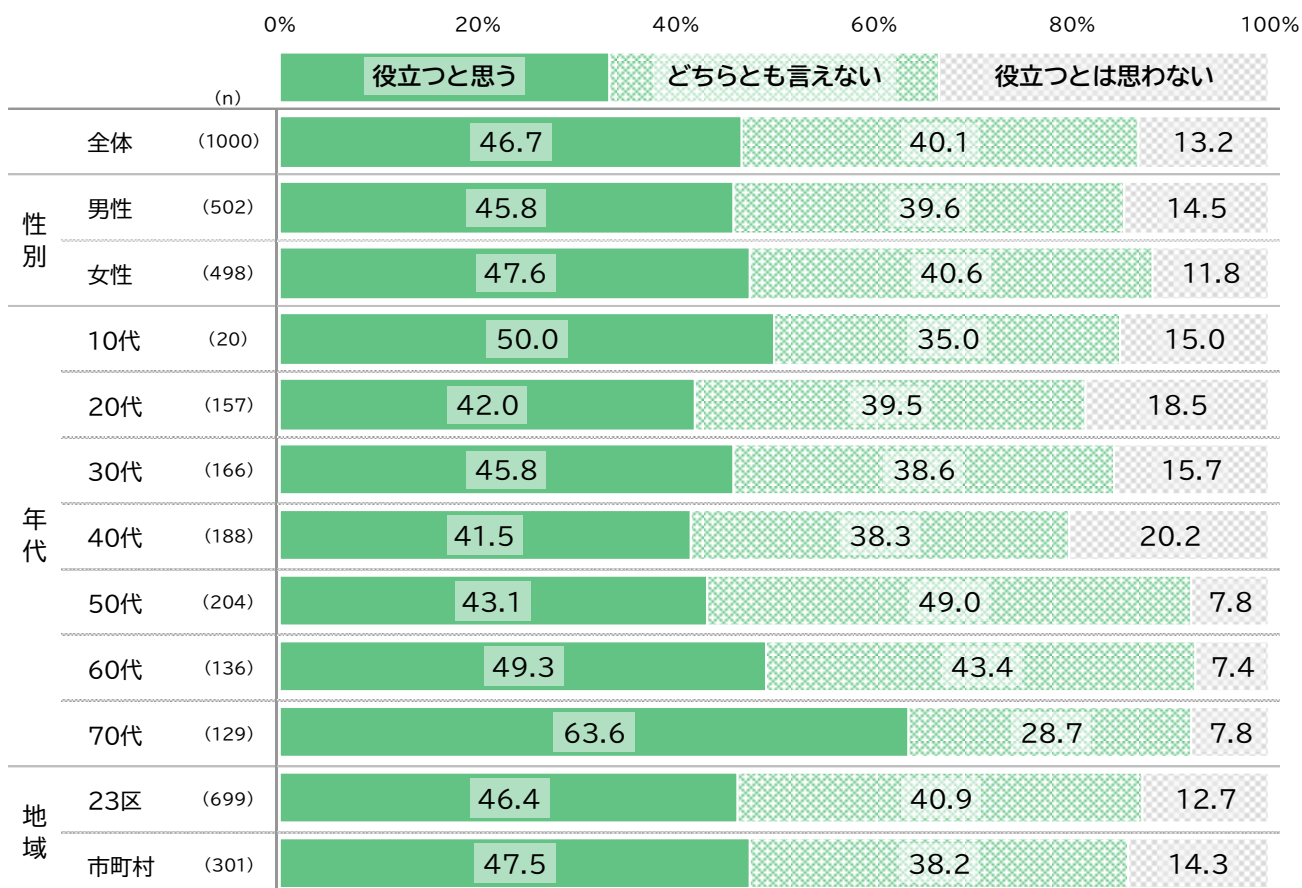
年代別にみると「ルールをすでに知っている」は70代が62.5%と最も高く、次いで50代が42.1%となっています。「ダウンロードが手間」は70代が50.0%と最も高く、次いで20代が36.4%となっています。

横%		ルールをすでに知っている	ダウンロードが手間	魅力を感じない	効果があると思えない	スマホ操作に慣れていない	ストレージの問題	その他
(n)								
全体	(109)	32.1	28.4	21.1	19.3	12.8	11.9	0.9
性別	男性	(70) 37.1	27.1	15.7	24.3	11.4	14.3	1.4
	女性	(39) 23.1	30.8	30.8	10.3	15.4	7.7	-
年代	10代	(4) 25.0	25.0	25.0	25.0	-	25.0	-
	20代	(22) 31.8	36.4	18.2	22.7	4.5	18.2	-
	30代	(19) 15.8	26.3	21.1	36.8	15.8	-	5.3
	40代	(22) 22.7	31.8	18.2	9.1	13.6	13.6	-
	50代	(19) 42.1	10.5	31.6	15.8	15.8	15.8	-
	60代	(15) 40.0	26.7	26.7	20.0	20.0	6.7	-
	70代	(8) 62.5	50.0	-	-	12.5	12.5	-
地域	23区	(77) 29.9	28.6	23.4	18.2	13.0	13.0	-
	市町村	(32) 37.5	28.1	15.6	21.9	12.5	9.4	3.1

※ 10代はサンプル数=4のため、コメントは記載していない

Q43. "輪トレ"を含めた自転車の交通ルールに関する学習アプリは自転車の安全利用促進に役立つと思いますか。  
(単一回答)

自転車の交通ルールに関する学習アプリは自転車の安全利用促進に役立つと思うかについて、「役立つと思う」とした回答は46.7%となっています。一方で「役立つとは思わない」は13.2%となっています。性別にみると「役立つと思う」は男性が45.8%、女性が47.6%となり、男女間で大きな差はなく、年代別にみると70代が63.6%と最も高く、次いで10代が50.0%となっています。一方で「役立つとは思わない」は40代が20.2%と最も高く、次いで20代の18.5%となっています。

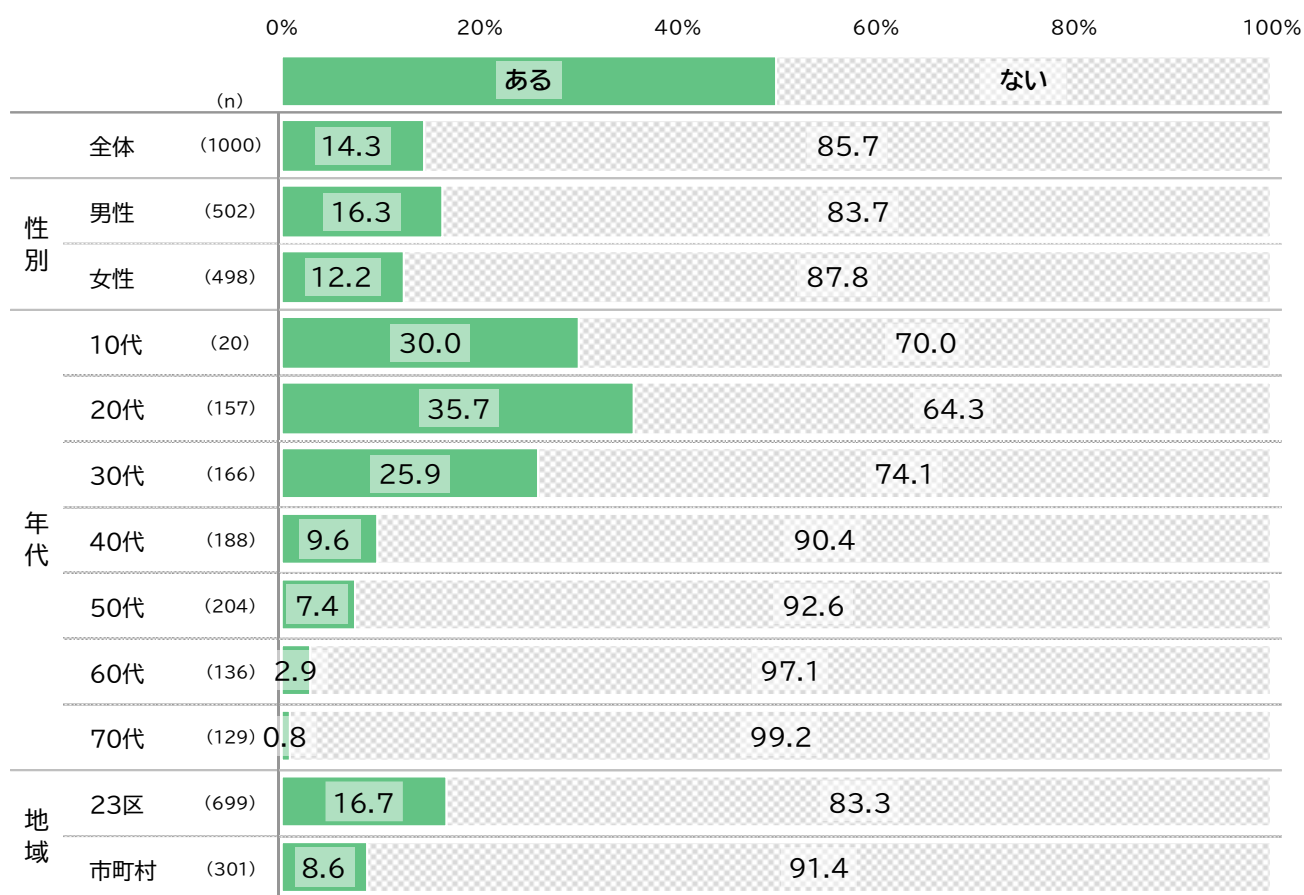


## 9.特定原付（電動キックボード等）について

Q44. これまでに特定原付(電動キックボード等)を利用したことがありますか。(単一回答)

(1)全体/属性別

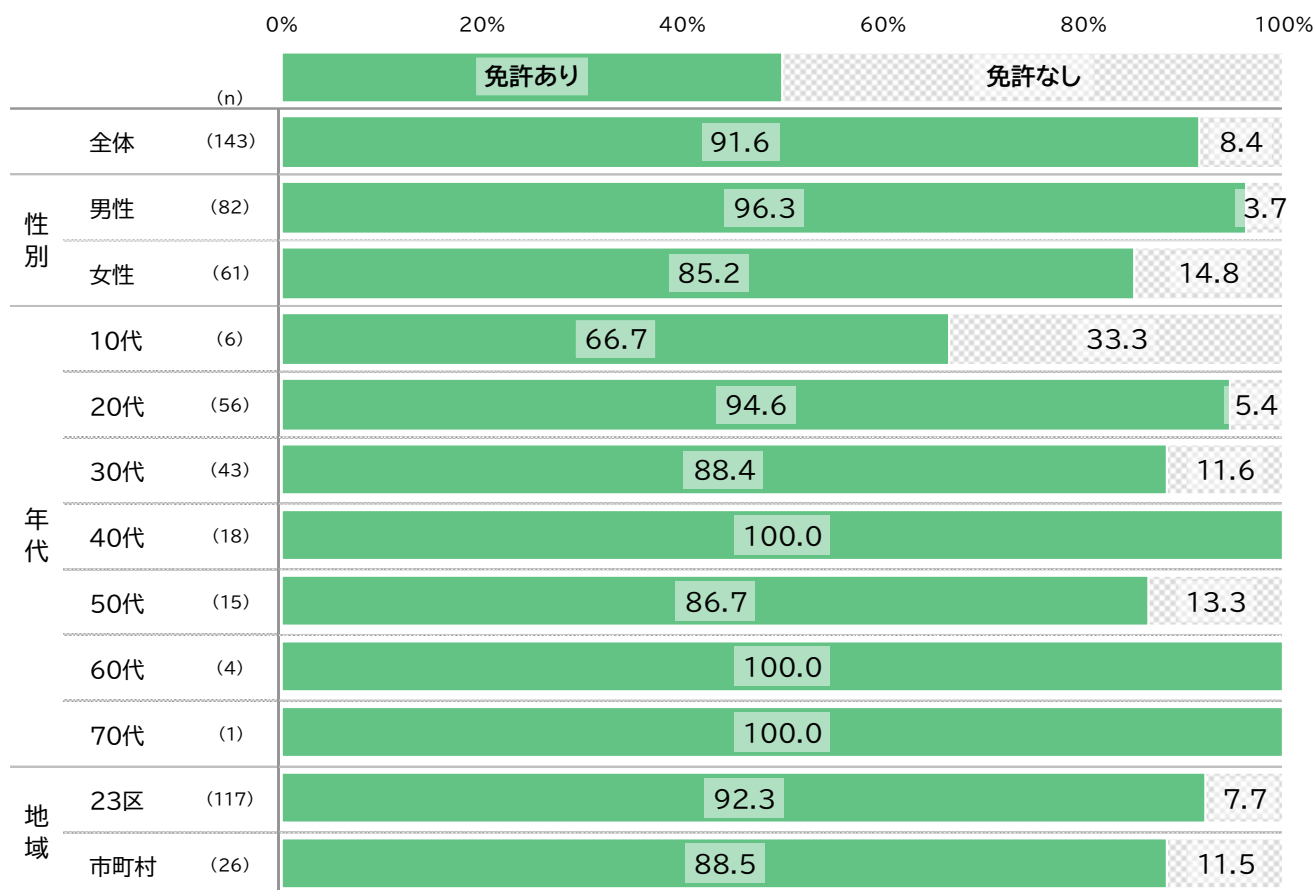
特定原付（電動キックボード等）を利用したことがあるかについて、「ある」とした回答が14.3%となっています。「ない」は85.7%となっています。性別にみると「ある」は男性が16.3%、女性が12.2%となり、男女間で大きな差は見られませんでした。年代別にみると20代が35.7%と最も高く、次いで10代が30.0%となっています。30代以下で利用経験が高い結果となっています。



Q44. これまでに特定原付(電動キックボード等)を利用したことがありますか。(単一回答)

(2)特定原付(電動キックボード等)の利用経験者<n=143>でみた自動車(原動機付自転車を含む)免許の保有率

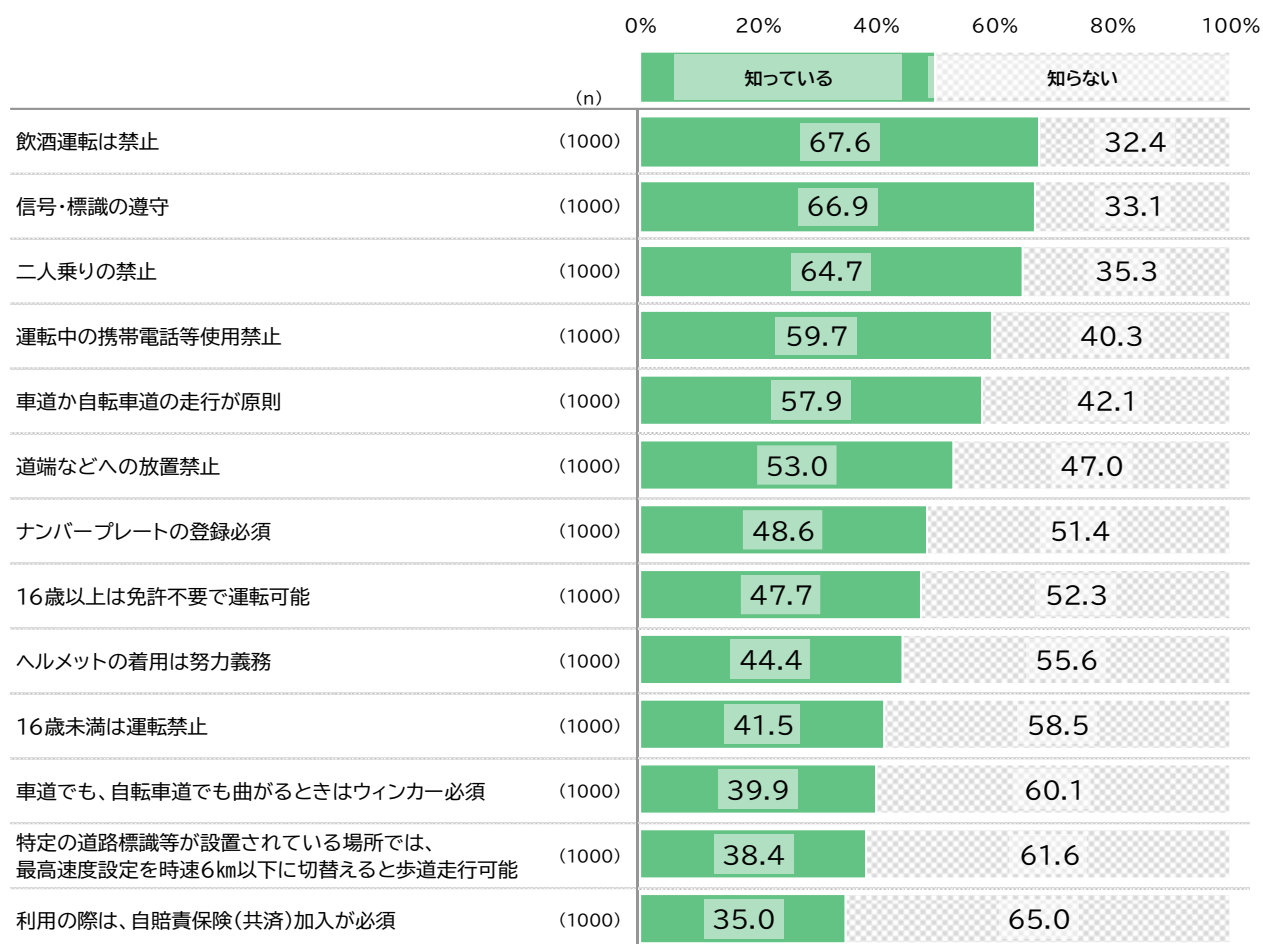
特定原付(電動キックボード等)の利用経験者における自動車(原動機付自転車を含む)免許の保有率をみると、「免許あり」が91.6%となっています。性別にみると「免許あり」は男性が96.3%、女性が85.2%となり、男性のほうが11.1ポイント高くなっています。



Q45. 特定原付(電動キックボード等)利用時のルールについてお聞きます。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(1)全体

特定原付（電動キックボード等）利用時のルール認知について、「飲酒運転は禁止」が67.6%と最も高く、次いで「信号・標識の遵守」が66.9%、「二人乗りの禁止」が64.7%となっています。一方で最も認知度が低かったのは「利用の際は、自賠責保険（共済）加入が必須」で、35.0%となっています。



Q45. 特定原付(電動キックボード等)利用時のルールについてお聞きます。あなたは、そのルールを知っていますか。(単一回答)

(2)属性別

特定原付（電動キックボード等）利用時のルール認知について、性別にみると「飲酒運転は禁止」は男性が70.9%、女性が64.3%となり、男性のほうが6.6ポイント高くなっています。

年代別にみると「飲酒運転は禁止」は70代が74.4%と最も高く、次いで60代が70.6%となっています。「信号・標識の遵守」でも70代が74.4%と最も高く、次いで60代が70.6%となり、どちらもシニア層で高い傾向が見られます。一方で「利用の際は、自賠責保険（共済）加入が必須」では20代が47.8%と最も高く、次いで30代が45.2%となっており、こちらは若年層で高い傾向が見られます。

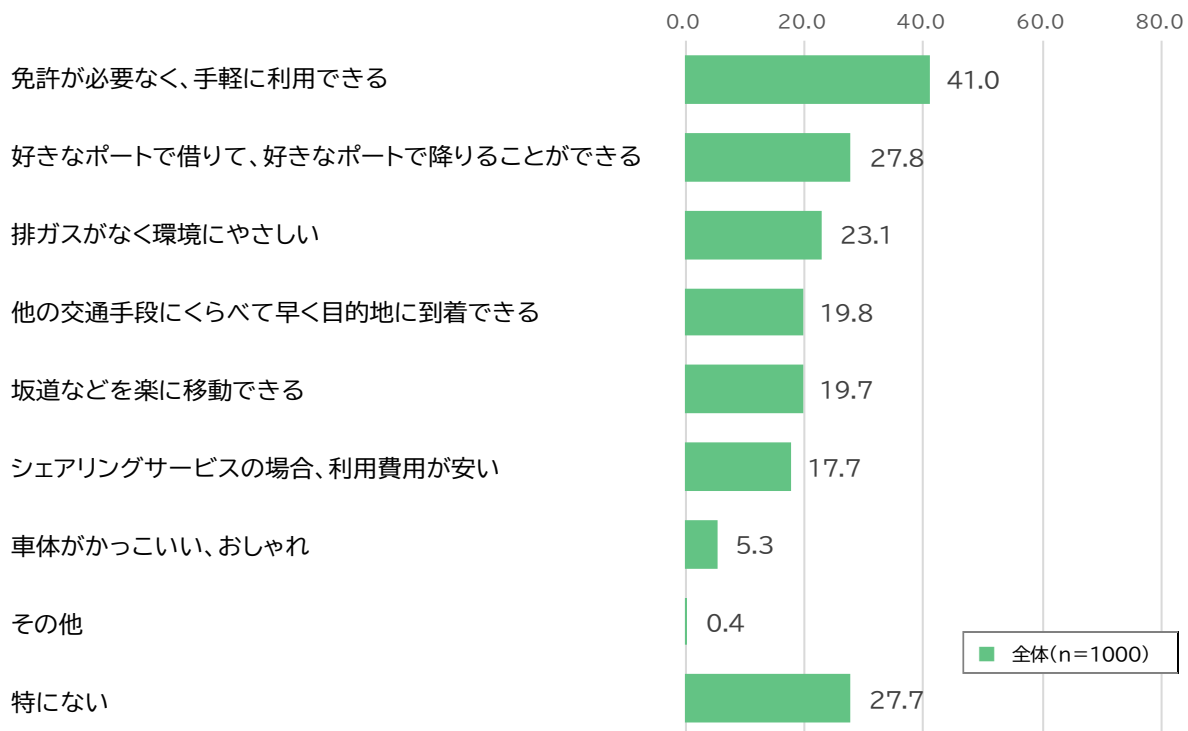
横%		飲酒運転は禁止	信号・標識の遵守	二人乗りの禁止	運転中の携帯電話等使用禁止	車道か自転車道の走行が原則	道端などへの放置禁止	ナンバープレートの登録必須	16歳以上は免許不要で運転可能	ヘルメットの着用は努力義務	16歳未満は運転禁止	車道でも、自転車道でも曲がるときはウィンカー必須	特定の道路標識等が設置されている場所では、最高速度設定を時速6km以下に切替えると歩道走行可能	利用の際は、自賠責保険（共済）加入が必須	平均認知率
	(n)														
全体	(1000)	67.6	66.9	64.7	59.7	57.9	53.0	48.6	47.7	44.4	41.5	39.9	38.4	35.0	51.2
性別	男性 (502)	70.9	69.5	68.1	63.7	61.4	57.0	54.2	51.0	51.0	45.6	46.6	44.6	40.6	55.7
	女性 (498)	64.3	64.3	61.2	55.6	54.4	49.0	43.0	44.4	37.8	37.3	33.1	32.1	29.3	46.6
年代	10代 (20)	55.0	65.0	60.0	50.0	60.0	50.0	50.0	45.0	50.0	40.0	45.0	50.0	40.0	50.8
	20代 (157)	68.8	66.2	66.9	59.9	65.6	60.5	56.7	56.1	49.0	51.0	51.6	48.4	47.8	57.6
	30代 (166)	65.1	67.5	67.5	60.8	58.4	57.2	53.6	53.0	49.4	51.8	50.6	46.4	45.2	55.9
	40代 (188)	61.2	59.0	56.4	55.9	52.1	45.7	47.3	44.7	43.1	41.0	37.8	34.0	36.7	47.3
	50代 (204)	69.6	67.2	65.2	60.8	54.9	49.5	39.7	44.1	37.3	37.3	31.4	35.3	24.5	47.4
	60代 (136)	70.6	70.6	64.7	56.6	60.3	52.9	49.3	44.9	47.1	33.1	36.8	36.0	29.4	50.2
	70代 (129)	74.4	74.4	70.5	66.7	58.1	55.0	47.3	44.2	41.9	33.3	31.0	27.9	25.6	50.0
地域	23区 (699)	68.7	69.0	67.0	61.4	59.9	54.8	52.1	49.9	47.8	43.2	42.6	41.9	37.3	53.5
	市町村 (301)	65.1	62.1	59.5	55.8	53.2	48.8	40.5	42.5	36.5	37.5	33.6	30.2	29.6	45.8

※平均認知率=全13項目の認知率の平均を算出

Q46. あなたが特定原付(電動キックボード等)を利用するにあたってメリットだと思う主な理由を教えてください。特定原付(電動キックボード等)を利用していない場合は、利用したと仮定してお答えください。(複数回答)

(1)全体

特定原付（電動キックボード等）を利用するにあたってメリットだと思う理由について、「免許が必要なく、手軽に利用できる」が41.0%と最も高く、次いで「好きなポートで借りて、好きなポートで降りることができる」が27.8%、「排ガスがなく環境にやさしい」が23.1%となっています。一方で「特にない」は27.7%となっています。



Q46. あなたが特定原付(電動キックボード等)を利用するにあたってメリットだと思う主な理由を教えてください。特定原付(電動キックボード等)を利用していない場合は、利用したと仮定してお答えください。(複数回答)

(2)属性別

特定原付(電動キックボード等)を利用するにあたってメリットだと思う理由について、性別にみると「免許が必要なく、手軽に利用できる」は男性が40.0%、女性が42.0%となり、男女間で大きな差は見られません。

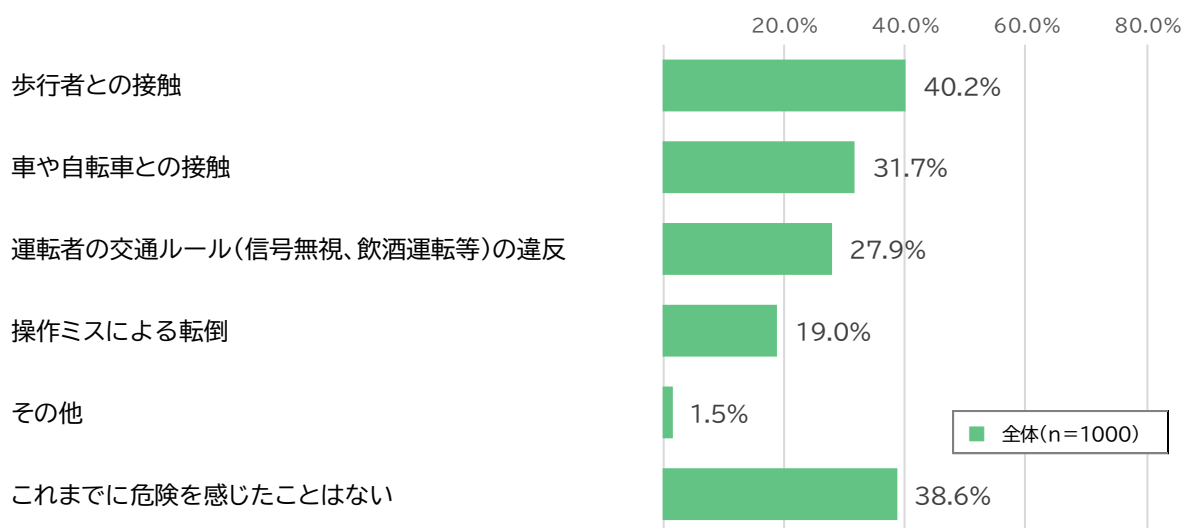
年代別にみると「免許が必要なく、手軽に利用できる」は10代が50.0%と最も高く、次いで50代が46.1%となっています。「好きなポートで借りて、好きなポートで降りることができる」でも10代が35.0%と最も高く、次いで50代が33.8%となっています。一方で「特にない」は60代が36.8%と最も高く、次いで70代が30.2%となっています。

横%		免許が必要なく、 手軽に利用できる	好きなポートで 借りて、好きな ポートで降りる ことができる	排ガスがなく 環境にやさしい	早く目的地に 到着できる	他の交通手段に くらべて	坂道などを楽に 移動できる	シェアリングサ ービスの場合、 利用費用が安い	車体がかっこい い、おしゃれ	その他	特にな い
	(n)										
全体	(1000)	41.0	27.8	23.1	19.8	19.7	17.7	5.3	0.4	27.7	
性別	男性 (502)	40.0	29.3	21.1	18.3	20.9	16.7	4.6	0.6	29.5	
	女性 (498)	42.0	26.3	25.1	21.3	18.5	18.7	6.0	0.2	25.9	
年代	10代 (20)	50.0	35.0	40.0	35.0	40.0	25.0	10.0	-	20.0	
	20代 (157)	37.6	26.1	17.8	22.3	9.6	21.0	12.1	-	22.9	
	30代 (166)	36.1	29.5	17.5	15.7	14.5	22.9	6.6	-	24.7	
	40代 (188)	44.1	27.7	20.2	21.3	20.7	16.0	4.3	0.5	27.1	
	50代 (204)	46.1	33.8	27.5	18.1	22.5	20.1	4.4	1.0	27.5	
	60代 (136)	36.8	24.3	22.8	19.9	19.1	11.8	2.2	0.7	36.8	
	70代 (129)	41.9	20.9	31.8	20.2	30.2	10.9	0.8	-	30.2	
地域	23区 (699)	40.9	30.5	22.5	21.0	18.6	18.9	5.4	0.3	26.8	
	市町村 (301)	41.2	21.6	24.6	16.9	22.3	15.0	5.0	0.7	29.9	

Q47. これまでに、特定原付(電動キックボード等)の利用について、危険を感じた経験があれば教えてください。電動キックボード等を利用している際に感じたこと、電動キックボード等を利用している人を見て感じたこと、どちらの立場からでも構いません。(複数回答)

(1)全体

特定原付（電動キックボード等）の利用時（または利用者を見て）に危険を感じた経験について、「歩行者との接触」が40.2%と最も高く、次いで「車や自転車との接触」が31.7%、「運転者の交通ルール（信号無視、飲酒運転等）の違反」が27.9%となっています。



●その他の内容

- ・道路のへこみによる転倒(2件)など

Q47. これまでに、特定原付(電動キックボード等)の利用について、危険を感じた経験があれば教えてください。電動キックボード等を利用している際に感じたこと、電動キックボード等を利用している人を見て感じたこと、どちらの立場からでも構いません。(複数回答)

(2)属性別

特定原付（電動キックボード等）の利用時（または利用者を見て）に危険を感じた経験について、性別にみると「歩行者との接触」は男性が42.6%、女性が37.8%となり、男女間で大きな差は見られません。また、「車や自転車との接触」でも、男性が32.9%、女性が30.5%となり、男女間で大きな差は見られませんでした。

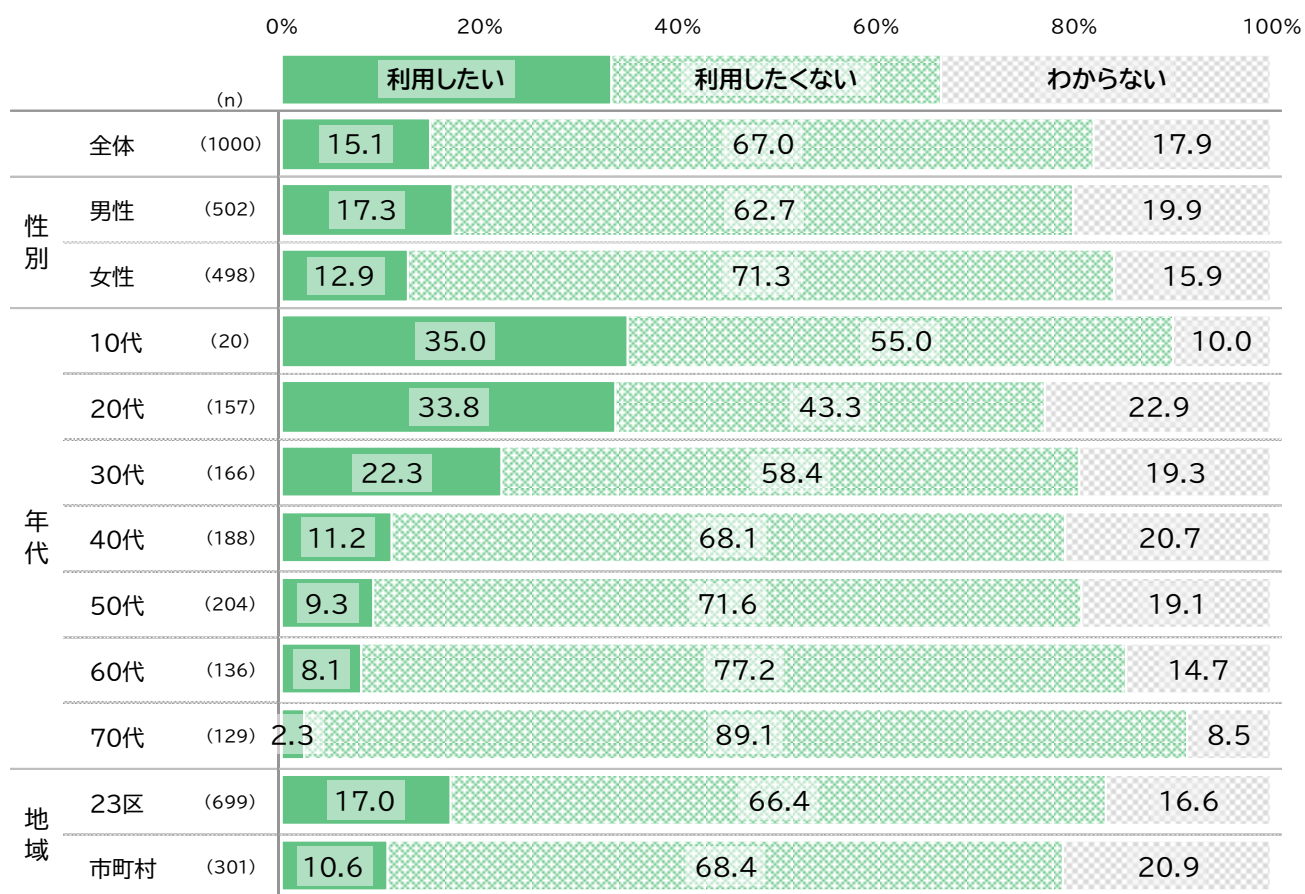
年代別にみると「歩行者との接触」は10代が55.0%と最も高く、次いで60代が44.9%となっています。「車や自転車との接触」は60代が34.6%と最も高く、次いで30代が34.3%となっています。

横%			歩行者との接触	車や自転車との接触	（運転者の交通ルール（信号無視、飲酒運転等）の違反	操作ミスによる転倒	その他	これまでに危険を感じたことはない	危険を感じたことがある※
	(n)								
全体	(1000)		40.2	31.7	27.9	19.0	1.5	38.6	61.4
性別	男性	(502)	42.6	32.9	28.9	20.1	2.0	35.3	64.7
	女性	(498)	37.8	30.5	26.9	17.9	1.0	42.0	58.0
年代	10代	(20)	55.0	20.0	40.0	20.0	-	40.0	60.0
	20代	(157)	39.5	29.9	21.7	22.3	1.3	30.6	69.4
	30代	(166)	44.6	34.3	30.7	22.3	-	33.1	66.9
	40代	(188)	37.2	34.0	23.9	23.4	1.6	40.4	59.6
	50代	(204)	39.2	32.8	28.9	19.1	2.5	39.7	60.3
	60代	(136)	44.9	34.6	31.6	16.2	0.7	41.2	58.8
	70代	(129)	34.1	24.0	30.2	7.0	3.1	48.1	51.9
地域	23区	(699)	42.9	33.2	29.8	19.3	1.4	34.8	65.2
	市町村	(301)	33.9	28.2	23.6	18.3	1.7	47.5	52.5
利用経験	ある	(143)	62.9	37.8	27.3	35.0	-	7.0	93.0
	ない	(857)	36.4	30.7	28.0	16.3	1.8	43.9	56.1

※「危険を感じたことがある」の割合は、全体/属性別の回答者から「これまでに危険を感じたことはない」とした回答者を除いて算出した値  
 ex)男性のみ「危険を感じたことがある」=64.7%の算出  
 ➡100.0% - (「これまでに危険を感じたことはない」とした回答者の割合=35.3%) = 64.7%

Q48. 特定原付(電動キックボード等)を今後利用したいと思いますか。(単一回答)

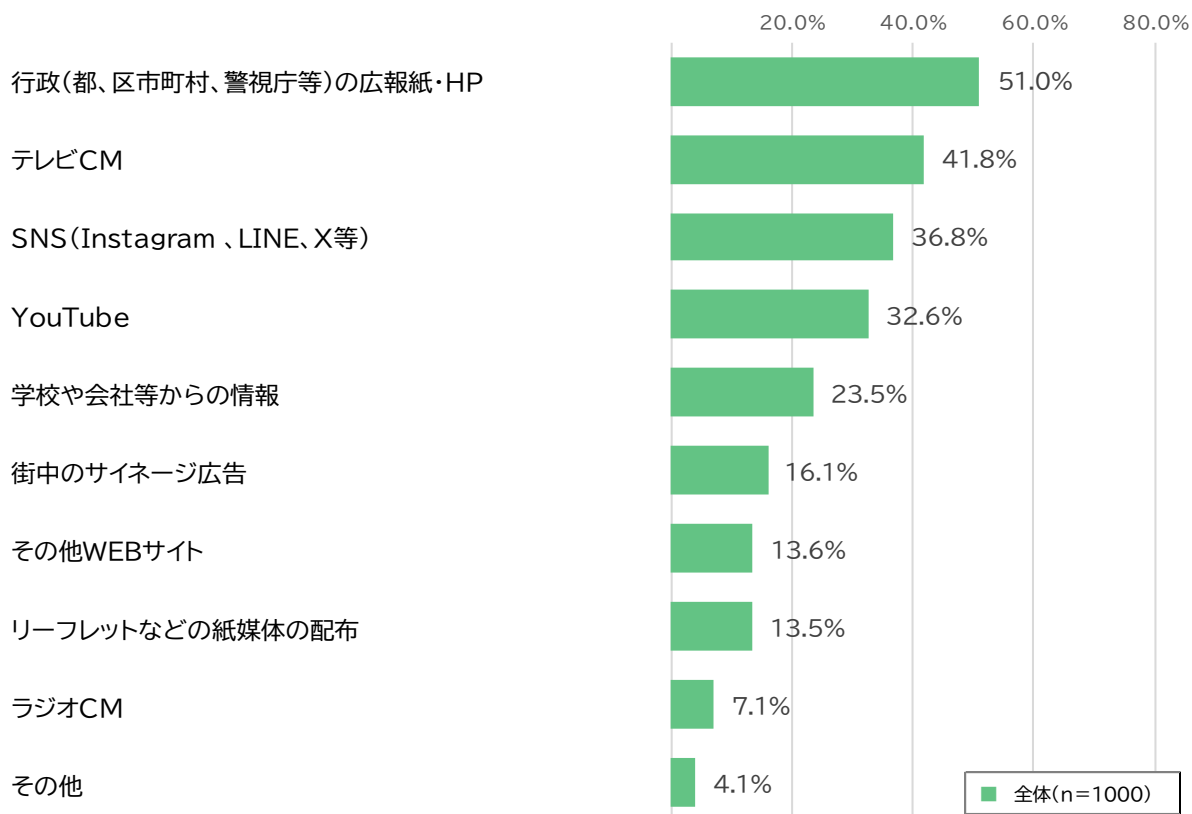
特定原付（電動キックボード等）を今後利用したいかについて、「利用したい」とした回答が15.1%となっています。一方で「利用したくない」は67.0%となっています。性別にみると「利用したい」は男性が17.3%、女性が12.9%となり、男女間で大きな差は見られません。年代別にみると10代が35.0%、20代が33.8%となり、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。



Q49. 特定原付(電動キックボード等)の利用者に交通ルールを周知してもらうためには、どのような広報手段が有効だと思いますか。(複数回答)

(1)全体

特定原付（電動キックボード等）の交通ルールを周知してもらうための有効な広報手段について、「行政（都、区市町村、警視庁等）の広報紙・HP」が51.0%と最も高く、次いで「テレビCM」が41.8%、「SNS（Instagram、LINE、X等）」が36.8%となっています。行政からの発信が有効とする回答が半数近くとなっています。



●その他の内容

- ・セミナー・講習会(2件)、特定原付を借りる際に利用するアプリ、自治体のアプリ(1件)など

Q49. 特定原付(電動キックボード等)の利用者に交通ルールを周知してもらうためには、どのような広報手段が有効だと思いますか。(複数回答)

(2)属性別

特定原付(電動キックボード等)の交通ルールを周知してもらうための有効な広報手段について、性別にみると「行政(都、区市町村、警視庁等)の広報紙・HP」は男性が50.8%、女性が51.2%となり、男女間で大きな差は見られません。

年代別にみると「行政(都、区市町村、警視庁等)の広報紙・HP」は70代が69.0%と最も高く、次いで60代が57.4%、「テレビCM」でも70代が60.5%、50代が51.5%となり、年代が上がるにつれて高い傾向が見られます。「SNS(Instagram、LINE、X等)」では、10代が55.0%と最も高く、次いで20代が45.9%となり、年代が下がるにつれて高い傾向が見られます。

横%	(n)	行政 紙・H P (都、 区市 町村、 警視 庁等) の	テ レ ビ C M	L S I N S E ( I n s t a g r a m 、 X 等 )	Y o u T u b e	学 校 や 会 社 等 か ら の 情 報	街 中 の サ イ ネ ー ジ 廣 告	そ の 他 W E B サ イ ト	リ ー フ レ ット な ど の 紙 媒 体 の 配 布	ラ ジ オ C M	そ の 他
全体	(1000)	51.0	41.8	36.8	32.6	23.5	16.1	13.6	13.5	7.1	4.1
性別	男性 (502)	50.8	40.0	37.3	37.6	21.3	14.7	14.5	13.1	8.2	5.2
	女性 (498)	51.2	43.6	36.3	27.5	25.7	17.5	12.7	13.9	6.0	3.0
年代	10代 (20)	35.0	35.0	55.0	35.0	45.0	10.0	15.0	5.0	5.0	-
	20代 (157)	43.9	28.7	45.9	37.6	12.7	10.2	12.1	10.2	3.2	1.9
	30代 (166)	48.2	34.3	42.8	34.9	18.1	16.3	11.4	12.0	5.4	1.8
	40代 (188)	46.3	31.4	37.2	28.2	25.5	17.6	14.9	14.4	9.6	3.7
	50代 (204)	49.0	51.5	36.3	33.8	24.0	14.7	15.2	9.8	8.3	4.4
	60代 (136)	57.4	49.3	32.4	31.6	24.3	18.4	13.2	18.4	7.4	6.6
	70代 (129)	69.0	60.5	20.2	28.7	35.7	21.7	14.0	20.2	8.5	7.8
地域	23区 (699)	51.2	40.2	36.9	33.6	23.7	16.2	13.6	12.6	6.9	4.0
	市町村 (301)	50.5	45.5	36.5	30.2	22.9	15.9	13.6	15.6	7.6	4.3

Q50. 都内の自転車及び特定原付(電動キックボード等)の安全で適正な利用について、あなたの意見を自由にお書きください。(自由回答)

●規制・取締り強化・免許制<143件>

性別	年代	居住地	内容
女性	20代	江東区	特定原付で利用違反が多いのは無免許にしているからだと思う。自動車より何倍も危険だし、徹底的に取り締まるか、免許証にするべき。
女性	30代	豊島区	性善説に頼るにはどうしても限界があるので、ある程度利用するためのハードルを上げることも必要なのかなと思います。
男性	40代	文京区	電動キックボードの大量の違反が取り締まりされていないのを見て、いくらルールや危険性を周知しても違反は減らないと思える。
女性	40代	大田区	ルールについて学べる講習を受けることを義務化させると良いと思います。
男性	50代	練馬区	交通ルールを教える機会がないにもかかわらず、免許不要で公道を走行できることに疑問を感じる。
女性	60代	府中市	危険啓発と取り締まりをきちんと欲しい。
女性	60代	葛飾区	危険運転を積極的に取り締まるべき。

●乗り方・ルールやマナーの周知<67件>

性別	年代	居住地	内容
女性	20代	江戸川区	自転車の交通ルールを学校の授業で必須するべき。
男性	30代	足立区	自転車同様、キツイ罰則があることをメディアで伝えていく必要がある。
女性	40代	武蔵野市	正しい乗り方を理解している人は多くないと思う。利用を普及したいならルールもわかりやすいように周知するとよい。
男性	50代	東村山市	利用する際に特に危険な行為や特に守らなければならない運転のアナウンスを行う。
女性	60代	足立区	電動キックボードを利用する際、アプリを通じて手軽にレンタルできるのは非常に便利だと感じています。安全な利用を促進するために、アプリを起動して借りるたびに、最新の交通ルールやマナーを短時間で再確認できるような仕組み(チェックテストや注意喚起の表示など)を設けるのが良いと思います。利用者の意識をその都度高めることが、適正な利用につながると考えます。
女性	70代	多摩市	公共機関での年2回程の安全教育の講習会の開催。

Q50. 都内の自転車及び特定原付(電動キックボード等)の安全で適正な利用について、あなたの意見を自由にお書きください。(自由回答)

●電動キックボードの危険性<43件>

性別	年代	居住地	内容
男性	20代	渋谷区	正直に言うと、ルール理解が追いついていない利用者が多いと感じます。便利だが、「歩行者・車・自分」の優先順位が曖昧なまま走っている人が目立ち、特に歩道や交差点でヒヤッとする場面が増えました。
男性	20代	東村山市	地元で見た事が無いが動画などで危険運転をよく見かける。知識の無い利用者が簡単に利用できてしまうのが問題。
女性	20代	台東区	都内ではすごくあぶない。特に車の運転中はこないでほしい。
男性	50代	多摩市	交通量の多い道路での電動キックボードや自転車の走行は危ないと思う。
男性	70代	豊島区	時々危ない運転を見る、ルールをもっと理解してから運転して欲しい。

●自転車道の整備<39件>

性別	年代	居住地	内容
男性	30代	八王子市	まずは道路や歩道など物理的な部分をそれらに合わせた変更をするのが先だと思う。ルールだけ先行させても現地に合っていないければ意味がない。
女性	30代	八王子市	ルールも大事だが、車道と歩道だけでなく自転車道をつくるとか、道路の幅自体を広げるなどの自転車を利用しやすい整備が必要だと思う。電動キックボードは制限が他に比べ緩すぎると思う。
女性	40代	江戸川区	自転車によく乗る者として、車道を走るのがとても怖いのと、都営バスが停留所に頻繁に止まったり、運送車が止まったりして、自転車道が機能してないのが走りにくい。
女性	50代	墨田区	自転車専用レーンがある道路だが、路上駐車のために車道へ出なくてはならず、追突されるのではないかと不安になる。自転車の取り締まりの前に、路上駐車を取り締まりや、自転車専用レーンにガードレールを置くなどの安全対策をしてほしい。
女性	60代	江戸川区	自転車走行する際、歩道走行禁止と定められていても、車道が狭すぎて怖いことがある(というか本気で車道は走りたくない)。道路の整備を進めて欲しい。あと、曲がる時の手信号は、一瞬でも片手走行になるので、危険だと思う。

Q50. 都内の自転車及び特定原付(電動キックボード等)の安全で適正な利用について、あなたの意見を自由にお書きください。(自由回答)

●交通安全意識の向上<26件>

性別	年代	居住地	内容
女性	20代	調布市	自転車のユーザーが増えている中自分一人でも意識したい、仕事場に自転車で行っているが、遅刻の心配が内容普段の生活から気をつける。
男性	50代	世田谷区	無理な運転は絶対にしない。
女性	70代	東久留米市	住んでいる自治体では見かけたこともないが、用事等で都市部に行ったときは歩行者の立場で十分注意することが必要だと思っている。

●ヘルメット義務化<15件>

性別	年代	居住地	内容
男性	30代	墨田区	特定原付はヘルメット義務化して免許も必要にするべき、これがなんでも無免許でヘルメットなしが認められるのか分からない。
男性	50代	江東区	ヘルメットの努力義務を辞めて法律で義務化するべき。
女性	70代	江東区	ヘルメット着用を義務にすべきだ。

●その他<9件>

性別	年代	居住地	内容
女性	20代	荒川区	ブレーキなど安全面を強化する。
男性	40代	杉並区	もっと気軽に使えるようにし身近になればより安全に利用する人も増えると思う。
男性	50代	西東京市	免許あり、なしで利用できる乗り物の区別がわかりづらい。
女性	50代	江戸川区	キックボードを使用出来る年齢をもう少し上げるとかもありだと思う。